

北本市
第六期障害福祉計画・第二期障害児福祉計画
策定に係るアンケート調査報告書

令和3年2月

目次

第1章 調査の目的と実施概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象者	1
3 調査の方法と回収状況	1
4 本報告書の見方	2
第2章 障がい者アンケート結果	3
1 調査対象者のプロフィール	4
2 介助について	16
3 外出について	21
4 地域での生活について	30
5 医療や健康管理について	33
6 日中の過ごし方について	37
7 仕事について	38
8 相談や情報の入手について	46
9 障がい福祉サービスについて	53
10 災害対策について	59
11 権利擁護等について	63
12 将来の希望等について	70
13 障がい者（家族）アンケート結果	73
自由記述	80
第3章 障がい児アンケート結果	84
1 調査対象者のプロフィール	85
2 介助について	95
3 外出について	96
4 地域での生活について	103
5 医療や健康管理について	105
6 日中の過ごし方について	109
7 保育施設や教育機関等について	110
8 相談や情報の入手について	116
9 障がい福祉サービスについて	121
10 権利擁護等について	125
11 お子様の今後について	132
自由記述	136
第4章 事業者アンケート調査の概要と結果	138
1 事業者アンケート調査の目的	138
2 調査対象事業者	138
3 調査の方法と回収状況	138
4 事業者アンケートの調査結果	139

第1章 調査の目的と実施概要

1 調査の目的

本調査は、「北本市第六期障害福祉計画・第二期障害児福祉計画」の策定にあたり、基礎資料とするために行いました。

2 調査対象者

調査の対象者は、次のとおりです。

アンケートの種類	アンケートの対象
障がい者アンケート	障害者手帳をお持ちの方
障がい児アンケート	障害者手帳をお持ちの方、障害児通所支援等を利用している障がい児の方の保護者

3 調査の方法と回収状況

調査の方法と回収状況は、次のとおりです。

【調査方法】

◇郵送による配布、回収

【調査期間】

◇令和2年3月

【回収状況】

アンケート種類	配布数	回収数	回収率
障がい者アンケート	1,000	641	64.1%
障がい児アンケート	100	53	53.0%

4 本報告書の見方

【本報告書の構成】

- ◇ 第2章では“障がい者アンケート結果”、第3章では“障がい児アンケート結果”を設問順に掲載しています。

【報告書の見方】

○障がい者・障がい児アンケート共通

- ◇ 本報告書においては、特に断りのない限り、障がい種別を次のように表示・解釈しています。

本報告書における表示	解 釈
身体障がい	身体障害者手帳所持者
知的障がい	療育手帳所持者
精神障がい	精神障害者保健福祉手帳所持者

- ◇ 各コメントは、○が単純集計の結果、●が前回比較の結果、★がクロス集計をした結果を示しています。
- ◇ 各設問のカテゴリー（選択肢）等について、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合があります。
- ◇ 第2章、第3章では、設問ごとにその設問内容を示すタイトルを付けています。
- ◇ 単数回答は（SA）、複数回答は（MA）、数量回答は（NA）、記述回答は（FA）として記載しています。
- ◇ 設問によっては、前回調査（平成28年調査）との比較をしています。
比較をしている棒グラフの上段（黒で表記）が今回調査、棒グラフの下段（グレーで表記）が前回調査です。
- ◇ 原則として年齢別と障がい種別のクロス集計を示す表を掲載しています。
- ◇ 集計結果のグラフ・障がい種別クロス表側における“無回答”とは、当該設問への回答なしの他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答等）の件数（票数）を示しています。
- ◇ 集計は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

○障がい者アンケート

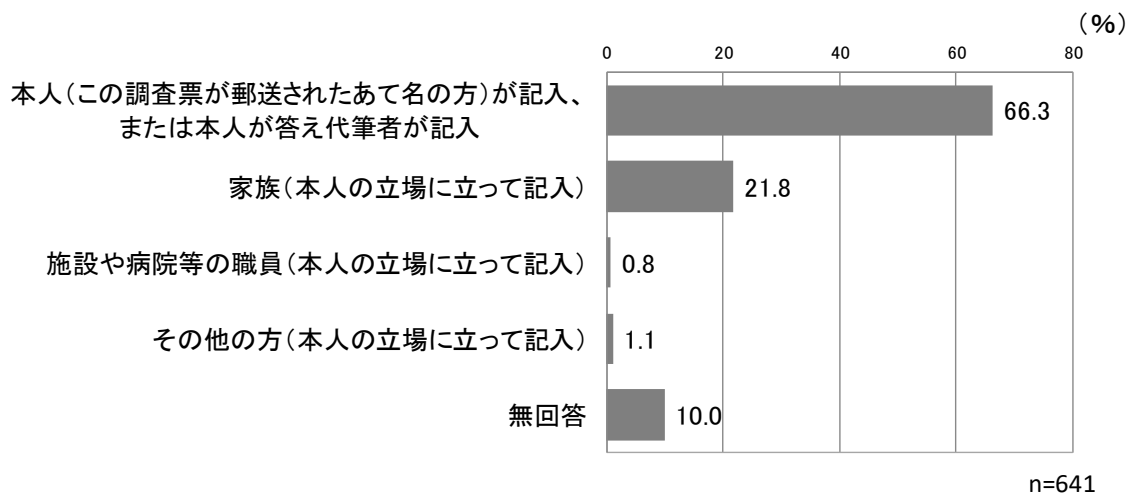
- ◇ 前回調査（平成28年調査）では、身体障がい、精神障がい、知的障がいの3種に分けて調査を行っていたため、前回比較を行う際は回答者を合算して割合を計算しています。

○障がい児アンケート

- ◇ 設問によっては、前回調査（平成29年調査）において、障害児通所支援等を利用する障がい児の皆様を対象に行ったアンケートと比較している設問があります。

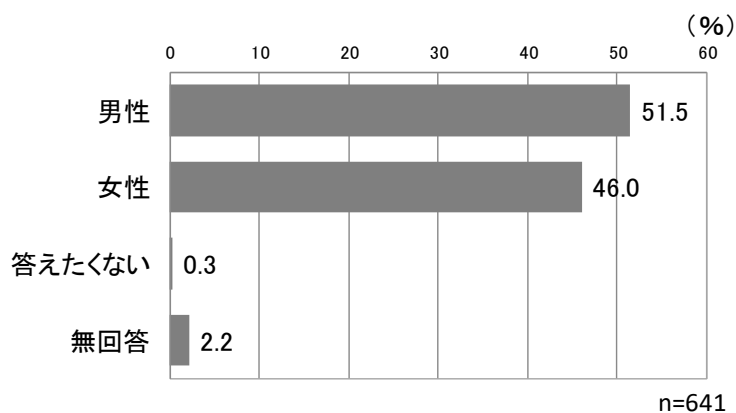
第2章 障がい者アンケート結果

問1 調査票の記入者（SA）



1 調査対象者のプロフィール

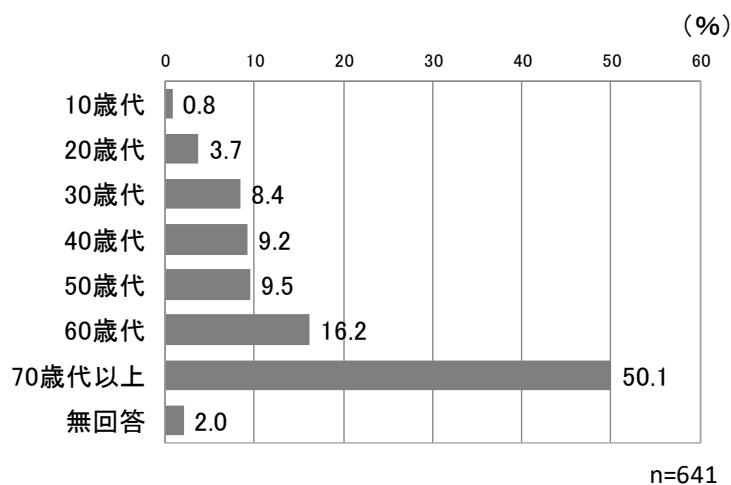
問2 性別 (SA)



問3 年齢 (SA)

○ 「70歳代以上」が50.1%で最も高く、次いで「60歳代」が16.2%、「50歳代」が9.5%の順となっています。

★障がいの種類別にみると、“知的障がい”では「30歳代」が33.7%、“精神障がい”では「40歳代」が29.5%で最も高くなっています。

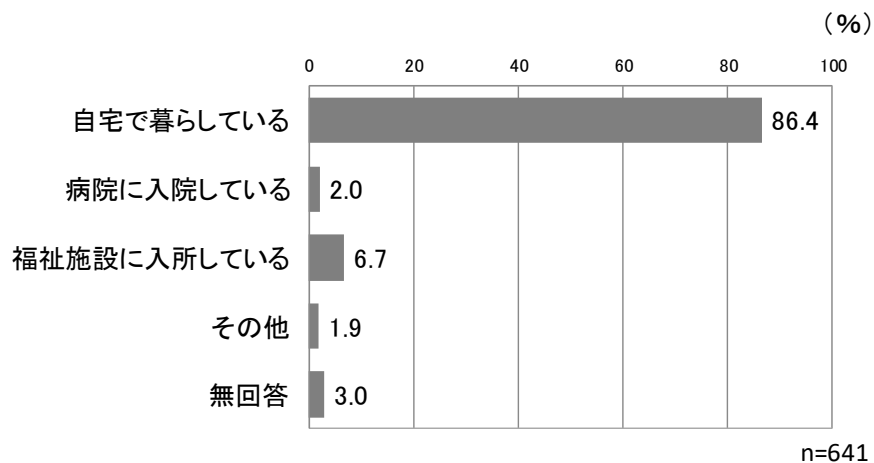


上段:人 下段:%	合計	問3 年齢							無回答	
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上		
全体	641	5	24	54	59	61	104	321	13	
	100.0	0.8	3.7	8.4	9.2	9.5	16.2	50.1	2.0	
障がいの種類	身体障がい	469	1	4	10	23	43	84	295	9
		100.0	0.2	0.9	2.1	4.9	9.2	17.9	62.9	1.9
	知的障がい	86	4	19	29	13	7	4	9	1
	100.0	4.7	22.1	33.7	15.1	8.1	4.7	10.5	1.2	
精神障がい	95	1	3	20	28	12	16	12	3	
	100.0	1.1	3.2	21.1	29.5	12.6	16.8	12.6	3.2	

問4 現在暮らしている場所（SA）

○「自宅で暮らしている」が86.4%で最も高く、次いで「福祉施設に入所している」が6.7%となっています。

★障がいの種類別にみると、“知的障がい”では「福祉施設に入所している」が18.6%で、他の障がいに比べ高くなっています。



その他
・娘宅 等

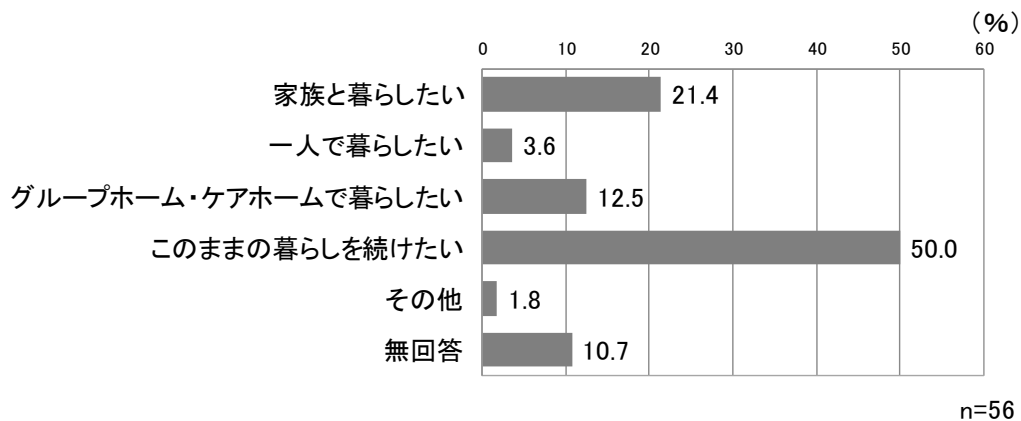
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問4 現在暮らしている場所					
		自宅で暮らしている	病院に入院している	福祉施設に入所している	その他	無回答	
全体	641 100.0	554 86.4	13 2.0	43 6.7	12 1.9	19 3.0	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	73 88.0	1 1.2	7 8.4	1 1.2	1 1.2
	40歳代～50歳代	120 100.0	103 85.8	0 0.0	11 9.2	4 3.3	2 1.7
	60歳代以上	425 100.0	375 88.2	12 2.8	25 5.9	7 1.6	6 1.4
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	417 88.9	8 1.7	26 5.5	7 1.5	11 2.3
	知的障がい	86 100.0	65 75.6	1 1.2	16 18.6	3 3.5	1 1.2
	精神障がい	95 100.0	81 85.3	5 5.3	3 3.2	3 3.2	3 3.2

※障がいの種類については複数回答のため、全体の合計と一致しない。

問5 今後はどのように暮らしたいか（SA）

問4で「病院に入院している」「福祉施設に入所している」と回答した人のみ

- 「このままの暮らしを続けたい」が50.0%で最も高く、次いで「家族と暮らしたい」が21.4%となっています。
- ★現在暮らしている場所別にみると、“病院に入院している”では「家族と暮らしたい」が61.5%、“福祉施設に入所している”では「このままの暮らしを続けたい」が55.8%と高くなっています。
- ★年齢別にみると、“10歳代～30歳代”では「グループホーム・ケアホームで暮らしたい」の割合が最も高く、障がいの種類別にみると、“精神障がい”では、「家族と暮らしたい」の割合が「このままの暮らしを続けたい」と同率で高くなっています。

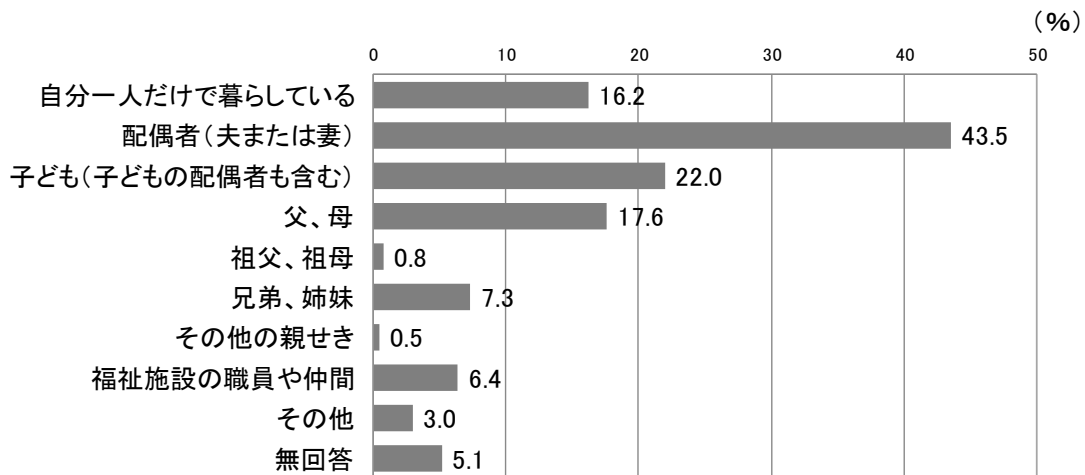


上段:人 下段:%	合計	問5 今後はどのように暮らしたいか						
		家族と暮らしたい	一人で暮らしたい	グループホーム・ケアホームで暮らしたい	このままの暮らしを続けたい	その他	無回答	
全体	56 100.0	12 21.4	2 3.6	7 12.5	28 50.0	1 1.8	6 10.7	
現在、場所での暮らし	病院に入院している	13 100.0	8 61.5	0 0.0	0 0.0	4 30.8	0 0.0	1 7.7
	福祉施設に入所している	43 100.0	4 9.3	2 4.7	7 16.3	24 55.8	1 2.3	5 11.6
年齢	10歳代～30歳代	8 100.0	1 12.5	0 0.0	4 50.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0
	40歳代～50歳代	11 100.0	0 0.0	1 9.1	2 18.2	6 54.5	0 0.0	2 18.2
	60歳代以上	37 100.0	11 29.7	1 2.7	1 2.7	19 51.4	1 2.7	4 10.8
障がいの種類	身体障がい	34 100.0	9 26.5	2 5.9	4 11.8	14 41.2	1 2.9	4 11.8
	知的障がい	17 100.0	2 11.8	0 0.0	4 23.5	10 58.8	0 0.0	1 5.9
	精神障がい	8 100.0	3 37.5	0 0.0	1 12.5	3 37.5	0 0.0	1 12.5

問6 現在一緒に暮らしている人 (MA)

○「配偶者(夫または妻)」が43.5%で最も高く、次いで「子ども(子どもの配偶者も含む)」が22.0%となっています。

★年齢別にみると、“10歳代から30歳代”及び“40歳代～50歳代”では、「父、母」、障がいの種類別にみると、“知的障がい”及び“精神障がい”では、「父、母」の割合が最も高くなっています。



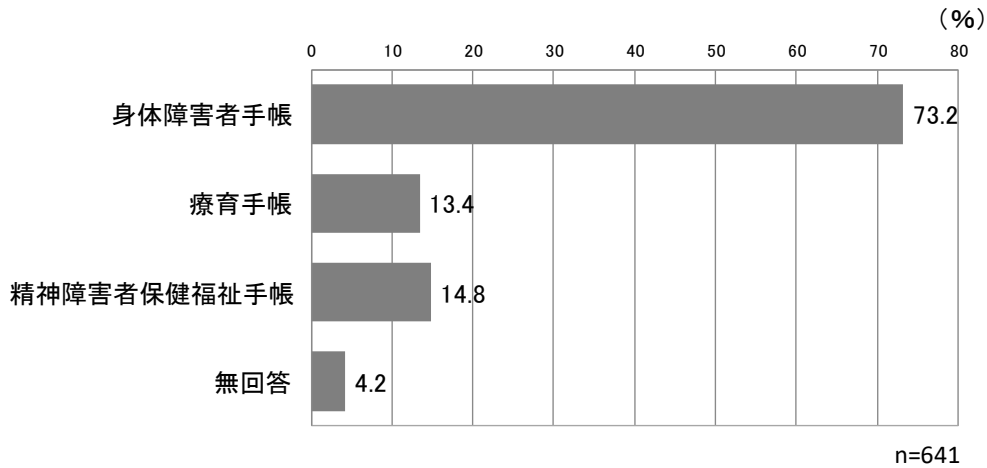
n=641

上段:人 下段:%	合計	問6 現在一緒に暮らしている人										
		自分一人 だけで暮 らしてい る	配偶者 (夫また は妻)	子ども (子ども の配偶者 も含む)	父、母	祖父、祖 母	兄弟、姉 妹	その他の 親せき	福祉施設 の職員や 仲間	その他	無回答	
全体	641 100.0	104 16.2	279 43.5	141 22.0	113 17.6	5 0.8	47 7.3	3 0.5	41 6.4	19 3.0	33 5.1	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	3 3.6	4 4.8	4 4.8	65 78.3	5 6.0	28 33.7	0 0.0	6 7.2	1 1.2	3 3.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	20 16.7	33 27.5	22 18.3	44 36.7	0 0.0	12 10.0	1 0.8	12 10.0	3 2.5	5 4.2
	60歳代以上	425 100.0	80 18.8	241 56.7	115 27.1	4 0.9	0 0.0	7 1.6	2 0.5	23 5.4	14 3.3	15 3.5
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	80 17.1	253 53.9	123 26.2	33 7.0	1 0.2	16 3.4	1 0.2	24 5.1	13 2.8	22 4.7
	知的障がい	86 100.0	2 2.3	4 4.7	4 4.7	51 59.3	4 4.7	23 26.7	2 2.3	17 19.8	1 1.2	3 3.5
	精神障がい	95 100.0	21 22.1	18 18.9	12 12.6	40 42.1	1 1.1	14 14.7	1 1.1	3 3.2	5 5.3	5 5.3

問7 障害者手帳の種類 (MA)

○「身体障害者手帳」が73.2%で最も高く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」が14.8%、「療育手帳」が13.4%の順となっています。

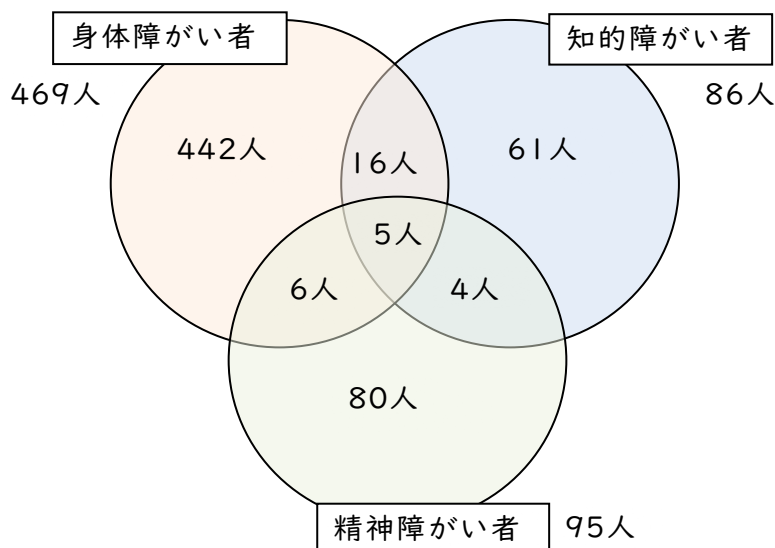
★年齢別にみると、“60歳代以上”は、「身体障害者手帳」が約9割、“10歳代～30歳代”は「療育手帳」が6割以上となっています。



〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問7 障害者手帳の種類			
			身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	無回答
全体		641	469	86	95	27
		100.0	73.2	13.4	14.8	4.2
年齢	10歳代～30歳代	83	15	52	24	3
		100.0	18.1	62.7	28.9	3.6
	40歳代～50歳代	120	66	20	40	4
	100.0	55.0	16.7	33.3	3.3	
	60歳代以上	425	379	13	28	18
	100.0	89.2	3.1	6.6	4.2	

○こうした状況について、3障がいのみをベン図で示すと次のとおりです。

○障害者手帳などの種類が不明な方を除く614人のうち、身体障がい者が469人、知的障がい者が86人、精神障がい者が95人となっています。

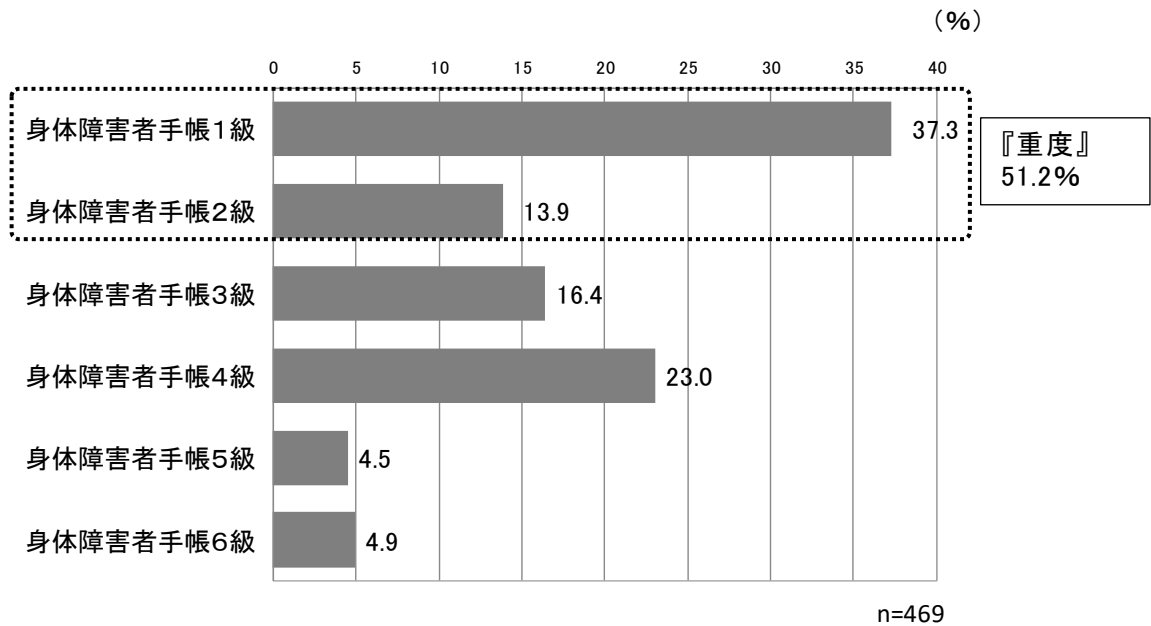


問7① 身体障害者手帳の等級（SA）

問7で身体障害者手帳と回答した人のみ

○「身体障害者手帳1級」が37.3%で最も高く、「身体障害者手帳2級」の13.9%と合わせた『重度』は、51.2%となっています。

★年齢別にみると、『重度』は“40歳代～50歳代”で62.1%と最も高くなっています。



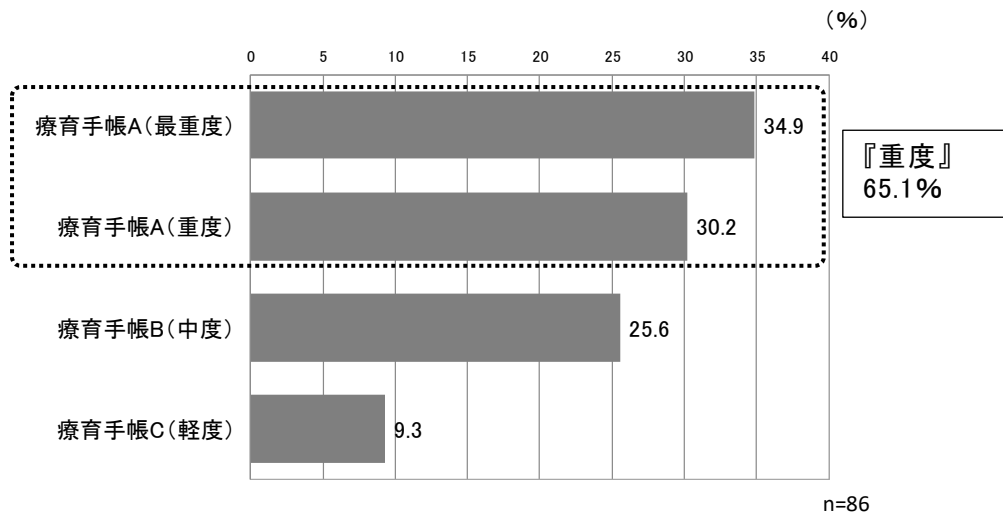
上段:人 下段:%	合計	問7① 身体障害者手帳の等級						
		身体障害者手帳1級	身体障害者手帳2級	身体障害者手帳3級	身体障害者手帳4級	身体障害者手帳5級	身体障害者手帳6級	
全体	469 100.0	175 37.3	65 13.9	77 16.4	108 23.0	21 4.5	23 4.9	
年齢	10歳代～30歳代	15 100.0	6 40.0	3 20.0	2 13.3	1 6.7	2 13.3	1 6.7
	40歳代～50歳代	66 100.0	26 39.4	15 22.7	9 13.6	9 13.6	4 6.1	3 4.5
	60歳代以上	379 100.0	141 37.2	44 11.6	65 17.2	97 25.6	14 3.7	18 4.7

問7② 療育手帳の等級（SA）

問7で療育手帳と回答した人のみ

○「療育手帳A（最重度）」が34.9%で最も高く、「療育手帳A（重度）」の30.2%と合わせた『重度』は65.1%となっています。

★年齢別にみると、“40歳代～50歳代”では「療育手帳B（中度）」が40.0%、“60歳代以上”では「療育手帳A（重度）」が53.8%で最も高くなっています。



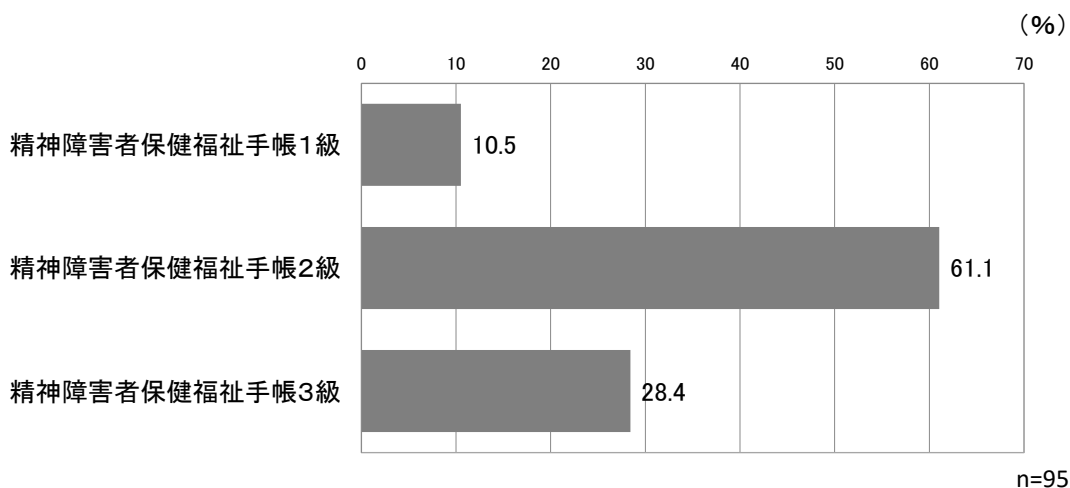
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問7② 療育手帳の等級				無回答	
		療育手帳 A(最重 度)	療育手帳 A(重 度)	療育手帳 B(中 度)	療育手帳 C(軽 度)		
全体	86 100.0	30 34.9	26 30.2	22 25.6	8 9.3	0 0.0	
年齢	10歳代～30歳代	52 100.0	24 46.2	11 21.2	13 25.0	4 7.7	0 0.0
	40歳代～50歳代	20 100.0	4 20.0	7 35.0	8 40.0	1 5.0	0 0.0
	60歳代以上	13 100.0	2 15.4	7 53.8	1 7.7	3 23.1	0 0.0

問7③ 精神障害者保健福祉手帳の等級（SA）

問7で精神障害者保健福祉手帳と回答した人のみ

○「精神障害者保健福祉手帳2級」が61.1%で最も高く、次いで「精神障害者保健福祉手帳3級」が28.4%、「精神障害者保健福祉手帳1級」が10.5%の順となっています。

★年齢別にみると、“60歳代以上”では、他の年齢と比較して「精神障害者保健福祉手帳1級」の割合が21.4%と高くなっています。



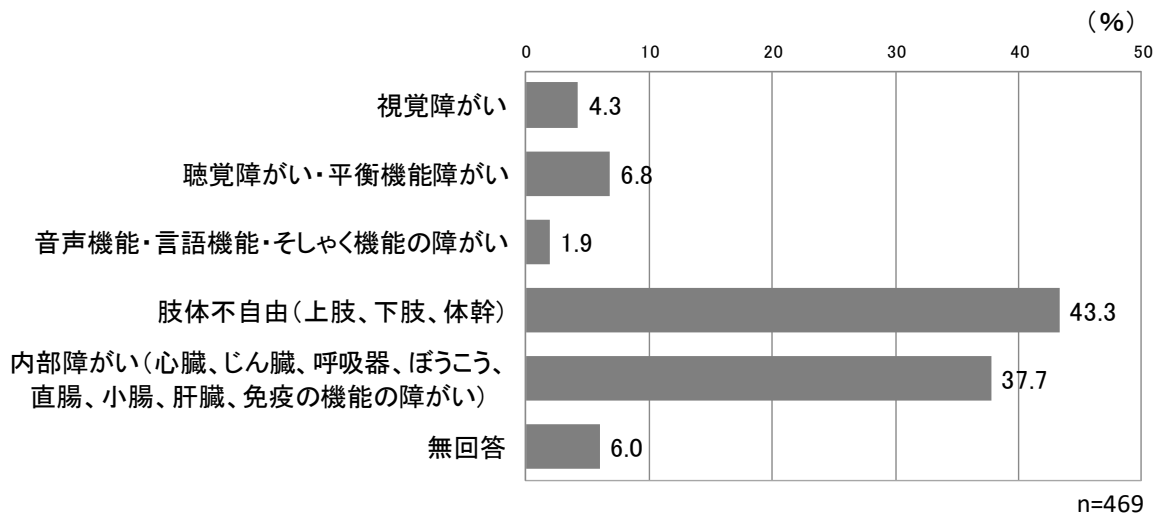
〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問7③精神障害者保健福祉手帳の等級		
			精神障害者保健福祉手帳1級	精神障害者保健福祉手帳2級	精神障害者保健福祉手帳3級
全体		95 100.0	10 10.5	58 61.1	27 28.4
年齢	10歳代～30歳代	24 100.0	2 8.3	13 54.2	9 37.5
	40歳代～50歳代	40 100.0	2 5.0	25 62.5	13 32.5
	60歳代以上	28 100.0	6 21.4	17 60.7	5 17.9

問8 主な身体障がいの種類 (SA)

問7①で身体障害者手帳と回答した人のみ

○「肢体不自由(上肢、下肢、体幹)」が43.3%で最も高く、次いで「内部障がい(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓、免疫の機能の障がい)」が37.7%の順となっています。

★年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「内部障がい(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓、免疫の機能の障がい)」の割合が高くなっており、“60歳代以上”では40.6%を占めています。

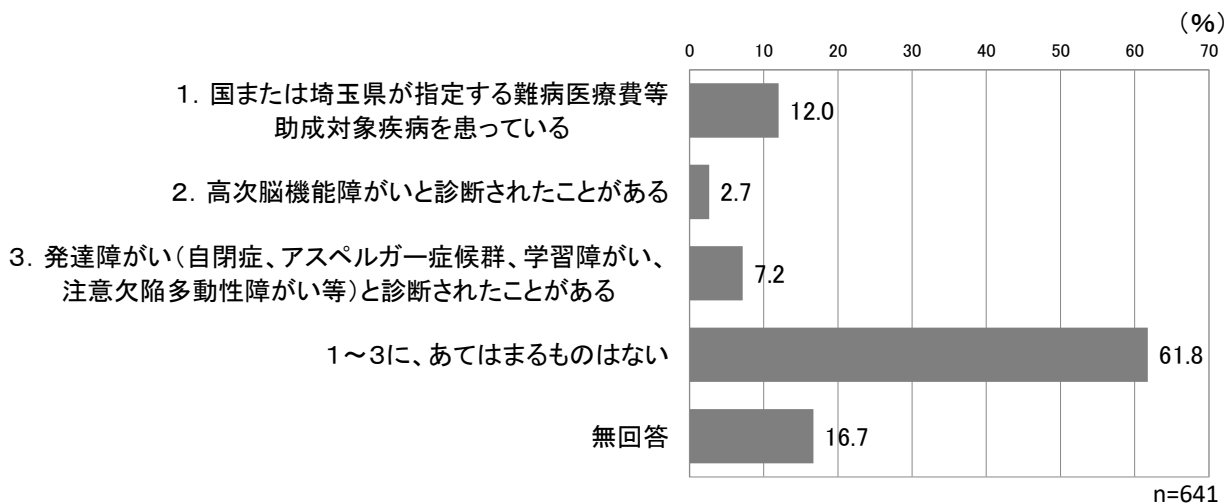


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問8 主な身体障がいの種類						
		視覚障がい	聴覚障がい・平衡機能障がい	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障がい	肢体不自由(上肢、下肢、体幹)	内部障がい(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓、免疫の機能の障がい)	無回答	
全体	469 100.0	20 4.3	32 6.8	9 1.9	203 43.3	177 37.7	28 6.0	
年齢	10歳代~30歳代	15 100.0	1 6.7	2 13.3	0 0.0	11 73.3	0 0.0	1 6.7
	40歳代~50歳代	66 100.0	8 12.1	5 7.6	1 1.5	25 37.9	21 31.8	6 9.1
	60歳代以上	379 100.0	10 2.6	24 6.3	7 1.8	164 43.3	154 40.6	20 5.3

問9 疾病の状況 (MA)

○何らかの疾病・診断を受けていない「1～3に、あてはまるものはない」が61.8%となっています。何らかの疾病・診断を受けた中では、「国または埼玉県が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている」が12.0%で最も高くなっています。

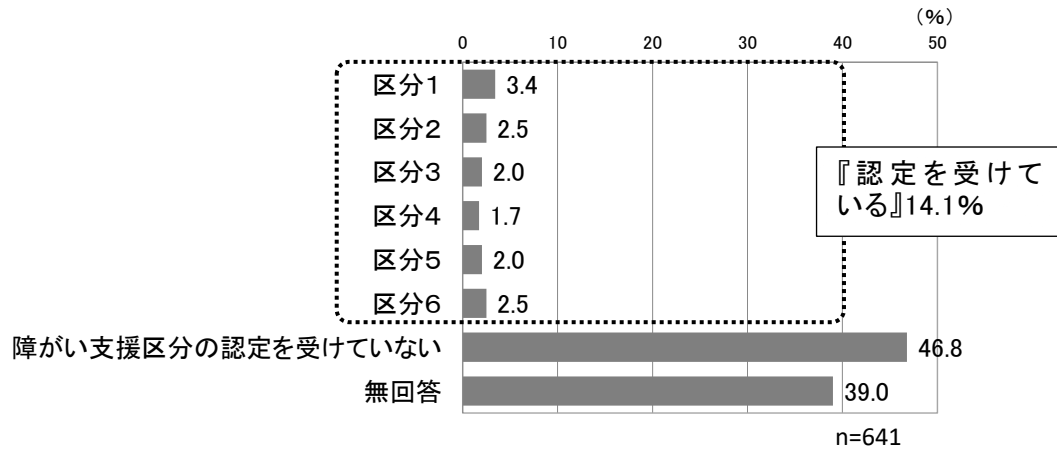
★「発達障がい（自閉症、アスペルガー症候群、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等）と診断されたことがある」について年齢別にみると“10歳代～30歳代”、障がいの種類別にみると“知的障がい”で、30%を超えて高くなっています。



〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問9 疾病の状況					
		1. 国または埼玉県が指定する難病医療費等助成対象疾病を患っている	2. 高次脳機能障がいと診断されたことがある	3. 発達障がい(自閉症、アスペルガー症候群、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等)と診断されたことがある	1～3に、あてはまるものはない	無回答	
全体	641 100.0	77 12.0	17 2.7	46 7.2	396 61.8	107 16.7	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	6 7.2	0 0.0	31 37.3	34 41.0	13 15.7
	40歳代～50歳代	120 100.0	18 15.0	5 4.2	10 8.3	63 52.5	24 20.0
	60歳代以上	425 100.0	53 12.5	12 2.8	3 0.7	290 68.2	68 16.0
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	70 14.9	14 3.0	5 1.1	312 66.5	69 14.7
	知的障がい	86 100.0	5 5.8	1 1.2	29 33.7	37 43.0	15 17.4
	精神障がい	95 100.0	1 1.1	3 3.2	14 14.7	59 62.1	18 18.9

問10 障がい支援区分（SA）

- 「障がい支援区分の認定を受けていない」が46.8%で最も高くなっています。認定を受けている区分としては、「区分1」が3.4%、「区分2」と「区分6」が2.5%となっています。
- ★『認定を受けている』については、年齢別にみると“10歳代～30歳代”、障がいの種類別にみると“知的障がい”で、それぞれ割合が最も高くなっています。



〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問10 障がい支援区分						障がい支援区分の認定を受けていない	無回答	
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6			
全体	641 100.0	22 3.4	16 2.5	13 2.0	11 1.7	13 2.0	16 2.5	300 46.8	250 39.0	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	2 2.4	4 4.8	4 4.8	8 9.6	10 12.0	10 12.0	30 36.1	15 18.1
	40歳代～50歳代	120 100.0	2 1.7	5 4.2	3 2.5	1 0.8	3 2.5	3 2.5	69 57.5	34 28.3
	60歳代以上	425 100.0	17 4.0	7 1.6	6 1.4	2 0.5	0 0.0	2 0.5	194 45.6	197 46.4
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	19 4.1	9 1.9	8 1.7	1 0.2	4 0.9	8 1.7	235 50.1	185 39.4
	知的障がい	86 100.0	3 3.5	5 5.8	5 5.8	10 11.6	11 12.8	13 15.1	17 19.8	22 25.6
	精神障がい	95 100.0	3 3.2	4 4.2	2 2.1	0 0.0	1 1.1	1 1.1	51 53.7	33 34.7

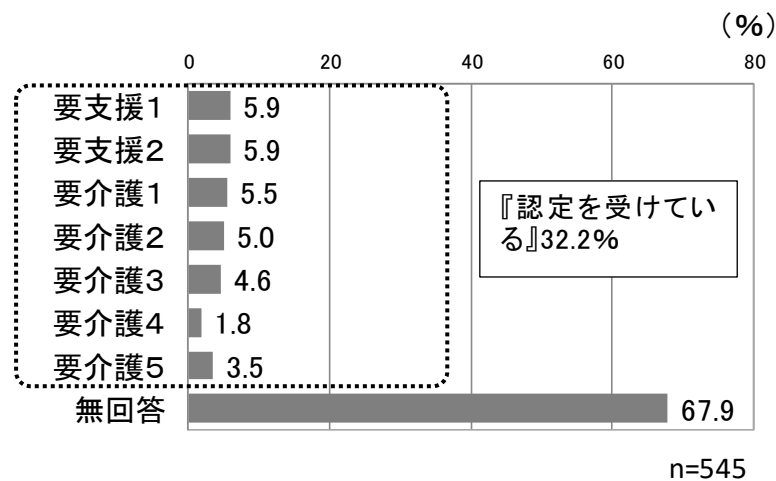
問11 介護保険の要支援・要介護認定の状況（SA）

40歳以上の人のみ

○40歳以上の方の32.2%が介護保険の要支援・要介護認定を受けており、要支援・要介護度は「要支援1」及び「要支援2」が5.9%で最も高く、次いで「要介護1」が5.5%となっています。

★年齢別にみると、要支援・要介護認定を受けている割合は、“40歳代～50歳代”で10.8%、“60歳代以上”は38.0%となっています。

★障がいの種類別にみると、“身体障がい”の35.9%が最も高くなっています。

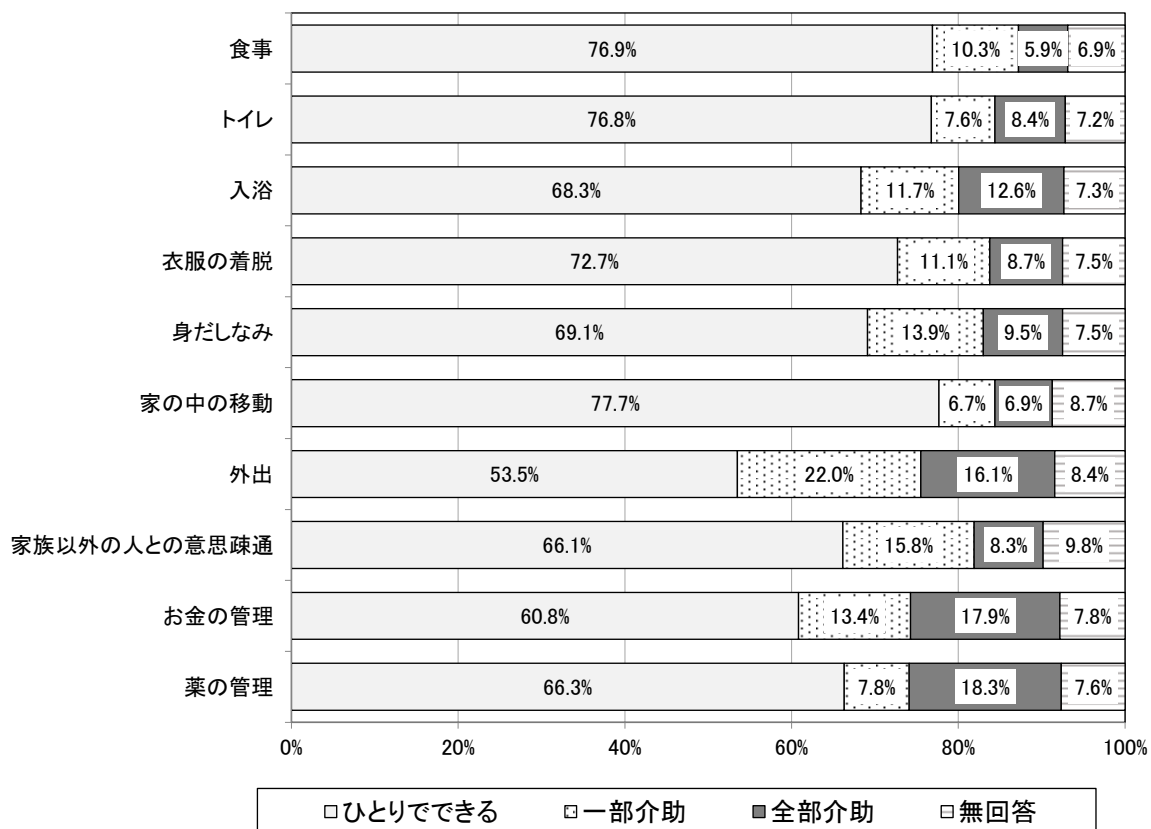


上段:人 下段:%	合計	問11 介護保険の要支援・要介護認定の状況								
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答	
全体	545 100.0	32 5.9	32 5.9	30 5.5	27 5.0	25 4.6	10 1.8	19 3.5	370 67.9	
年齢	40歳代～50歳代	120 100.0	3 2.5	3 2.5	1 0.8	1 0.8	1 0.8	2 1.7	2 1.7	107 89.2
	60歳代以上	425 100.0	29 6.8	29 6.8	29 6.8	26 6.1	24 5.6	8 1.9	17 4.0	263 61.9
障がいの種類	身体障がい	445 100.0	29 6.5	30 6.7	28 6.3	27 6.1	22 4.9	9 2.0	15 3.4	285 64.0
	知的障がい	33 100.0	2 6.1	2 6.1	2 6.1	1 3.0	1 3.0	1 3.0	1 3.0	23 69.7
	精神障がい	68 100.0	3 4.4	1 1.5	2 2.9	1 1.5	2 2.9	1 1.5	2 2.9	56 82.4

2 介助について

問12 日常生活でできることについて (SA)

- 「ひとりでできる」は、【家の中の移動】が77.7%で最も高く、次いで【食事】が76.9%、【トイレ】が76.8%の順となっています。一方、「全部介助が必要」は、【薬の管理】が18.3%で最も高く、次いで【お金の管理】が17.9%、【外出】が16.1%の順となっています。
- 障がいの種類別にみると、“知的障がい”では【外出】【家族以外の人との意思疎通】【お金の管理】【薬の管理】は、「全部介助が必要」が最も高くなっています。



n=641

【食事】

【トイレ】

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問12①食事				問12②トイレ				
		ひとりで できる	一部介助 が必要	全部介助 が必要	無回答	ひとりで できる	一部介助 が必要	全部介助 が必要	無回答	
全体	641 100.0	493 76.9	66 10.3	38 5.9	44 6.9	492 76.8	49 7.6	54 8.4	46 7.2	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	54 65.1	20 24.1	8 9.6	1 1.2	54 65.1	18 21.7	10 12.0	1 1.2
	40歳代～50歳代	120 100.0	86 71.7	18 15.0	10 8.3	6 5.0	95 79.2	7 5.8	11 9.2	7 5.8
	60歳代以上	425 100.0	344 80.9	28 6.6	19 4.5	34 8.0	334 78.6	24 5.6	32 7.5	35 8.2
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	380 81.0	29 6.2	25 5.3	35 7.5	368 78.5	26 5.5	39 8.3	36 7.7
	知的障がい	86 100.0	49 57.0	19 22.1	16 18.6	2 2.3	45 52.3	23 26.7	17 19.8	1 1.2
	精神障がい	95 100.0	66 69.5	20 21.1	5 5.3	4 4.2	82 86.3	2 2.1	6 6.3	5 5.3

【入浴】

【衣服の脱着】

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問12③入浴				問12④衣服の着脱				
		ひとりで できる	一部介助 が必要	全部介助 が必要	無回答	ひとりで できる	一部介助 が必要	全部介助 が必要	無回答	
全体	641 100.0	438 68.3	75 11.7	81 12.6	47 7.3	466 72.7	71 11.1	56 8.7	48 7.5	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	49 59.0	17 20.5	16 19.3	1 1.2	55 66.3	15 18.1	10 12.0	3 3.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	88 73.3	12 10.0	12 10.0	8 6.7	91 75.8	11 9.2	10 8.3	8 6.7
	60歳代以上	425 100.0	293 68.9	45 10.6	52 12.2	35 8.2	310 72.9	45 10.6	35 8.2	35 8.2
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	322 68.7	51 10.9	59 12.6	37 7.9	345 73.6	45 9.6	43 9.2	36 7.7
	知的障がい	86 100.0	38 44.2	23 26.7	24 27.9	1 1.2	45 52.3	23 26.7	15 17.4	3 3.5
	精神障がい	95 100.0	79 83.2	5 5.3	6 6.3	5 5.3	78 82.1	6 6.3	6 6.3	5 5.3

【身だしなみ】

【家の中の移動】

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問12⑤身だしなみ				問12⑥家の中の移動				
		ひとりで できる	一部介助 が必要	全部介助 が必要	無回答	ひとりで できる	一部介助 が必要	全部介助 が必要	無回答	
全体	641 100.0	443 69.1	89 13.9	61 9.5	48 7.5	498 77.7	43 6.7	44 6.9	56 8.7	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	39 47.0	28 33.7	15 18.1	1 1.2	70 84.3	7 8.4	4 4.8	2 2.4
	40歳代～50歳代	120 100.0	84 70.0	17 14.2	11 9.2	8 6.7	93 77.5	7 5.8	9 7.5	11 9.2
	60歳代以上	425 100.0	311 73.2	43 10.1	34 8.0	37 8.7	326 76.7	28 6.6	30 7.1	41 9.6
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	346 73.8	45 9.6	40 8.5	38 8.1	356 75.9	34 7.2	35 7.5	44 9.4
	知的障がい	86 100.0	27 31.4	34 39.5	23 26.7	2 2.3	67 77.9	5 5.8	10 11.6	4 4.7
	精神障がい	95 100.0	72 75.8	12 12.6	6 6.3	5 5.3	81 85.3	2 2.1	5 5.3	7 7.4

【外出】

【家族以外の人との意思疎通】

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問12⑦外出				問12⑧家族以外の人との意思疎通				
		ひとりで できる	一部介助 が必要	全部介助 が必要	無回答	ひとりで できる	一部介助 が必要	全部介助 が必要	無回答	
全体	641 100.0	343 53.5	141 22.0	103 16.1	54 8.4	424 66.1	101 15.8	53 8.3	63 9.8	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	31 37.3	26 31.3	24 28.9	2 2.4	38 45.8	22 26.5	20 24.1	3 3.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	67 55.8	27 22.5	15 12.5	11 9.2	73 60.8	26 21.7	11 9.2	10 8.3
	60歳代以上	425 100.0	241 56.7	82 19.3	63 14.8	39 9.2	306 72.0	51 12.0	21 4.9	47 11.1
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	261 55.7	95 20.3	72 15.4	41 8.7	348 74.2	47 10.0	27 5.8	47 10.0
	知的障がい	86 100.0	23 26.7	26 30.2	34 39.5	3 3.5	26 30.2	28 32.6	29 33.7	3 3.5
	精神障がい	95 100.0	57 60.0	23 24.2	8 8.4	7 7.4	53 55.8	29 30.5	6 6.3	7 7.4

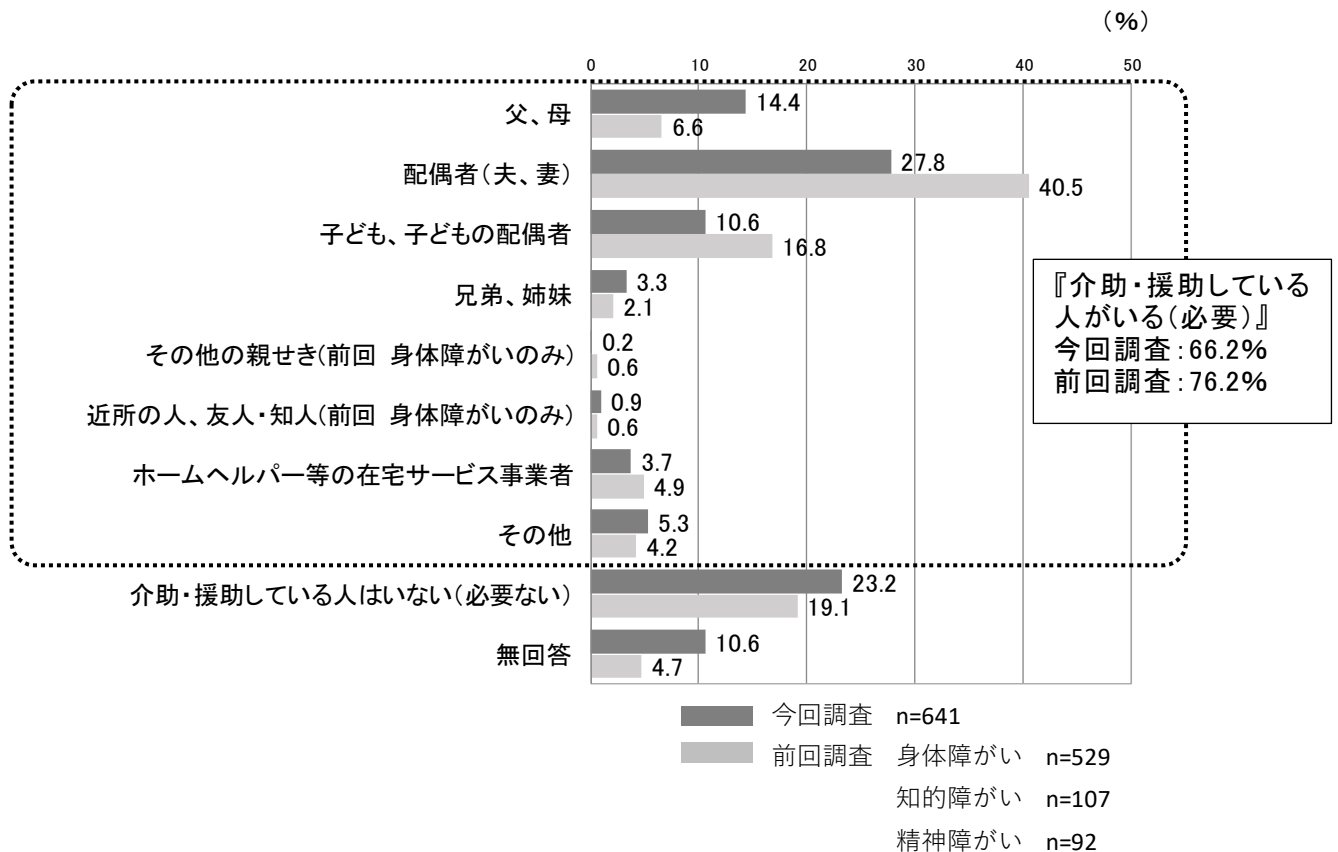
【お金の管理】

【薬の管理】

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問12⑨お金の管理				問12⑩薬の管理				
		ひとりで できる	一部介助 が必要	全部介助 が必要	無回答	ひとりで できる	一部介助 が必要	全部介助 が必要	無回答	
全体	641 100.0	390 60.8	86 13.4	115 17.9	50 7.8	425 66.3	50 7.8	117 18.3	49 7.6	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	30 36.1	15 18.1	37 44.6	1 1.2	33 39.8	9 10.8	38 45.8	3 3.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	68 56.7	22 18.3	20 16.7	10 8.3	81 67.5	14 11.7	17 14.2	8 6.7
	60歳代以上	425 100.0	286 67.3	45 10.6	57 13.4	37 8.7	302 71.1	26 6.1	61 14.4	36 8.5
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	320 68.2	46 9.8	64 13.6	39 8.3	343 73.1	24 5.1	66 14.1	36 7.7
	知的障がい	86 100.0	15 17.4	19 22.1	51 59.3	1 1.2	17 19.8	15 17.4	50 58.1	4 4.7
	精神障がい	95 100.0	55 57.9	22 23.2	12 12.6	6 6.3	67 70.5	12 12.6	10 10.5	6 6.3

問13 主な介助・援助者（SA）

- 「介助・援助している人はいない（必要ない）」は、23.2%、『介助・援助している人がいる（必要）』が66.2%となっています。
- 主な介助・援助者としては、「配偶者（夫、妻）」が27.8%で最も高く、次いで「父、母」が14.4%、「子ども、子どもの配偶者」が10.6%の順となっています。
- 『介助・援助している人がいる（必要）』について、前回調査より10.0ポイント低下しました。
- ★年齢別にみると、“10歳代～30歳代”と“40歳代～50歳代”、障がいの種類別では、“知的障がい”と“精神障がい”で、それぞれ「父、母」が最も高くなっています。

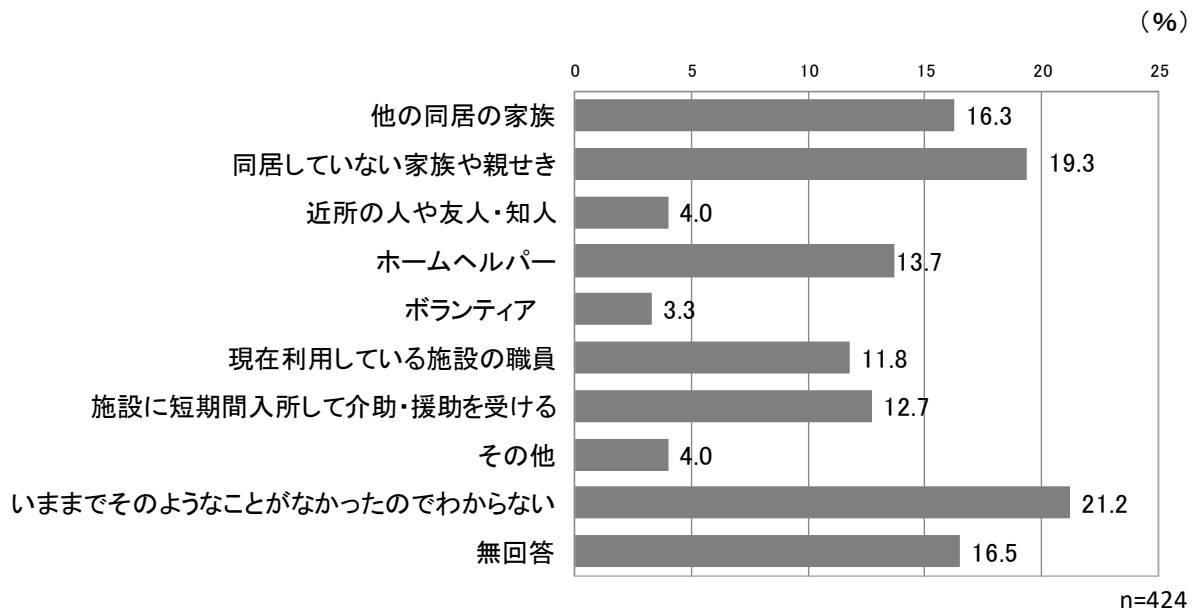


上段:人 下段:%	合計	問13 主な介助・援助者									無回答	
		父、母	配偶者(夫、妻)	子ども、子どもの配偶者	兄弟、姉妹	その他の親せき	近所の人、友人・知人	ホームヘルパー等の在宅サービス事業者	その他	介助・援助している人はいない(必要ない)		
全体	641 100.0	92 14.4	178 27.8	68 10.6	21 3.3	1 0.2	6 0.9	24 3.7	34 5.3	149 23.2	68 10.6	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	55 66.3	0 0.0	1 1.2	1 1.2	0 0.0	0 0.0	2 2.4	4 4.8	17 20.5	3 3.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	30 25.0	22 18.3	2 1.7	8 6.7	0 0.0	1 0.8	8 6.7	9 7.5	30 25.0	10 8.3
	60歳代以上	425 100.0	5 1.2	152 35.8	63 14.8	12 2.8	1 0.2	5 1.2	14 3.3	19 4.5	102 24.0	52 12.2
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	24 5.1	165 35.2	62 13.2	11 2.3	0 0.0	5 1.1	16 3.4	15 3.2	121 25.8	50 10.7
	知的障がい	86 100.0	52 60.5	2 2.3	1 1.2	4 4.7	1 1.2	0 0.0	1 1.2	13 15.1	7 8.1	5 5.8
	精神障がい	95 100.0	29 30.5	8 8.4	1 1.1	7 7.4	0 0.0	0 0.0	6 6.3	10 10.5	24 25.3	10 10.5

問14 主な介助者等が不在の場合に希望する介助・援助者（MA）

問13で、『介助・援助をしている人がいる（必要）』と回答した人のみ

- 「いままでそのようなことがなかったのでわからない」が21.2%で最も高くなっています。
- 希望する介助・援助者としては、「同居していない家族や親せき」が19.3%、「他の同居の家族」が16.3%、「ホームヘルパー」が13.7%の順となっています。
- ★年齢別にみると、“10歳代～30歳代”では「他の同居の家族」、障がいの種類別にみると“身体障がい”では「同居していない家族や親せき」、「知的障がい」では「現在利用している施設の職員」が、それぞれ割合が最も高くなっています。



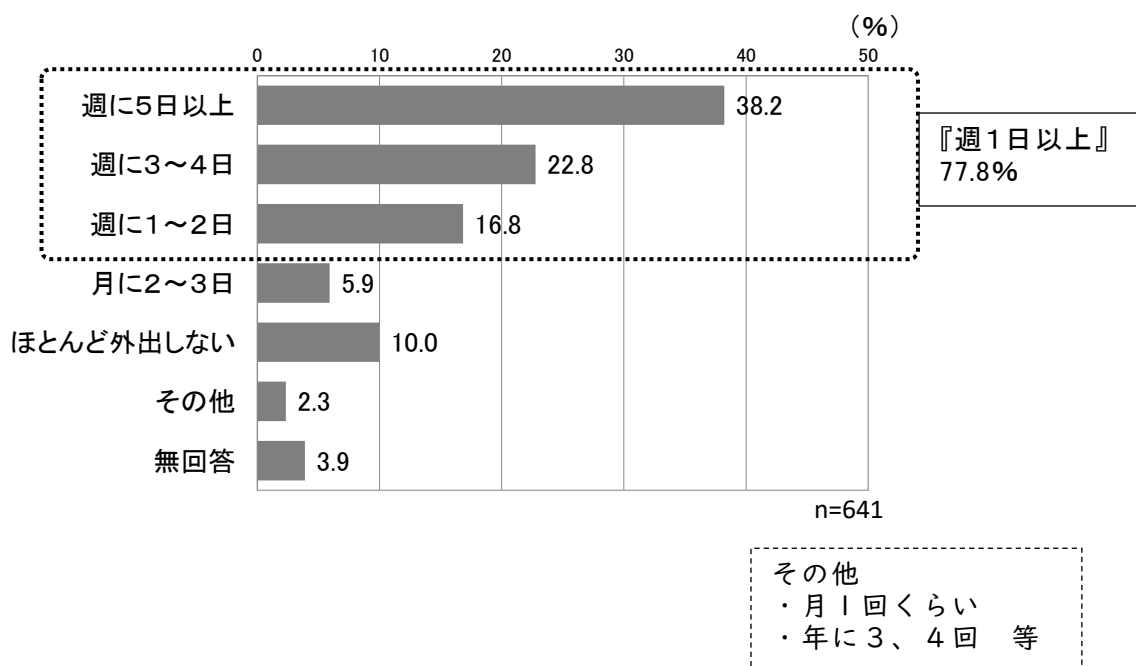
その他
・民生委員 等

上段:人 下段:%	合計	問14 主な介助・援助者が不在の場合に希望する介助・援助者										
		他の同居の家族	同居していない家族や親せき	近所の人や友人・知人	ホームヘルパー	ボランティア	現在利用している施設の職員	施設に短期間入所して介助・援助を受ける	その他	いままでそのようなことがなかったのでわからない	無回答	
全体	424	69	82	17	58	14	50	54	17	90	70	
	100.0	16.3	19.3	4.0	13.7	3.3	11.8	12.7	4.0	21.2	16.5	
年齢	10歳代～30歳代	63	18	12	1	9	2	9	16	4	10	5
		100.0	28.6	19.0	1.6	14.3	3.2	14.3	25.4	6.3	15.9	7.9
	40歳代～50歳代	80	12	12	5	9	3	15	6	2	21	10
	100.0	15.0	15.0	6.3	11.3	3.8	18.8	7.5	2.5	26.3	12.5	
	271	38	57	11	39	7	24	32	11	58	52	
	100.0	14.0	21.0	4.1	14.4	2.6	8.9	11.8	4.1	21.4	19.2	
障がいの種類	身体障がい	298	48	66	11	38	10	26	35	10	61	54
		100.0	16.1	22.1	3.7	12.8	3.4	8.7	11.7	3.4	20.5	18.1
	知的障がい	74	18	9	1	11	2	19	17	3	11	7
	100.0	24.3	12.2	1.4	14.9	2.7	25.7	23.0	4.1	14.9	9.5	
	61	7	6	3	8	2	6	5	4	21	12	
	100.0	11.5	9.8	4.9	13.1	3.3	9.8	8.2	6.6	34.4	19.7	

3 外出について

問15 外出の頻度 (SA)

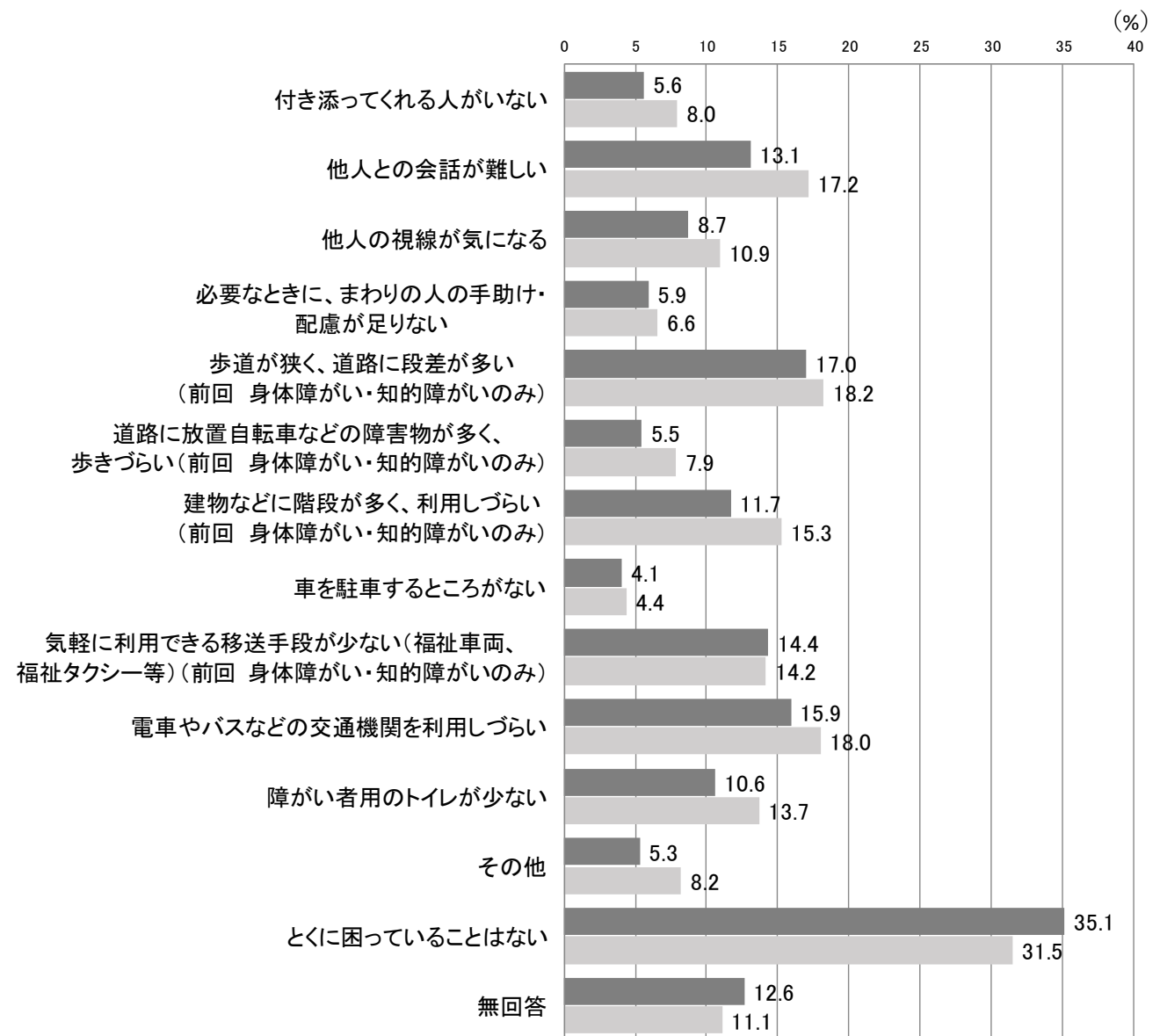
- 「週に5日以上」が38.2%で最も高く、次いで「週に3～4日」が22.8%、「週に1～2日」が16.8%となっており、合わせた『週1日以上』は77.8%となっています。
- 「ほとんど外出しない」は、10.0%となっています。
- ★ 「ほとんど外出しない」については、年齢別にみると“60歳代以上”、障がいの種類別にみると“身体障がい”で、それぞれ1割以上と高くなっています。



上段:人 下段:%	合計	問15 外出の頻度							
		週に5日以上	週に3～4日	週に1～2日	月に2～3日	ほとんど外出しない	その他	無回答	
全体	641 100.0	245 38.2	146 22.8	108 16.8	38 5.9	64 10.0	15 2.3	25 3.9	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	54 65.1	12 14.5	9 10.8	3 3.6	3 3.6	1 1.2	1 1.2
	40歳代～50歳代	120 100.0	56 46.7	21 17.5	19 15.8	8 6.7	9 7.5	3 2.5	4 3.3
	60歳代以上	425 100.0	133 31.3	109 25.6	79 18.6	27 6.4	51 12.0	10 2.4	16 3.8
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	166 35.4	119 25.4	78 16.6	28 6.0	51 10.9	9 1.9	18 3.8
	知的障がい	86 100.0	54 62.8	6 7.0	9 10.5	5 5.8	7 8.1	2 2.3	3 3.5
	精神障がい	95 100.0	37 38.9	23 24.2	15 15.8	4 4.2	8 8.4	4 4.2	4 4.2

問16 外出の際に困っていること (MA)

- 「とくに困っていることはない」が35.1%で最も高くなっています。
- 何らかの困っていることをあげている人は、52.3%となっており、「歩道が狭く、道路に段差が多い」が17.0%、「電車やバスなどの交通機関を利用しづらい」が15.9%、「気軽に利用できる移送手段が少ない（福祉車両、福祉タクシー等）」が14.4%の順となっています。
- 「とくに困っていることはない」が前回調査の31.5%より、3.6ポイント上昇しています。
- ★年齢別にみると“10歳代～30歳代”では「他人との会話が難しい」が最も高く、障がいの種類別にみると”知的障がい”では「他人との会話が難しい」、「精神障がい”では「他人の視線が気になる」が、それぞれ最も高くなっています。



その他

- ・ 買い物をした荷物が運べない
- ・ ベンチが少ない
- ・ 自分の言動で相手を傷つけているか分からない 等

■ 今回調査 n=641
 ■ 前回調査 身体障がい n=529
 知的障がい n=107
 精神障がい n=92

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問16 外出の際に困っていること							
		付き添ってくれる人がいない	他人との会話が難しい	他人の視線が気になる	必要などに、まわりの人の手助け・配慮が足りない	歩道が狭く、道路に段差が多い	道路に放置自転車などの障害物が多く、歩きづらい	建物などに階段が多く、利用しづらい	
全体	641 100.0	36 5.6	84 13.1	56 8.7	38 5.9	109 17.0	35 5.5	75 11.7	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	11 13.3	33 39.8	24 28.9	14 16.9	10 12.0	4 4.8	7 8.4
	40歳代～50歳代	120 100.0	7 5.8	16 13.3	22 18.3	13 10.8	26 21.7	11 9.2	14 11.7
	60歳代以上	425 100.0	16 3.8	33 7.8	9 2.1	10 2.4	69 16.2	18 4.2	51 12.0
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	17 3.6	38 8.1	14 3.0	22 4.7	90 19.2	31 6.6	64 13.6
	知的障がい	86 100.0	11 12.8	31 36.0	18 20.9	12 14.0	9 10.5	4 4.7	9 10.5
	精神障がい	95 100.0	5 5.3	17 17.9	27 28.4	7 7.4	12 12.6	1 1.1	9 9.5

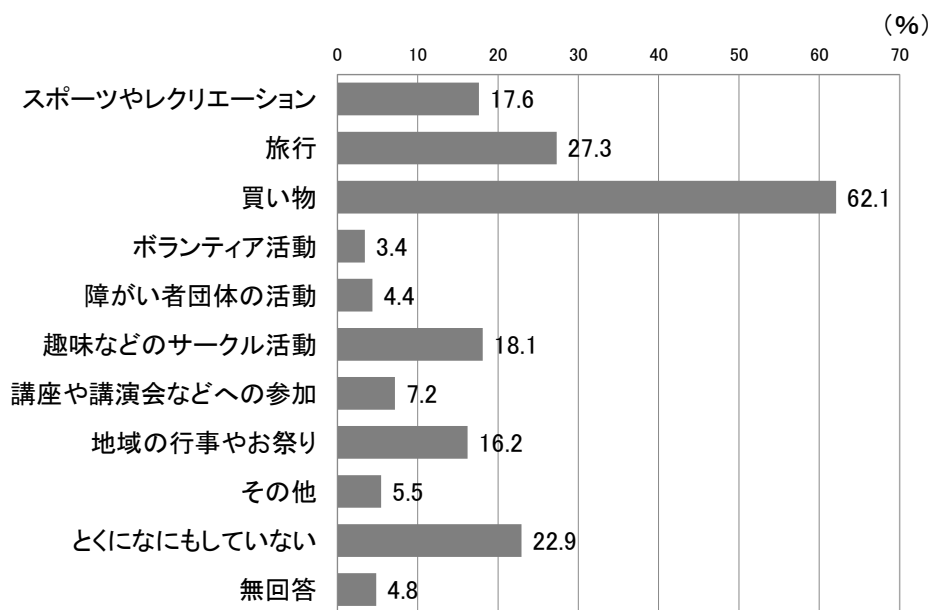
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問16 外出の際に困っていること							
		車を駐車するところがない	気軽に利用できる移送手段が少ない(福祉車両、福祉タクシー等)	電車やバスなどの交通機関を利用しづらい	障がい者のトイレが少ない	その他	とくに困っていることはない	無回答	
全体	641 100.0	26 4.1	92 14.4	102 15.9	68 10.6	34 5.3	225 35.1	81 12.6	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	3 3.6	11 13.3	27 32.5	15 18.1	6 7.2	19 22.9	4 4.8
	40歳代～50歳代	120 100.0	6 5.0	17 14.2	19 15.8	11 9.2	8 6.7	41 34.2	12 10.0
	60歳代以上	425 100.0	16 3.8	62 14.6	55 12.9	41 9.6	20 4.7	164 38.6	61 14.4
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	22 4.7	72 15.4	65 13.9	54 11.5	22 4.7	177 37.7	57 12.2
	知的障がい	86 100.0	2 2.3	4 4.7	20 23.3	14 16.3	4 4.7	22 25.6	11 12.8
	精神障がい	95 100.0	2 2.1	16 16.8	21 22.1	7 7.4	7 7.4	30 31.6	11 11.6

問17 この1年くらいに行った活動（MA）

○「とくになにもしていない」は22.9%となっています。

○何らかの活動を行った人は72.3%で、活動内容としては、「買い物」が62.1%で最も高く、次いで「旅行」が27.3%、「スポーツやレクリエーション」が17.6%の順となっています。

★何らかの活動を行っている割合は、“10歳代～30歳代”、“精神障がい”で、それぞれ最も高くなっています。



n=641

その他
 ・仕事
 ・就職活動
 ・施設内のイベント参加
 ・散歩
 ・リハビリ 等

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問17 この1年くらいに行った活動						
		スポーツ やレクリ エーション	旅行	買い物	ボラン ティア活 動	障がい者 団体の活 動	趣味など のサーク ル活動	
全体	641 100.0	113 17.6	175 27.3	398 62.1	22 3.4	28 4.4	116 18.1	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	22 26.5	26 31.3	62 74.7	3 3.6	12 14.5	8 9.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	18 15.0	39 32.5	86 71.7	3 2.5	6 5.0	21 17.5
	60歳代以上	425 100.0	71 16.7	109 25.6	244 57.4	16 3.8	8 1.9	84 19.8
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	72 15.4	129 27.5	284 60.6	14 3.0	11 2.3	95 20.3
	知的障がい	86 100.0	23 26.7	24 27.9	49 57.0	2 2.3	10 11.6	8 9.3
	精神障がい	95 100.0	16 16.8	21 22.1	64 67.4	4 4.2	9 9.5	15 15.8

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問17 この1年くらいに行った活動						
		講座や講 演会など への参加	地域の行 事やお祭 り	その他	とくにな にもして いない	無回答	活動を行 った	
全体	641 100.0	46 7.2	104 16.2	35 5.5	147 22.9	31 4.8	463 72.3	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	5 6.0	12 14.5	8 9.6	10 12.0	1 1.2	72 86.7
	40歳代～50歳代	120 100.0	13 10.8	19 15.8	4 3.3	21 17.5	7 5.8	92 76.7
	60歳代以上	425 100.0	26 6.1	71 16.7	23 5.4	114 26.8	20 4.7	291 68.5
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	33 7.0	75 16.0	22 4.7	118 25.2	23 4.9	328 69.9
	知的障がい	86 100.0	0 0.0	13 15.1	4 4.7	22 25.6	4 4.7	60 69.8
	精神障がい	95 100.0	12 12.6	14 14.7	7 7.4	17 17.9	4 4.2	74 77.9

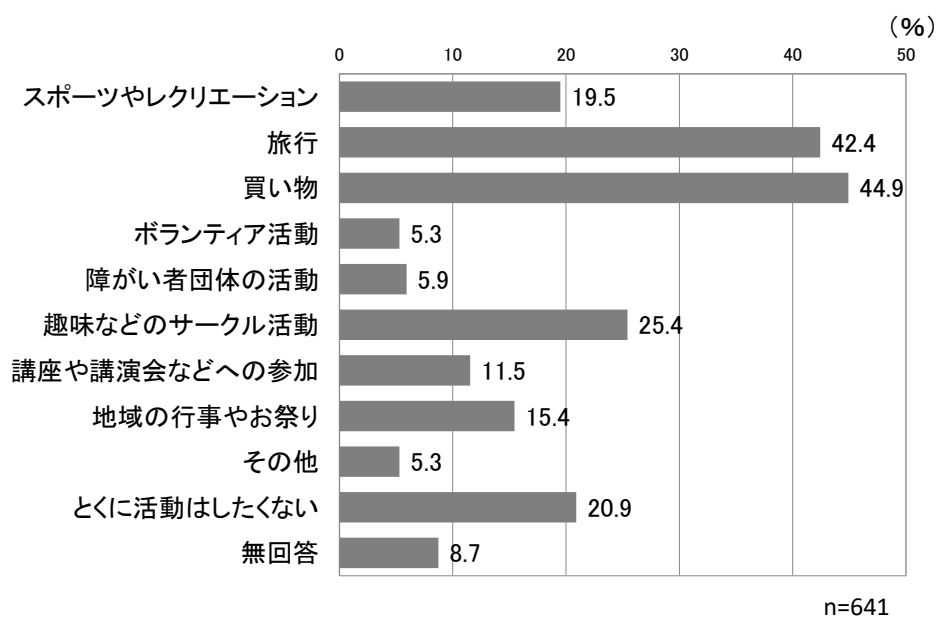
※活動を行った = 全体 - (「とくになにもしていない」 + 「無回答」)

問18 今後、行いたい活動（MA）

○「とくに活動はしたくない」は20.9%となっています。

○行いたい活動としては、「買い物」が44.9%で最も高く、次いで「旅行」が42.4%となっています。

★「とくに活動はしたくない」は、年齢別では“60歳代以上”、障がいの種類別では“身体障がい”が高くなっています。



その他
 ・仕事
 ・リハビリ
 ・学校へ行く
 ・貯金、家のリフォーム
 ・姉妹などとお会い
 ・友人とのつきあい 等

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問18 今後、行いたい活動						
		スポーツ やレクリ エーショ ン	旅行	買い物	ボラン ティア活 動	障がい者 団体の活 動	趣味など のサーク ル活動	
全体	641 100.0	125 19.5	272 42.4	288 44.9	34 5.3	38 5.9	163 25.4	
年 齢	10歳代～30歳代	83 100.0	27 32.5	50 60.2	49 59.0	4 4.8	13 15.7	18 21.7
	40歳代～50歳代	120 100.0	28 23.3	58 48.3	73 60.8	7 5.8	12 10.0	40 33.3
	60歳代以上	425 100.0	68 16.0	159 37.4	162 38.1	23 5.4	11 2.6	101 23.8
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	74 15.8	193 41.2	201 42.9	23 4.9	16 3.4	122 26.0
	知的障がい	86 100.0	24 27.9	40 46.5	45 52.3	3 3.5	13 15.1	14 16.3
	精神障がい	95 100.0	26 27.4	40 42.1	48 50.5	10 10.5	11 11.6	29 30.5

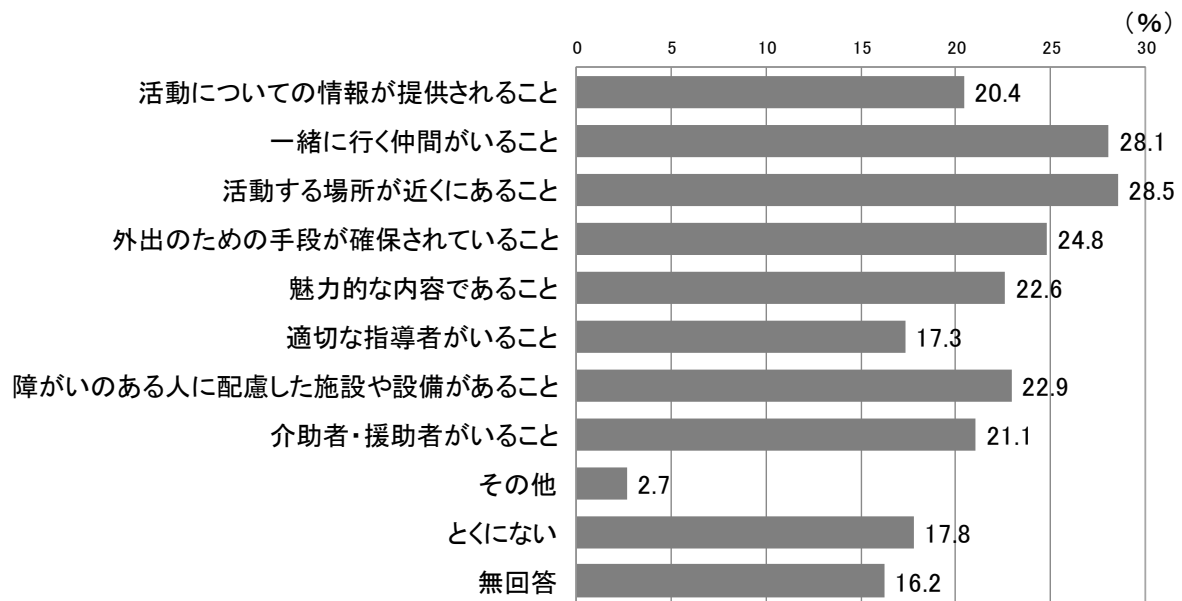
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問18 今後、行いたい活動						
		講座や講 演会など への参加	地域の行 事やお祭 り	その他	とくに活 動はした くない	無回答	活動を行 いたい	
全体	641 100.0	74 11.5	99 15.4	34 5.3	134 20.9	56 8.7	451 70.4	
年 齢	10歳代～30歳代	83 100.0	6 7.2	19 22.9	6 7.2	6 7.2	3 3.6	74 89.2
	40歳代～50歳代	120 100.0	19 15.8	22 18.3	5 4.2	18 15.0	5 4.2	97 80.8
	60歳代以上	425 100.0	47 11.1	57 13.4	22 5.2	108 25.4	45 10.6	272 64.0
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	55 11.7	70 14.9	20 4.3	109 23.2	44 9.4	316 67.4
	知的障がい	86 100.0	1 1.2	18 20.9	2 2.3	11 12.8	7 8.1	68 79.1
	精神障がい	95 100.0	18 18.9	15 15.8	11 11.6	18 18.9	4 4.2	73 76.8

※活動を行いたい＝全体－（「とくに活動はしたくない」＋「無回答」）

問19 活動に必要な条件（MA）

○「活動する場所が近くにあること」が28.5%で最も高く、次いで「一緒に行く仲間がいること」が28.1%、「外出のための手段が確保されていること」が24.8%の順となっています。

★年齢別にみると“10歳代～30歳代”では「障がいのある人に配慮した施設や設備があること」、「40歳代～50歳代」では「一緒に行く仲間がいること」障がいの種類別にみると、“知的障がい”では「介助者・援助者がいること」が、それぞれ最も高くなっています。



n=641

その他
 ・金銭的な余裕
 ・理解ある人がいること 等

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問19 活動に必要な条件						
		活動につ いての情 報が提供 されるこ と	一緒に行 く仲間が いること	活動する 場所が近 くにある こと	外出のた めの手段 が確保さ れている こと	魅力的な 内容であ ること	適切な指 導者がい ること	
全体	641 100.0	131 20.4	180 28.1	183 28.5	159 24.8	145 22.6	111 17.3	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	34 41.0	33 39.8	37 44.6	29 34.9	25 30.1	28 33.7
	40歳代～50歳代	120 100.0	36 30.0	42 35.0	37 30.8	36 30.0	34 28.3	23 19.2
	60歳代以上	425 100.0	59 13.9	102 24.0	107 25.2	92 21.6	83 19.5	58 13.6
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	79 16.8	120 25.6	126 26.9	116 24.7	102 21.7	67 14.3
	知的障がい	86 100.0	24 27.9	33 38.4	28 32.6	24 27.9	18 20.9	19 22.1
	精神障がい	95 100.0	29 30.5	28 29.5	35 36.8	23 24.2	28 29.5	29 30.5

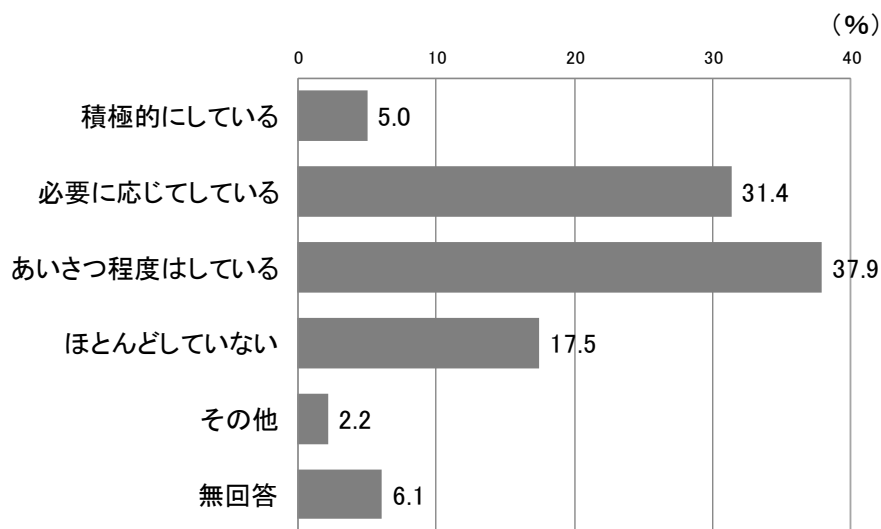
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問19 活動に必要な条件					
		障がいの ある人に 配慮した 施設や設 備がある こと	介助者・ 援助者が いること	その他	とくにな い	無回答	
全体	641 100.0	147 22.9	135 21.1	17 2.7	114 17.8	104 16.2	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	38 45.8	33 39.8	3 3.6	7 8.4	5 6.0
	40歳代～50歳代	120 100.0	34 28.3	28 23.3	7 5.8	21 17.5	12 10.0
	60歳代以上	425 100.0	73 17.2	72 16.9	6 1.4	85 20.0	82 19.3
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	102 21.7	91 19.4	5 1.1	89 19.0	82 17.5
	知的障がい	86 100.0	32 37.2	34 39.5	1 1.2	10 11.6	15 17.4
	精神障がい	95 100.0	19 20.0	16 16.8	10 10.5	14 14.7	9 9.5

4 地域での生活について

問20 近所づきあいの状況（SA）

○「あいさつ程度はしている」が37.9%で最も高く、次いで「必要に応じてしている」が31.4%、「ほとんどしていない」が17.5%の順となっています。

★「ほとんどしていない」は、年齢別にみると年齢が若いほど割合が高く、障がいの種類別にみると“知的障がい”で高くなっています。



n=641

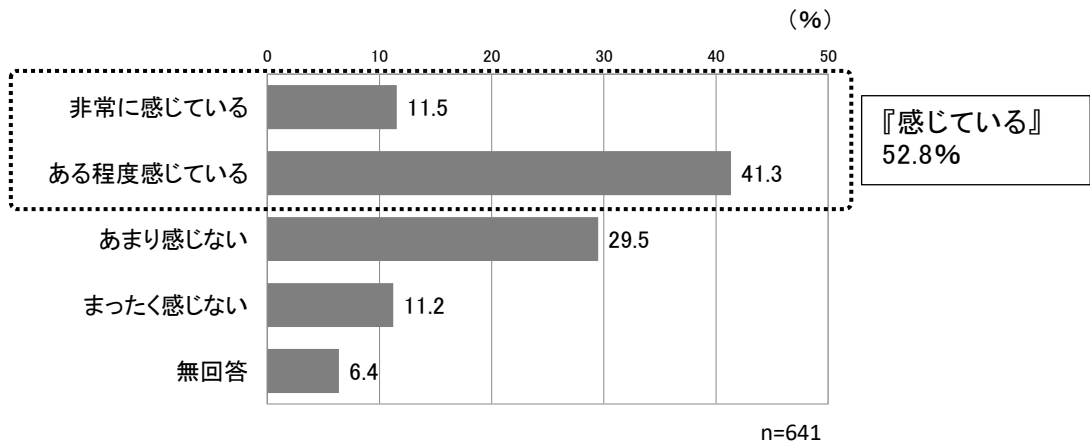
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問20 近所づきあいの状況						
		積極的に している	必要に 応じて して いる	あいさつ 程度は して いる	ほとん どし てい ない	その他	無回答	
全体	641 100.0	32 5.0	201 31.4	243 37.9	112 17.5	14 2.2	39 6.1	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	3 3.6	12 14.5	35 42.2	29 34.9	3 3.6	1 1.2
	40歳代～50歳代	120 100.0	2 1.7	29 24.2	52 43.3	29 24.2	1 0.8	7 5.8
	60歳代以上	425 100.0	25 5.9	158 37.2	153 36.0	50 11.8	10 2.4	29 6.8
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	21 4.5	176 37.5	175 37.3	62 13.2	7 1.5	28 6.0
	知的障がい	86 100.0	2 2.3	13 15.1	35 40.7	28 32.6	3 3.5	5 5.8
	精神障がい	95 100.0	4 4.2	15 15.8	37 38.9	30 31.6	3 3.2	6 6.3

その他
・全くしていない

問21 地域の人や社会に支えられていると感じるか (SA)

○「ある程度感じている」が41.3%で最も高く、「非常に感じている」の11.5%と合わせた『感じている』は52.8%となっています。

★『感じている』については、年齢別では“40歳代～50歳代”と“60歳代以上”、“身体障がい”と“知的障がい”で50%を超えています。

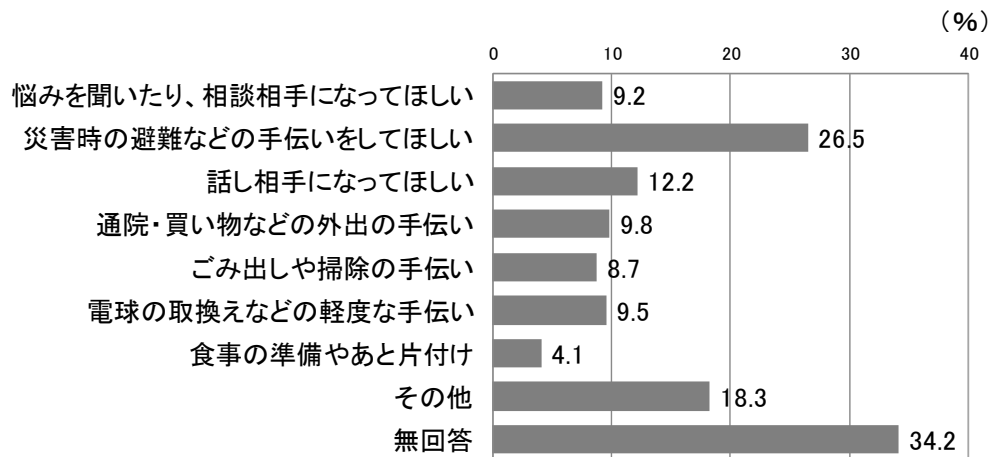


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問21 地域の人や社会に支えられていると感じるか					
		非常に感 じている	ある程度 感じてい る	あまり感 じない	まったく 感じない	無回答	
全体	641 100.0	74 11.5	265 41.3	189 29.5	72 11.2	41 6.4	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	8 9.6	33 39.8	25 30.1	16 19.3	1 1.2
	40歳代～50歳代	120 100.0	18 15.0	47 39.2	32 26.7	19 15.8	4 3.3
	60歳代以上	425 100.0	47 11.1	178 41.9	130 30.6	36 8.5	34 8.0
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	55 11.7	207 44.1	135 28.8	43 9.2	29 6.2
	知的障がい	86 100.0	15 17.4	34 39.5	23 26.7	12 14.0	2 2.3
	精神障がい	95 100.0	14 14.7	31 32.6	30 31.6	17 17.9	3 3.2

問22 地域の身近な人に手助けしてほしいこと（MA）

○無回答を除くと、「災害時の避難などの手伝いをしてほしい」が26.5%で最も高く、次いで「話し相手になってほしい」が12.2%、「通院・買い物などの外出の手伝い」が9.8%の順となっています。

★年齢別にみると大きな差異はみられませんが、障がいの種類別にみると、“精神障がい”では、「悩みを聞いたり、相談相手になってほしい」が28.4%で最も高くなっています。



n=641

- その他
- ・本人に声をかけて欲しい
 - ・70歳以上になった時に安否確認
 - ・手話通訳
 - ・仕事時の保証人になって欲しい
 - ・農業 等

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問22 地域の身近な人に手助けしてほしいこと									
		悩みを聞いたり、相談相手になってほしい	災害時の避難などの手伝いをしてほしい	話し相手になってほしい	通院・買い物などの外出の手伝い	ごみ出しや掃除の手伝い	電球の取換えなどの軽度な手伝い	食事の準備やあと片付け	その他	無回答	
全体	641 100.0	59 9.2	170 26.5	78 12.2	63 9.8	56 8.7	61 9.5	4.1	26 18.3	117 34.2	219
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	10 12.0	34 41.0	8 9.6	8 9.6	6 7.2	1 1.2	2 2.4	15 18.1	25 30.1
	40歳代～50歳代	120 100.0	24 20.0	31 25.8	16 13.3	12 10.0	14 11.7	11 9.2	5 4.2	24 20.0	32 26.7
	60歳代以上	425 100.0	23 5.4	102 24.0	52 12.2	42 9.9	34 8.0	46 10.8	19 4.5	78 18.4	157 36.9
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	27 5.8	123 26.2	55 11.7	46 9.8	39 8.3	50 10.7	16 3.4	88 18.8	161 34.3
	知的障がい	86 100.0	10 11.6	34 39.5	8 9.3	12 14.0	8 9.3	4 4.7	1 1.2	11 12.8	30 34.9
	精神障がい	95 100.0	27 28.4	21 22.1	16 16.8	8 8.4	14 14.7	8 8.4	8 8.4	16 16.8	26 27.4

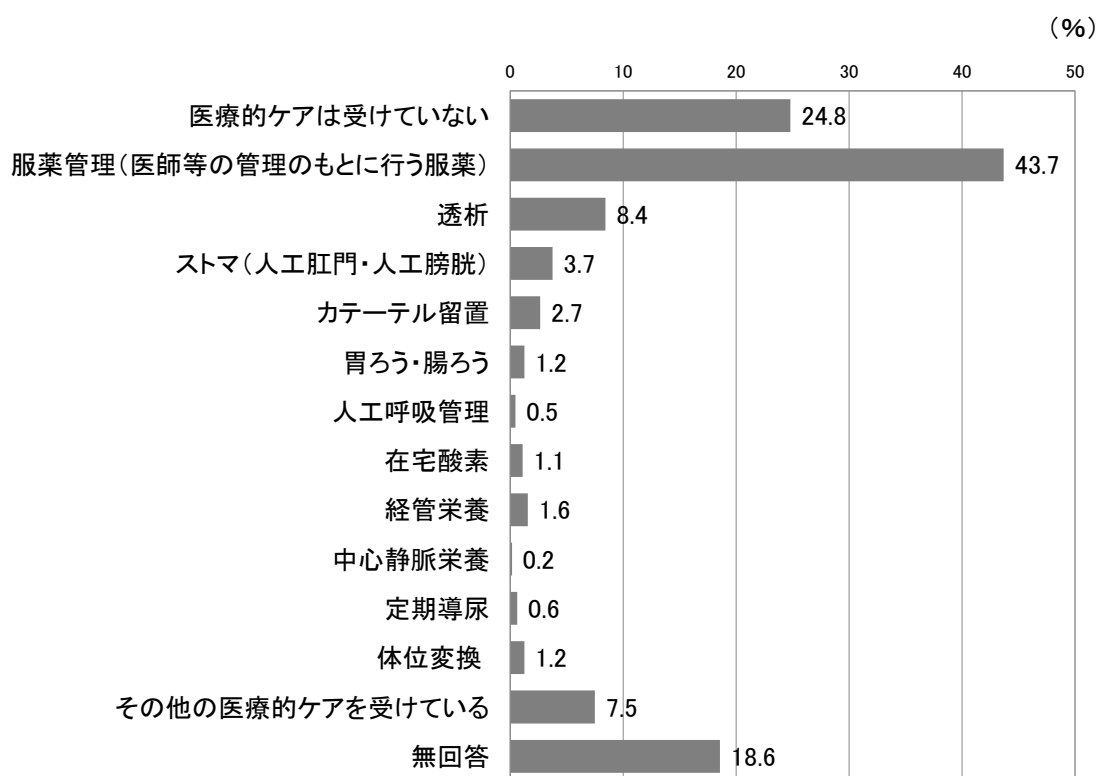
5 医療や健康管理について

問23 医療的ケアの状況（MA）

○「医療的ケアは受けていない」が24.8%となっています。

○受けている医療ケアとしては、「服薬管理（医師等の管理のもとに行う服薬）」が43.7%で最も高く、次いで「透析」が8.4%、「その他の医療的ケアを受けている」が7.5%の順となっています。

★年齢別にみると“10歳代～30歳代”では、「医療的ケアは受けていない」が「服薬管理（医師等の管理のもとに行う服薬）」と同率となっています。



n=641

その他
 ・訪問看護
 ・マッサージ
 ・ペースメーカー
 ・定期健診 等

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問23 医療的ケアの状況						
		医療的ケアは受けていない	服薬管理 (医師等の管理のもとに行う服薬)	透析	ストマ (人工肛門・人工膀胱)	カテーテル留置	胃ろう・腸ろう	人工呼吸管理
全体	641 100.0	159 24.8	280 43.7	54 8.4	24 3.7	17 2.7	8 1.2	3 0.5
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	33 39.8	33 39.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40歳代～50歳代	120 100.0	37 30.8	54 45.0	13 10.8	4 3.3	2 1.7	1 0.8
	60歳代以上	425 100.0	87 20.5	187 44.0	41 9.6	19 4.5	14 3.3	7 1.6
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	107 22.8	197 42.0	53 11.3	22 4.7	14 3.0	7 1.5
	知的障がい	86 100.0	30 34.9	37 43.0	1 1.2	1 1.2	0 0.0	1 1.2
	精神障がい	95 100.0	26 27.4	52 54.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.1

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問23 医療的ケアの状況						
		在宅酸素	経管栄養	中心静脈 栄養	定期導尿	体位変換	その他の 医療的ケアを受けている	無回答
全体	641 100.0	7 1.1	10 1.6	1 0.2	4 0.6	8 1.2	48 7.5	119 18.6
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 10.8
	40歳代～50歳代	120 100.0	0 0.0	2 1.7	0 0.0	0 0.0	1 0.8	4 3.3
	60歳代以上	425 100.0	7 1.6	8 1.9	1 0.2	4 0.9	7 1.6	34 8.0
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	7 1.5	8 1.7	1 0.2	4 0.9	8 1.7	33 7.0
	知的障がい	86 100.0	0 0.0	1 1.2	0 0.0	0 0.0	1 1.2	8 9.3
	精神障がい	95 100.0	0 0.0	2 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 9.5

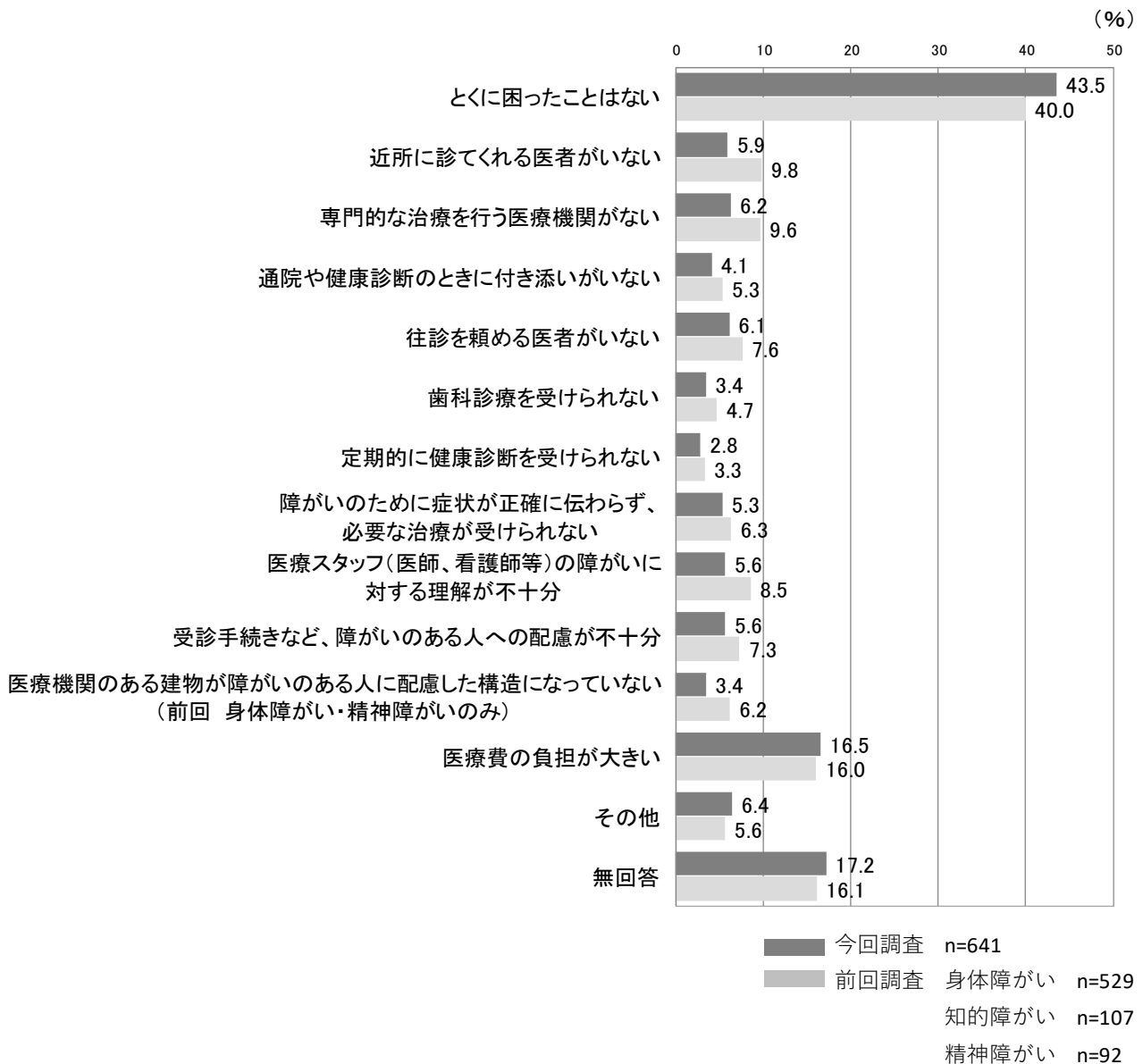
問24 健康管理や医療で困ったり不便なこと（MA）

○「とくに困ったことはない」が43.5%で最も高くなっています。

○困ったり不便なことの内容は、「医療費の負担が大きい」が16.5%、「専門的な治療を行う医療機関がない」が6.2%、「往診を頼める医者がいない」が6.1%となっています。

●前回調査と比べ「とくに困ったことはない」が3.5ポイント上昇しています。

★障がいの種類別にみると、“精神障がい”の「医療費の負担が大きい」が27.4%で、他の障がいに比べ高くなっています。



その他

- ・医療機関が遠方にある為、通院に費用がかかる
- ・診療拒否される
- ・本人が症状を訴えられない事も有り介護者が常に気を配らなくてはいけない
- ・助成を受ける為の手続き等が少々煩雑

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問24 健康管理や医療で困ったり不便なこと							
		とくに 困ったこ とはない	近所に診 てくれる 医者がい ない	専門的な 治療を行 う医療機 関がない	通院や健 康診断の ときに付 き添いが いない	往診を頼 める医者 がいない	歯科診療 を受けら れない	定期的に 健康診断 を受けら れない	
全体	641 100.0	279 43.5	38 5.9	40 6.2	26 4.1	39 6.1	22 3.4	18 2.8	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	32 38.6	10 12.0	9 10.8	5 6.0	6 7.2	6 7.2	7 8.4
	40歳代～50歳代	120 100.0	46 38.3	10 8.3	8 6.7	7 5.8	10 8.3	6 5.0	5 4.2
	60歳代以上	425 100.0	193 45.4	18 4.2	22 5.2	14 3.3	22 5.2	10 2.4	5 1.2
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	221 47.1	21 4.5	26 5.5	14 3.0	28 6.0	11 2.3	7 1.5
	知的障がい	86 100.0	37 43.0	7 8.1	6 7.0	8 9.3	6 7.0	6 7.0	6 7.0
	精神障がい	95 100.0	32 33.7	10 10.5	9 9.5	5 5.3	6 6.3	4 4.2	7 7.4

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問24 健康管理や医療で困ったり不便なこと							
		障がいの ために症 状が正確 に伝わら ず、必要 な治療が 受けられ ない	医療ス タッフ (医師、 看護師 等)の障 がいに對 する理解 が不十分	受診手続 きなど、 障がいの ある人へ の配慮が 不十分	医療機関 のある建 物が障が いのある 人に配慮 した構造 になって いない	医療費の 負担が大 きい	その他	無回答	
全体	641 100.0	34 5.3	36 5.6	36 5.6	22 3.4	106 16.5	41 6.4	110 17.2	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	10 12.0	10 12.0	13 15.7	3 3.6	11 13.3	11 13.3	8 9.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	8 6.7	11 9.2	8 6.7	7 5.8	27 22.5	8 6.7	19 15.8
	60歳代以上	425 100.0	14 3.3	14 3.3	15 3.5	10 2.4	67 15.8	22 5.2	81 19.1
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	15 3.2	20 4.3	19 4.1	20 4.3	73 15.6	26 5.5	80 17.1
	知的障がい	86 100.0	11 12.8	9 10.5	11 12.8	2 2.3	5 5.8	4 4.7	18 20.9
	精神障がい	95 100.0	8 8.4	9 9.5	6 6.3	2 2.1	26 27.4	10 10.5	15 15.8

6 日中の過ごし方について

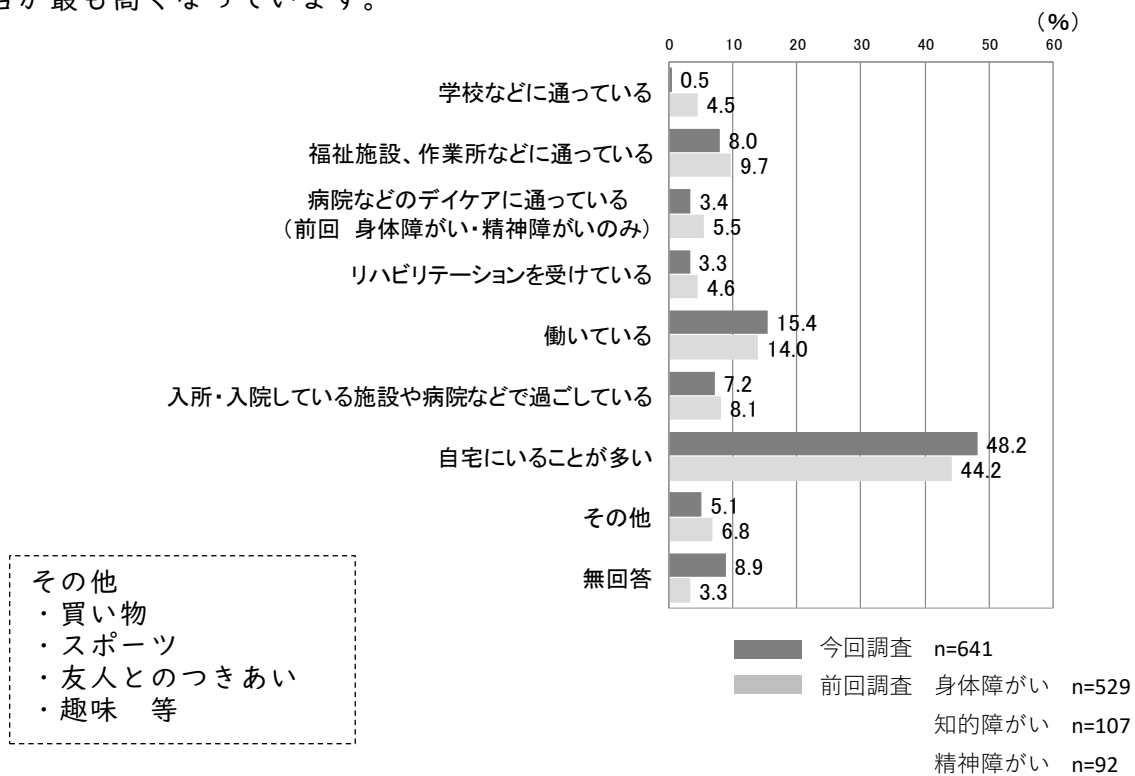
問25 平日の日中の主な過ごし方（SA）

○「自宅にすることが多い」が48.2%と最も高く、次いで「働いている」が15.4%、「福祉施設、作業所などに通っている」が8.0%となっています。

●「自宅にすることが多い」については、前回調査と比べ4.0ポイント上昇しました。

★年齢別にみると「自宅にすることが多い」は、年齢が高くなるほど割合も上がって、“60歳代以上”では57.4%と過半数を占めています。また、“10歳代～30歳代”では「福祉施設、作業所などに通っている」が最も高くなっています。

★障がいの種類別にみると、“知的障がい”では「福祉施設、作業所などに通っている」の割合が最も高くなっています。



〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問25 平日の日中の主な過ごし方									
		学校など に通って いる	福祉施 設、作業 所などに 通って いる	病院など のデイケ アに通っ ている	リハビリ テーショ ンを受け ている	働いて いる	入所・入 院してい る施設や 病院など で過ごし ている	自宅にい ることが 多い	その他	無回答	
全体	641 100.0	3 0.5	51 8.0	22 3.4	21 3.3	99 15.4	46 7.2	309 48.2	33 5.1	57 8.9	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	2 2.4	33 39.8	2 2.4	0 0.0	19 22.9	4 4.8	17 20.5	4 4.8	2 2.4
	40歳代～50歳代	120 100.0	1 0.8	13 10.8	3 2.5	0 0.0	41 34.2	6 5.0	44 36.7	4 3.3	8 6.7
	60歳代以上	425 100.0	0 0.0	4 0.9	16 3.8	20 4.7	38 8.9	35 8.2	244 57.4	24 5.6	44 10.4
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	2 0.4	15 3.2	17 3.6	21 4.5	66 14.1	30 6.4	250 53.3	24 5.1	44 9.4
	知的障がい	86 100.0	2 2.3	38 44.2	0 0.0	0 0.0	12 14.0	11 12.8	16 18.6	1 1.2	6 7.0
	精神障がい	95 100.0	0 0.0	8 8.4	6 6.3	0 0.0	20 21.1	8 8.4	39 41.1	8 8.4	6 6.3

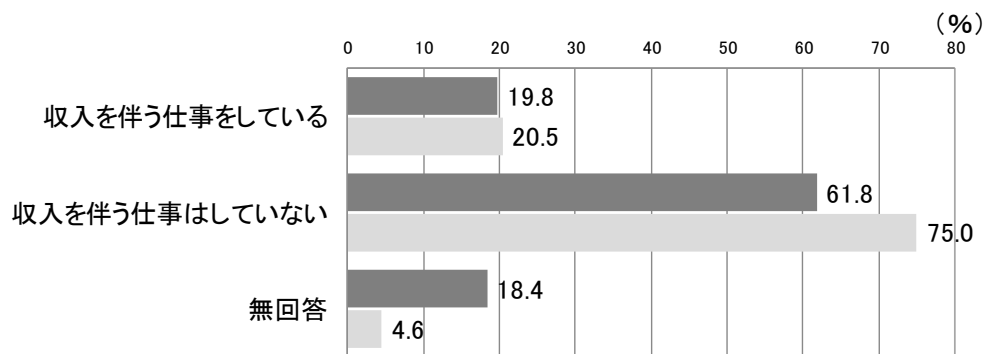
7 仕事について

問26 収入を伴う仕事（SA）

○「収入を伴う仕事をしている」は19.8%、「収入を伴う仕事はしていない」は61.8%となっています。

●「収入を伴う仕事はしていない」については、前回調査と比べ13.2ポイント低下しました。

★年齢別にみると“40歳代～50歳代”では「収入を伴う仕事をしている」が45.0%で最も高くなっています。



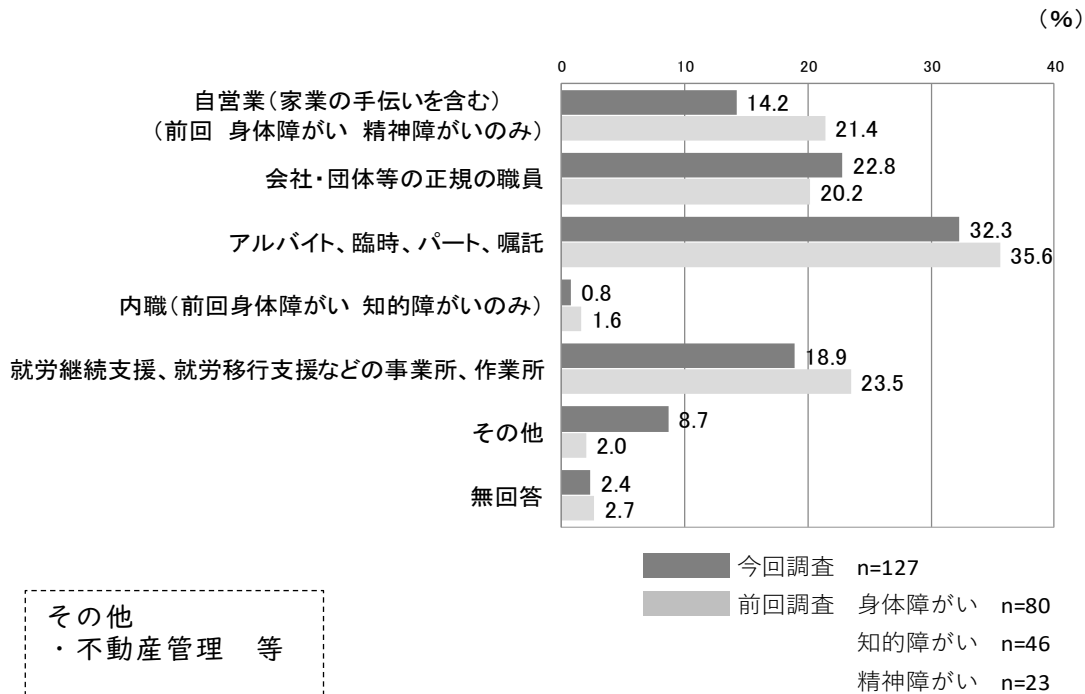
■ 今回調査 n=641
 ■ 前回調査 身体障がい n=529
 知的障がい n=107
 精神障がい n=92

上段:人 下段:%	合計	問26 収入を伴う仕事			
		収入を伴う仕事をしている	収入を伴う仕事はしていない	無回答	
全体	641 100.0	127 19.8	396 61.8	118 18.4	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	30 36.1	40 48.2	13 15.7
	40歳代～50歳代	120 100.0	54 45.0	47 39.2	19 15.8
	60歳代以上	425 100.0	41 9.6	304 71.5	80 18.8
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	73 15.6	312 66.5	84 17.9
	知的障がい	86 100.0	26 30.2	44 51.2	16 18.6
	精神障がい	95 100.0	25 26.3	50 52.6	20 21.1

問27 仕事の形態 (SA)

問26で「収入を伴う仕事をしている」と回答した人のみ

- 「アルバイト、臨時、パート、嘱託」が32.3%で最も高く、次いで「会社・団体等の正規の職員」が22.8%、「就労継続支援、就労移行支援などの事業所、作業所」が18.9%の順となっています。
- 「会社・団体等の正規の職員」については、前回調査と比べ2.6ポイント上昇しました。
- ★ 年齢別にみると“10歳代～30歳代”では「就労継続支援、就労移行支援などの事業所、作業所」が50.0%、“40歳代～50歳代”では「会社・団体等の正規の職員」が33.3%で最も高くなっています。
- ★ 障がいの種類別では、“身体障がい”では「会社・団体等の正規の職員」が32.9%、“知的障がい”では「就労継続支援、就労移行支援などの事業所、作業所」が69.2%で、それぞれ最も高くなっています。

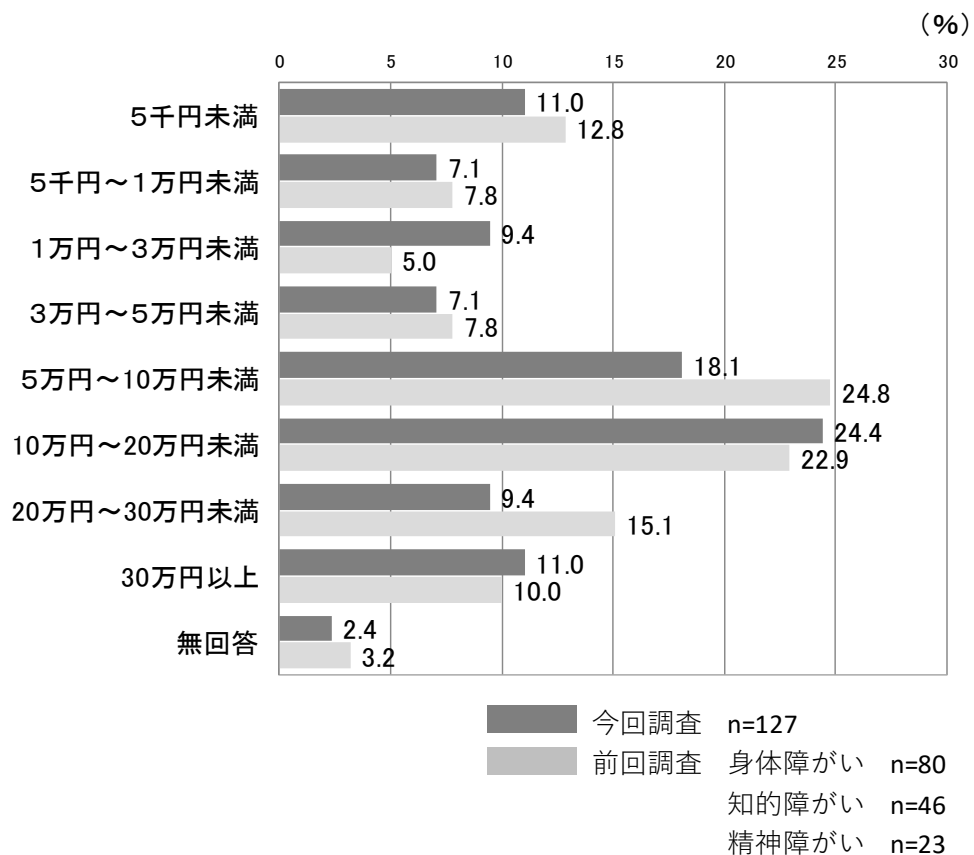


	上段:人 下段:%	合計	問27 仕事の形態						
			自営業 (家業の手伝いを含む)	会社・団体等の正規の職員	アルバイト、臨時、パート、嘱託	内職	就労継続支援、就労移行支援などの事業所、作業所	その他	無回答
全体		127	18	29	41	1	24	11	3
		100.0	14.2	22.8	32.3	0.8	18.9	8.7	2.4
年齢	10歳代～30歳代	30	0	4	8	0	15	3	0
		100.0	0.0	13.3	26.7	0.0	50.0	10.0	0.0
	40歳代～50歳代	54	7	18	17	0	8	2	2
		100.0	13.0	33.3	31.5	0.0	14.8	3.7	3.7
障がいの種類	60歳代以上	41	11	7	15	1	1	5	1
		100.0	26.8	17.1	36.6	2.4	2.4	12.2	2.4
	身体障がい	73	16	24	22	1	2	6	2
		100.0	21.9	32.9	30.1	1.4	2.7	8.2	2.7
障がいの種類	知的障がい	26	0	1	4	0	18	3	0
		100.0	0.0	3.8	15.4	0.0	69.2	11.5	0.0
	精神障がい	25	1	2	15	0	4	2	1
	100.0	4.0	8.0	60.0	0.0	16.0	8.0	4.0	

問28 1か月あたりの平均的な給与・賃金（SA）

問26で「収入を伴う仕事をしている」と回答した人のみ

- 「10万円～20万円未満」が24.4%で最も高く、次いで「5万円～10万円未満」が18.1%、「5千円未満」と「30万円以上」が11.0%の順となっています。
- 「5万円～10万円未満」は6.7ポイント、「20万円～30万円未満」は5.7ポイント低下しましたが、そのほかについては概ね前回調査と大きな差はありません。
- ★年齢別にみると“10歳代～30歳代”では「5千円未満」及び「5万円～10万円未満」の割合が同率で最も高く、障がい種別にみると“知的障がい”では「5千円未満」、「精神障がい”では「5万円～10万円未満」が、それぞれ最も高くなっています。

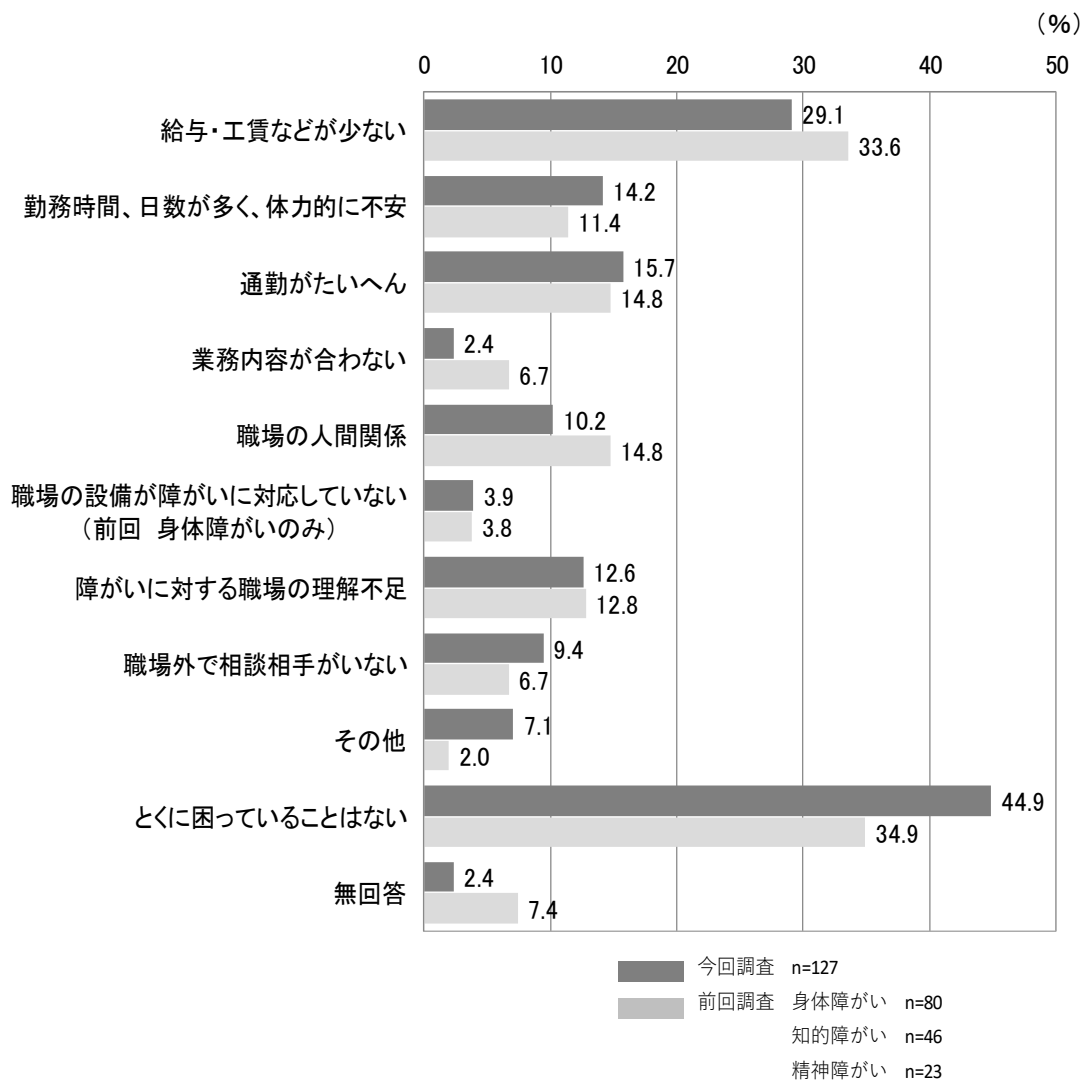


〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問28 1か月あたりの平均的な給与・賃金								
			5千円未 満	5千円～ 1万円未 満	1万円～ 3万円未 満	3万円～ 5万円未 満	5万円～ 10万円未 満	10万円～ 20万円未 満	20万円～ 30万円未 満	30万円以 上	無回答
全体		127 100.0	14 11.0	9 7.1	12 9.4	9 7.1	23 18.1	31 24.4	12 9.4	14 11.0	3 2.4
年 齢	10歳代～30歳代	30 100.0	9 30.0	4 13.3	0 0.0	1 3.3	9 30.0	5 16.7	1 3.3	1 3.3	0 0.0
	40歳代～50歳代	54 100.0	3 5.6	3 5.6	7 13.0	4 7.4	8 14.8	11 20.4	7 13.0	9 16.7	2 3.7
	60歳代以上	41 100.0	2 4.9	2 4.9	5 12.2	4 9.8	6 14.6	13 31.7	4 9.8	4 9.8	1 2.4
障 が い の 種 類	身体障がい	73 100.0	3 4.1	3 4.1	7 9.6	6 8.2	8 11.0	23 31.5	9 12.3	12 16.4	2 2.7
	知的障がい	26 100.0	10 38.5	4 15.4	4 15.4	0 0.0	5 19.2	3 11.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障がい	25 100.0	1 4.0	2 8.0	1 4.0	3 12.0	11 44.0	4 16.0	0 0.0	2 8.0	1 4.0

問29 仕事をする上で困っていること (MA)

問26で「収入を伴う仕事をしている」と回答した人のみ

- 「とくに困っていることはない」が44.9%で最も高くなっています。
- 困っている内容は、「給与・工賃などが少ない」が29.1%、次いで「通勤がたいへん」が15.7%、「勤務時間、日数が多く、体力的に不安」が14.2%の順となっています。
- 前回調査と比べ「とくに困っていることはない」が10.0ポイント上昇しました。
- ★年齢別にみると“10歳代～30歳代”では「給与・工賃などが少ない」が43.3%で最も高く、障がいの種類別にみると、“精神障がい”では「給与・工賃などが少ない」が56.0%で最も高くなっています。



その他

- ・ 営業が出来ない為新規の仕事が取れない
- ・ 交通費が支給されない
- ・ 日数を増やしたいが体力、精神面が不安 等

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問29 仕事をする上で困っていること						
		給与・工 賃などが 少ない	勤務時 間、日数 が多く、 体力的に 不安	通勤がた いへん	業務内容 が合わな い	職場の人 間関係	職場の設 備が障が いに対応 していな い	
全体	127 100.0	37 29.1	18 14.2	20 15.7	3 2.4	13 10.2	5 3.9	
年齢	10歳代～30歳代	30 100.0	13 43.3	2 6.7	5 16.7	1 3.3	2 6.7	0 0.0
	40歳代～50歳代	54 100.0	16 29.6	12 22.2	11 20.4	2 3.7	9 16.7	5 9.3
	60歳代以上	41 100.0	7 17.1	3 7.3	3 7.3	0 0.0	2 4.9	0 0.0
障 が い の 種 類	身体障がい	73 100.0	12 16.4	12 16.4	10 13.7	1 1.4	4 5.5	4 5.5
	知的障がい	26 100.0	10 38.5	0 0.0	1 3.8	1 3.8	1 3.8	0 0.0
	精神障がい	25 100.0	14 56.0	6 24.0	9 36.0	1 4.0	7 28.0	1 4.0

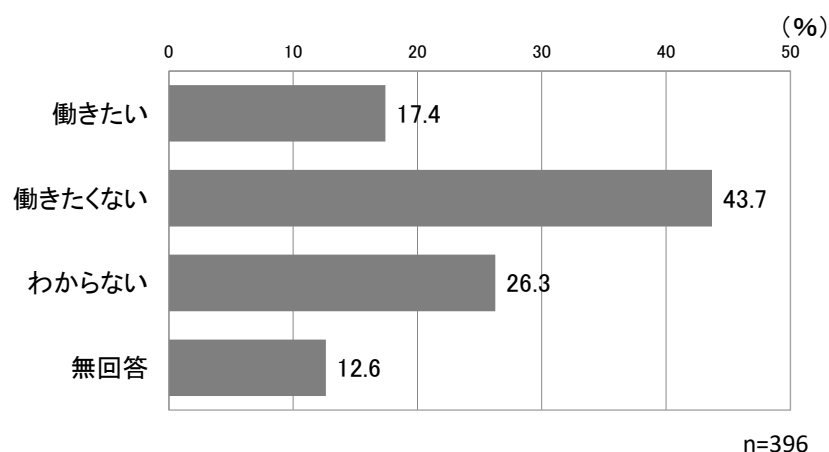
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問29 仕事をする上で困っていること					
		障がいに 対する職 場の理解 不足	職場外で 相談相手 がいない	その他	とくに 困ってい ることは ない	無回答	
全体	127 100.0	16 12.6	12 9.4	9 7.1	57 44.9	3 2.4	
年齢	10歳代～30歳代	30 100.0	2 6.7	2 6.7	3 10.0	11 36.7	0 0.0
	40歳代～50歳代	54 100.0	11 20.4	7 13.0	3 5.6	21 38.9	2 3.7
	60歳代以上	41 100.0	2 4.9	2 4.9	3 7.3	24 58.5	1 2.4
障 が い の 種 類	身体障がい	73 100.0	7 9.6	4 5.5	1 1.4	43 58.9	1 1.4
	知的障がい	26 100.0	1 3.8	1 3.8	0 0.0	11 42.3	1 3.8
	精神障がい	25 100.0	8 32.0	7 28.0	7 28.0	2 8.0	1 4.0

問30 今後、条件が整った場合の就労意向（S A）

問26で「収入を伴う仕事をしていない人」と回答した人のみ

○「働きたくない」が43.7%、「働きたい」が17.4%、「わからない」が26.3%となっています。

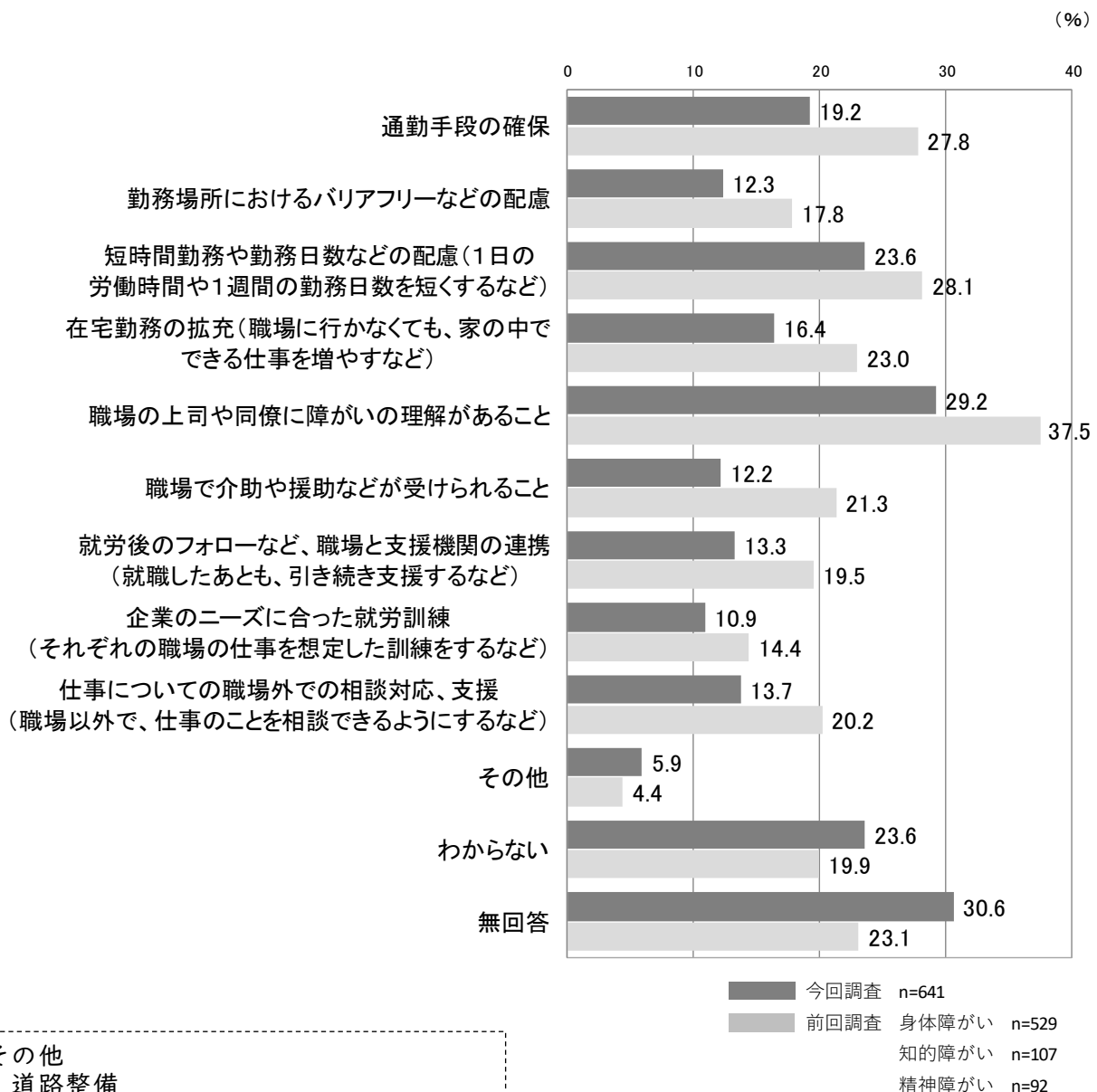
★年齢別にみると“10歳代～30歳代”では「わからない」が45.0%で最も高く、“40歳代～50歳代”では「働きたい」が53.2%で最も高くなっています。障がいの種類別にみると、“知的障がい”では「わからない」が54.5%、“精神障がい”では、「働きたい」が48.0%でそれぞれ最も高くなっています。



〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問30 今後、条件が整った場合の就労意向				
		働きたい	働きたくない	わからない	無回答	
全体	396 100.0	69 17.4	173 43.7	104 26.3	50 12.6	
年齢	10歳代～30歳代	40 100.0	17 42.5	2 5.0	18 45.0	3 7.5
	40歳代～50歳代	47 100.0	25 53.2	6 12.8	13 27.7	3 6.4
	60歳代以上	304 100.0	26 8.6	163 53.6	73 24.0	42 13.8
障がいの種類	身体障がい	312 100.0	39 12.5	157 50.3	74 23.7	42 13.5
	知的障がい	44 100.0	9 20.5	5 11.4	24 54.5	6 13.6
	精神障がい	50 100.0	24 48.0	10 20.0	13 26.0	3 6.0

問31 障がい者の就労支援として必要なこと（MA）

- 「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が29.2%で最も高く、次いで「短時間勤務や勤務日数などの配慮（1日の労働時間や1週間の勤務日数を短くするなど）」と「わからない」が23.6%、「通勤手段の確保」が19.2%の順となっています。
- 前回調査に比べ「その他」、「わからない」以外は各項目で低下しており、「職場で介助や援助などが受けられること」が9.1ポイント低下、「通勤手段の確保」が8.6ポイント低下、「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が8.3ポイント低下となっています。
- ★年齢別にみると“60歳代以上”、障がいの種類別にみると“身体障がい”では「わからない」が最も高くなっています。



〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問31 障がい者の就労支援として必要なこと						
		通勤手段の確保	勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮	短時間勤務や勤務日数などの配慮（1日の労働時間や1週間の勤務日数を短くするなど）	在宅勤務の拡充（職場に行かなくても、家の中でできる仕事を増やすなど）	職場の上司や同僚に障がいの理解があること	職場で介助や援助などが受けられること	
全体	641 100.0	123 19.2	79 12.3	151 23.6	105 16.4	187 29.2	78 12.2	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	30 36.1	10 12.0	26 31.3	15 18.1	45 54.2	25 30.1
	40歳代～50歳代	120 100.0	29 24.2	17 14.2	50 41.7	37 30.8	55 45.8	17 14.2
	60歳代以上	425 100.0	62 14.6	51 12.0	74 17.4	52 12.2	86 20.2	35 8.2
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	81 17.3	65 13.9	94 20.0	70 14.9	112 23.9	42 9.0
	知的障がい	86 100.0	24 27.9	9 10.5	14 16.3	6 7.0	33 38.4	24 27.9
	精神障がい	95 100.0	26 27.4	9 9.5	46 48.4	32 33.7	51 53.7	17 17.9

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問31 障がい者の就労支援として必要なこと						
		就労後のフォローなど、職場と支援機関の連携（就職したあと、引き続き支援するなど）	企業のニーズに合った就労訓練（それぞれの職場の仕事や想定した訓練をするなど）	仕事についての職場外での相談対応、支援（職場以外で、仕事のことを相談できるようにするなど）	その他	わからない	無回答	
全体	641 100.0	85 13.3	70 10.9	88 13.7	38 5.9	151 23.6	196 30.6	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	27 32.5	21 25.3	22 26.5	8 9.6	16 19.3	8 9.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	22 18.3	19 15.8	25 20.8	11 9.2	22 18.3	18 15.0
	60歳代以上	425 100.0	35 8.2	29 6.8	40 9.4	18 4.2	109 25.6	163 38.4
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	44 9.4	37 7.9	49 10.4	19 4.1	123 26.2	158 33.7
	知的障がい	86 100.0	14 16.3	9 10.5	12 14.0	4 4.7	22 25.6	17 19.8
	精神障がい	95 100.0	33 34.7	29 30.5	31 32.6	14 14.7	11 11.6	18 18.9

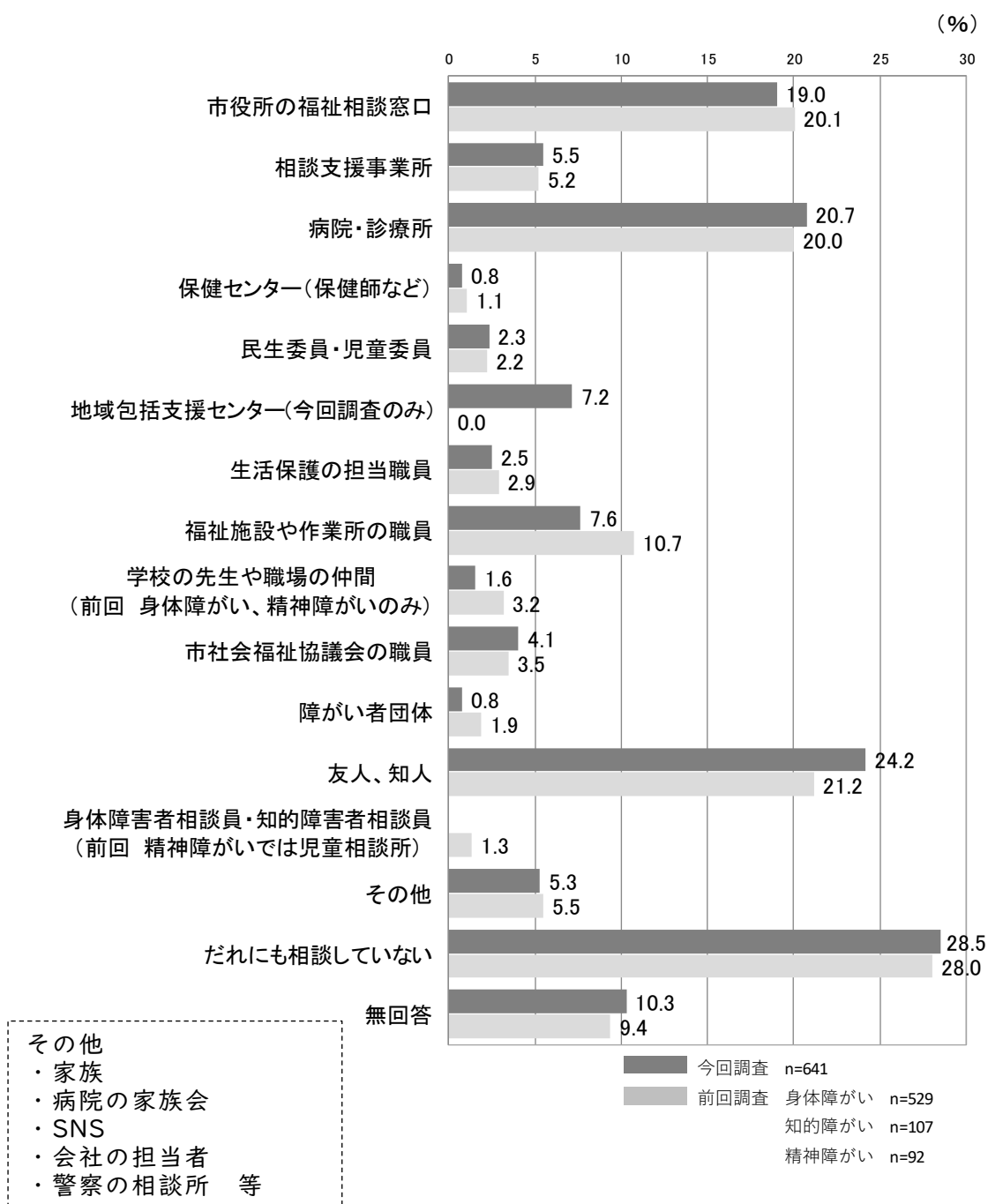
8 相談や情報の入手について

問32 悩みや心配ごとの相談先（家族・親せき以外）（MA）

○「だれにも相談していない」が28.5%で最も高くなっています。『相談先がある』は61.2%で、相談先としては、「友人、知人」が24.2%で最も高く、次いで「病院・診療所」が20.7%、「市役所の福祉相談窓口」が19.0%の順となっています。

●前回調査に比べ「友人、知人」が3ポイント上昇し、「福祉施設や作業所の職員」が3.1ポイント低下、「学校の先生や職場の仲間」が1.6ポイント低下しています。

★「だれにも相談していない」については、年齢別では“10歳代～30歳代”、“60歳以上”、障がいの種類別では“身体障がい”で、それぞれ最も高くなっています。

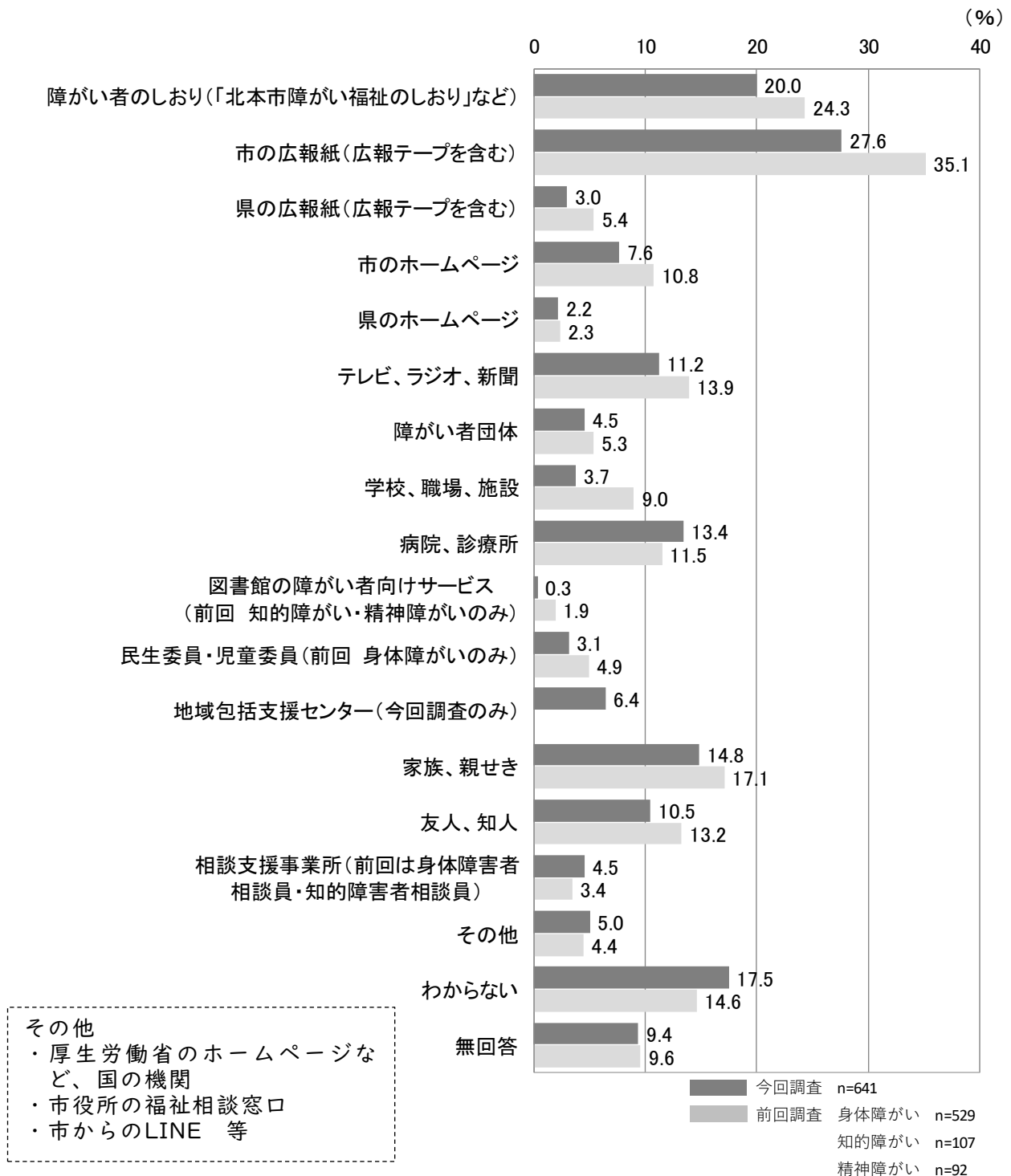


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問32 悩みや心配ごとの相談先(家族・親せき以外)								
		市役所の 福祉相談 窓口	相談支援 事業所	病院・診 療所	保健セン ター (保 健師な ど)	民生委 員・児童 委員	地域包括 支援セン ター	生活保護 の担当職 員	福祉施設 や作業所 の職員	
全体	641 100.0	122 19.0	35 5.5	133 20.7	5 0.8	15 2.3	46 7.2	16 2.5	49 7.6	
年 齢	10歳代～30歳代	83 100.0	12 14.5	21 25.3	19 22.9	1 1.2	0 0.0	0 0.0	1 1.2	22 26.5
	40歳代～50歳代	120 100.0	30 25.0	7 5.8	37 30.8	2 1.7	2 1.7	7 5.8	10 8.3	14 11.7
	60歳代以上	425 100.0	78 18.4	7 1.6	74 17.4	2 0.5	13 3.1	37 8.7	4 0.9	12 2.8
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	91 19.4	11 2.3	81 17.3	3 0.6	13 2.8	41 8.7	8 1.7	21 4.5
	知的障がい	86 100.0	14 16.3	20 23.3	13 15.1	0 0.0	1 1.2	0 0.0	3 3.5	27 31.4
	精神障がい	95 100.0	20 21.1	8 8.4	42 44.2	2 2.1	3 3.2	5 5.3	10 10.5	8 8.4

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問32 悩みや心配ごとの相談先(家族・親せき以外)							
		学校の先 生や職場 の仲間	市社会福 祉協会の 職員	障がい者 団体	友人、知 人	その他	だれにも 相談して いない	無回答	
全体	641 100.0	10 1.6	26 4.1	5 0.8	155 24.2	34 5.3	183 28.5	66 10.3	
年 齢	10歳代～30歳代	83 100.0	5 6.0	1 1.2	2 2.4	15 18.1	7 8.4	23 27.7	3 3.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	2 1.7	6 5.0	1 0.8	32 26.7	6 5.0	31 25.8	7 5.8
	60歳代以上	425 100.0	3 0.7	17 4.0	2 0.5	106 24.9	19 4.5	128 30.1	54 12.7
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	5 1.1	21 4.5	2 0.4	126 26.9	19 4.1	137 29.2	52 11.1
	知的障がい	86 100.0	2 2.3	4 4.7	1 1.2	6 7.0	3 3.5	24 27.9	10 11.6
	精神障がい	95 100.0	3 3.2	4 4.2	2 2.1	23 24.2	12 12.6	18 18.9	9 9.5

問33 障がい福祉サービスの情報入手先（MA）

- 「市の広報紙（広報テープを含む）」が27.6%で最も高く、次いで「障がい者のしおり（「北本市障がい福祉のしおり」など）」が20.0%、「わからない」が17.5%の順となっています。
- 前回調査に比べ上昇しているのは、「わからない」が2.9ポイント、「病院、診療所」が1.9ポイント、「相談支援事業所（前は身体障害者相談員・知的障害者相談員）」が1.1ポイント、低下しているものは、「市の広報紙（広報テープを含む）」が7.5ポイント、「学校、職場、施設」が5.3ポイントとなっています。
- ★年齢別にみると、“10歳代～30歳代”は「障がい者のしおり（「北本市障がい福祉のしおり」など）」と「わからない」が最も高く、“40歳代～50歳代”で、「障がい者のしおり（「北本市障がい福祉のしおり」など）」と「病院、診療所」が最も高くなっています。

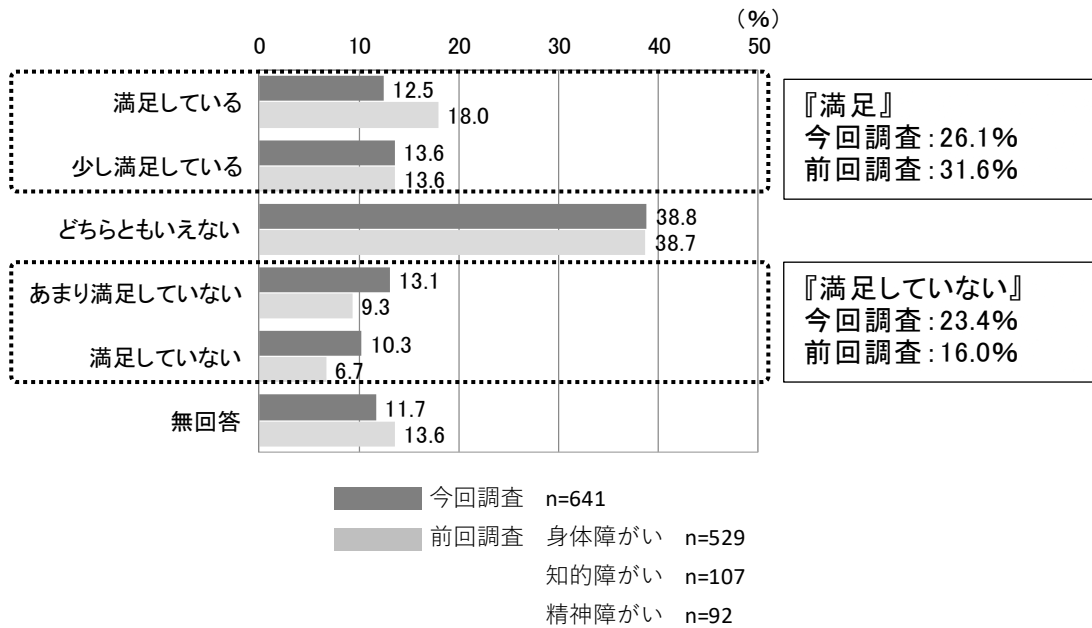


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問33 障がい福祉サービスの情報入手先										
		障がい者のしおり （「北本市障がい福祉のしおり」など）	市の広報紙（広報テープを含む）	県の広報紙（広報テープを含む）	市のホームページ	県のホームページ	テレビ、ラジオ、新聞	障がい者団体	学校、職場、施設	病院、診療所	図書館の障がい者向けサービス	
全体	641 100.0	128 20.0	177 27.6	19 3.0	49 7.6	14 2.2	72 11.2	29 4.5	24 3.7	86 13.4	2 0.3	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	19 22.9	18 21.7	3 3.6	6 7.2	3 3.6	6 7.2	15 18.1	13 15.7	6 7.2	0 0.0
	40歳代～50歳代	120 100.0	25 20.8	23 19.2	4 3.3	17 14.2	9 7.5	11 9.2	3 2.5	5 4.2	25 20.8	0 0.0
	60歳代以上	425 100.0	83 19.5	133 31.3	12 2.8	26 6.1	2 0.5	52 12.2	10 2.4	6 1.4	53 12.5	2 0.5
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	94 20.0	142 30.3	14 3.0	40 8.5	7 1.5	57 12.2	15 3.2	8 1.7	61 13.0	2 0.4
	知的障がい	86 100.0	17 19.8	20 23.3	3 3.5	3 3.5	1 1.2	7 8.1	11 12.8	14 16.3	6 7.0	0 0.0
	精神障がい	95 100.0	22 23.2	20 21.1	2 2.1	10 10.5	8 8.4	11 11.6	5 5.3	3 3.2	25 26.3	0 0.0

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問33 障がい福祉サービスの情報入手先								
		民生委員・児童委員	地域包括支援センター	家族、親せき	友人、知人	相談支援事業所	その他	わからない	無回答	
全体	641 100.0	20 3.1	41 6.4	95 14.8	67 10.5	29 4.5	32 5.0	112 17.5	60 9.4	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	0 0.0	1 1.2	13 15.7	7 8.4	15 18.1	6 7.2	19 22.9	3 3.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	2 1.7	6 5.0	18 15.0	15 12.5	9 7.5	12 10.0	24 20.0	7 5.8
	60歳代以上	425 100.0	18 4.2	34 8.0	62 14.6	45 10.6	5 1.2	12 2.8	68 16.0	48 11.3
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	18 3.8	35 7.5	68 14.5	53 11.3	8 1.7	12 2.6	78 16.6	47 10.0
	知的障がい	86 100.0	3 3.5	1 1.2	15 17.4	6 7.0	17 19.8	3 3.5	15 17.4	10 11.6
	精神障がい	95 100.0	2 2.1	4 4.2	9 9.5	9 9.5	9 9.5	15 15.8	17 17.9	5 5.3

問34 障がい福祉サービスなどの情報満足度（S A）

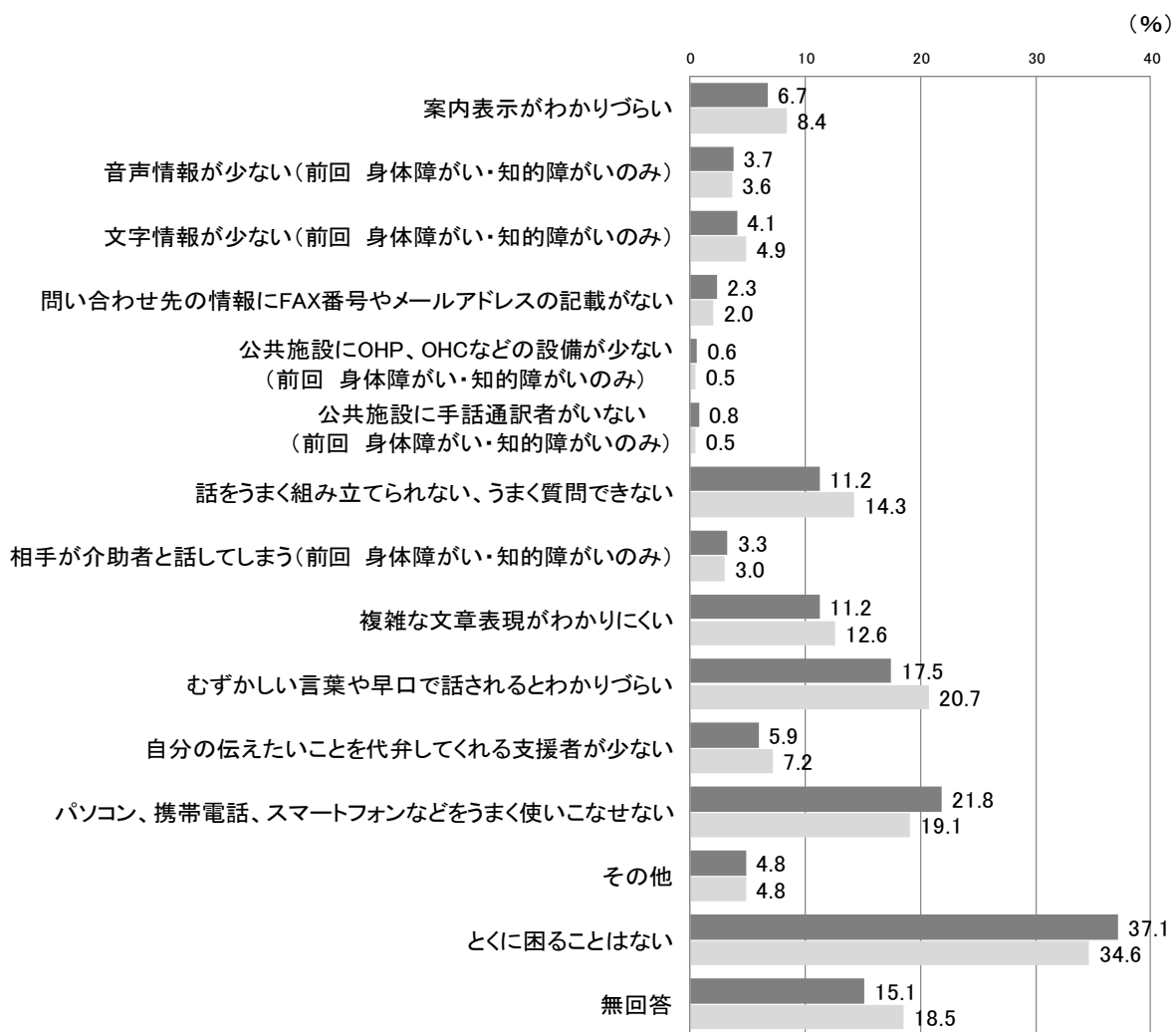
- 「どちらともいえない」が38.8%で最も高くなっています。
- 「満足している」と「少し満足している」を合わせた『満足』が26.1%、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた『満足していない』が23.4%となっています。
- 前回調査に比べ、『満足』は5.5ポイント低下しています。
- ★『満足』については、年齢別では“40歳代～50歳代”が30.0%、障がいの種類別では“身体障がい”が27.1%で高くなっています。



〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問34 障がい福祉サービスなどの情報満足度						満足して いる	満足して いない	
		満足して いる	少し満足 している	どちらと もいえない	あまり満 足してい ない	満足して いない	無回答			
全体	641 100.0	80 12.5	87 13.6	249 38.8	84 13.1	66 10.3	75 11.7	167 26.1	150 23.4	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	6 7.2	11 13.3	33 39.8	13 15.7	18 21.7	2 2.4	17 20.5	31 37.3
	40歳代～50歳代	120 100.0	16 13.3	20 16.7	45 37.5	15 12.5	18 15.0	6 5.0	36 30.0	33 27.5
	60歳代以上	425 100.0	57 13.4	54 12.7	168 39.5	53 12.5	29 6.8	64 15.1	111 26.1	82 19.3
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	63 13.4	64 13.6	187 39.9	60 12.8	35 7.5	60 12.8	127 27.1	95 20.3
	知的障がい	86 100.0	12 14.0	11 12.8	32 37.2	8 9.3	12 14.0	11 12.8	23 26.7	20 23.3
	精神障がい	95 100.0	8 8.4	14 14.7	32 33.7	14 14.7	20 21.1	7 7.4	22 23.2	34 35.8

問35 コミュニケーションや情報取得で困ること (MA)

- 「とくに困ることはない」が37.1%で最も高くなっています。
- 困ることの内容としては「パソコン、携帯電話、スマートフォンなどをうまく使いこなせない」が21.8%、「むずかしい言葉や早口で話されるとわかりづらい」17.5%の順となっています。
- 前回調査と比べ上昇したものは、「パソコン、携帯電話、スマートフォンなどをうまく使いこなせない」が2.7ポイント、「とくに困ることはない」が2.5ポイント、低下したものは「むずかしい言葉や早口で話されるとわかりづらい」が3.2ポイント、「話をうまく組み立てられない、うまく質問できない」が3.1ポイントとなっています。
- ★年齢別にみると“10歳代～30歳代”、障がいの種類別にみると“知的障がい”では、「話をうまく組み立てられない、うまく質問できない」の割合が最も高くなっています。



その他

- ・情報取得先が分からない
- ・難聴の為、聞き取りにくい
- ・相談事の相手先が分からない
- ・用語が似通っていて違いが分からない
- ・世の中での障がい福祉に対する認識が薄い
- ・介護者なしには情報取得も利用もコミュニケーションもできない 等

■ 今回調査 n=641
 ■ 前回調査 身体障がい n=529
 知的障がい n=107
 精神障がい n=92

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問35 コミュニケーションや情報取得で困ること								
		案内表示 がわかり づらい	音声情報 が少ない	文字情報 が少ない	問い合わせ 先の情報 にFAX 番号や メールア ドレスの 記載がない	公共施設 にOHP、 OHCなど の設備が 少ない	公共施設 に手話通 訳者がい ない	話をうま く組み立 てられな い、うま く質問で きかない	相手が介 助者と話 してしま う	
全体	641 100.0	43 6.7	24 3.7	26 4.1	15 2.3	4 0.6	5 0.8	72 11.2	21 3.3	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	6 7.2	3 3.6	3 3.6	1 1.2	0 0.0	0 0.0	25 30.1	6 7.2
	40歳代～50歳代	120 100.0	13 10.8	5 4.2	3 2.5	6 5.0	0 0.0	1 0.8	16 13.3	2 1.7
	60歳代以上	425 100.0	23 5.4	14 3.3	20 4.7	8 1.9	4 0.9	3 0.7	29 6.8	13 3.1
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	29 6.2	16 3.4	20 4.3	10 2.1	4 0.9	4 0.9	31 6.6	14 3.0
	知的障がい	86 100.0	3 3.5	3 3.5	2 2.3	1 1.2	0 0.0	0 0.0	23 26.7	6 7.0
	精神障がい	95 100.0	12 12.6	3 3.2	6 6.3	4 4.2	0 0.0	0 0.0	19 20.0	4 4.2

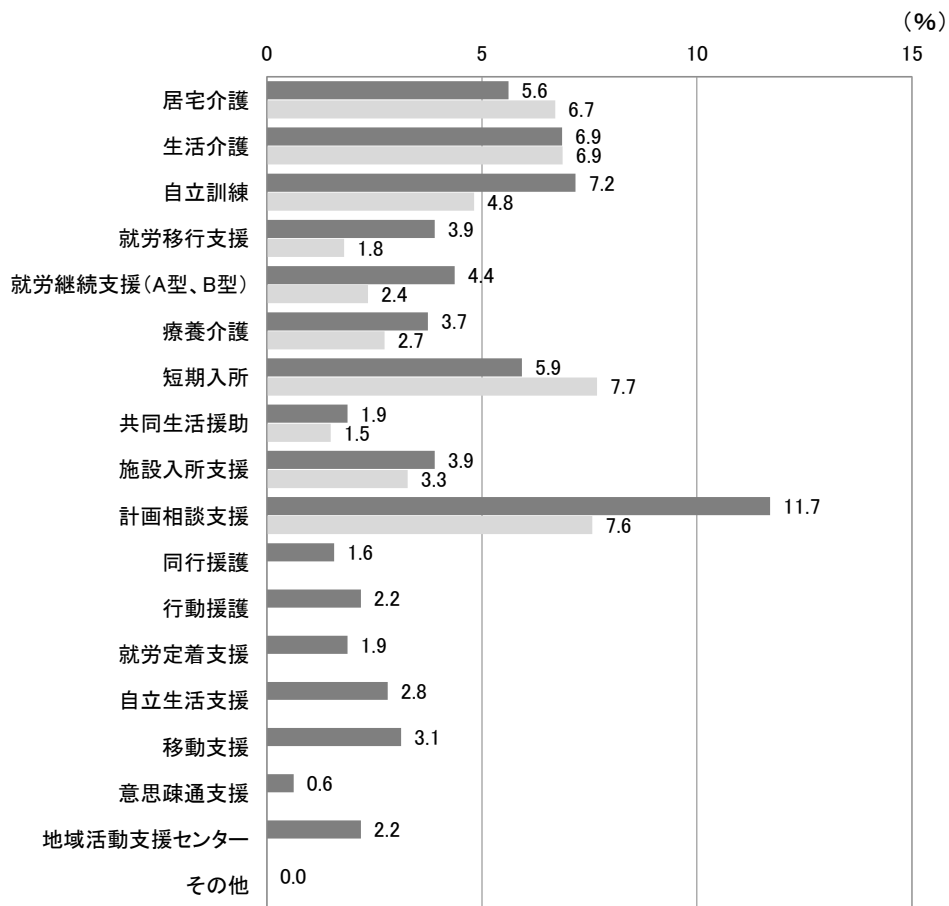
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問35 コミュニケーションや情報取得で困ること							
		複雑な文 章表現が わかり にくい	むずかし い言葉や 早口で話 されると わかりづ らい	自分の伝 えたいこ とを代弁 してくれ る支援者 が少ない	パソコ ン、携帯 電話、ス マート フォンな どをうま く使いこ なせない	その他	とくに困 ることは ない	無回答	
全体	641 100.0	72 11.2	112 17.5	38 5.9	140 21.8	31 4.8	238 37.1	97 15.1	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	17 20.5	19 22.9	20 24.1	9 10.8	13 15.7	19 22.9	8 9.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	15 12.5	20 16.7	6 5.0	17 14.2	4 3.3	56 46.7	11 9.2
	60歳代以上	425 100.0	39 9.2	70 16.5	12 2.8	112 26.4	14 3.3	160 37.6	75 17.6
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	42 9.0	77 16.4	15 3.2	107 22.8	14 3.0	196 41.8	70 14.9
	知的障がい	86 100.0	11 12.8	19 22.1	16 18.6	11 12.8	5 5.8	16 18.6	19 22.1
	精神障がい	95 100.0	21 22.1	19 20.0	12 12.6	25 26.3	12 12.6	26 27.4	7 7.4

9 障がい福祉サービスについて

問36 障がい福祉サービスの利用状況と利用意向

■利用状況

- 「計画相談支援」が11.7%で最も高く、次いで「自立訓練」が7.2%、「生活介護」が6.9%の順となっています。
- 前回調査に比べ、「計画相談支援」が4.1ポイント、「自立訓練」が2.4ポイント上昇し、「短期入所」が1.8ポイント、「居宅介護」が1.1ポイント低下しています。



今回調査 n=641

前回調査 身体障がい n=529

知的障がい n=107

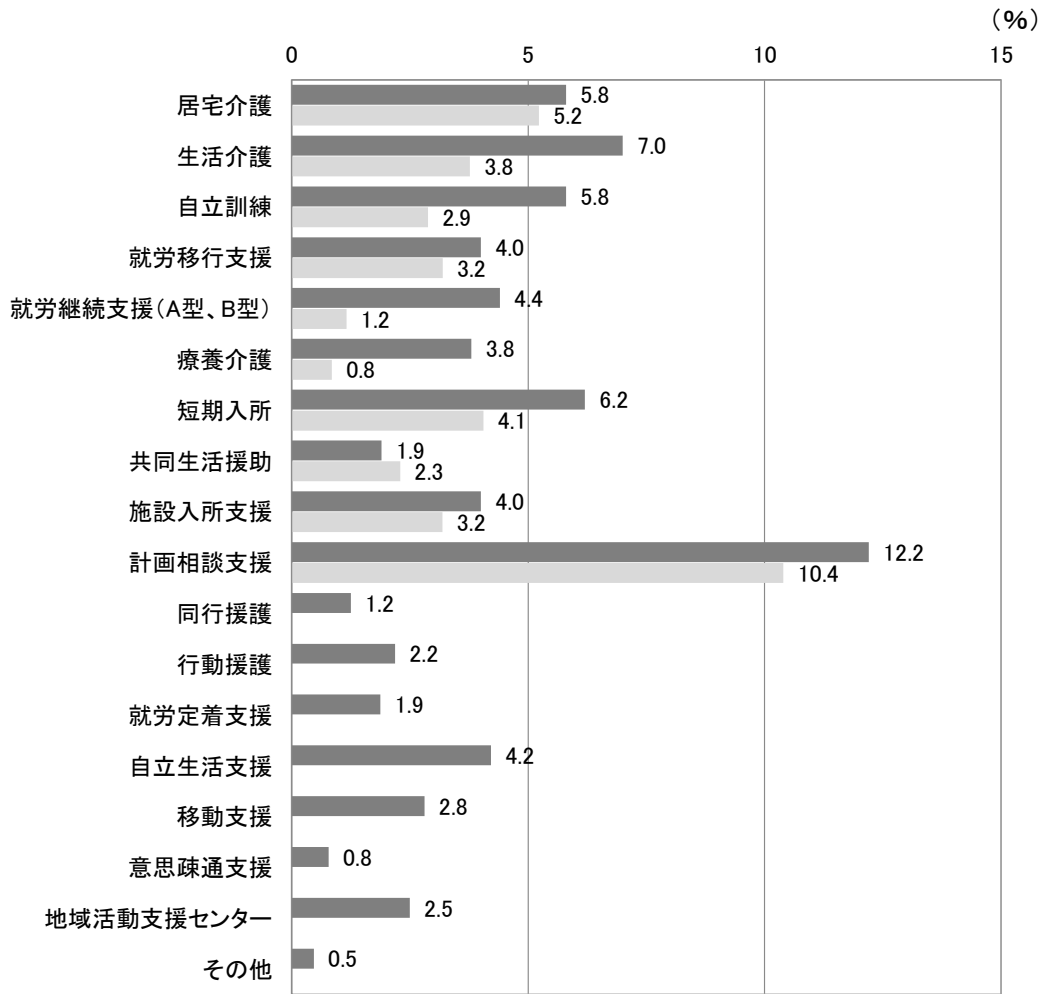
精神障がい n=92

■ 利用意向

「サービスを利用していない（したことがない）人のみ

○ 「計画相談支援」が12.2%で最も高く、次いで「生活介護」が7.0%、「短期入所」が6.2%の順となっています。

● 前回調査に比べ、「共同生活援助」を除くすべてのサービスで上昇しています。

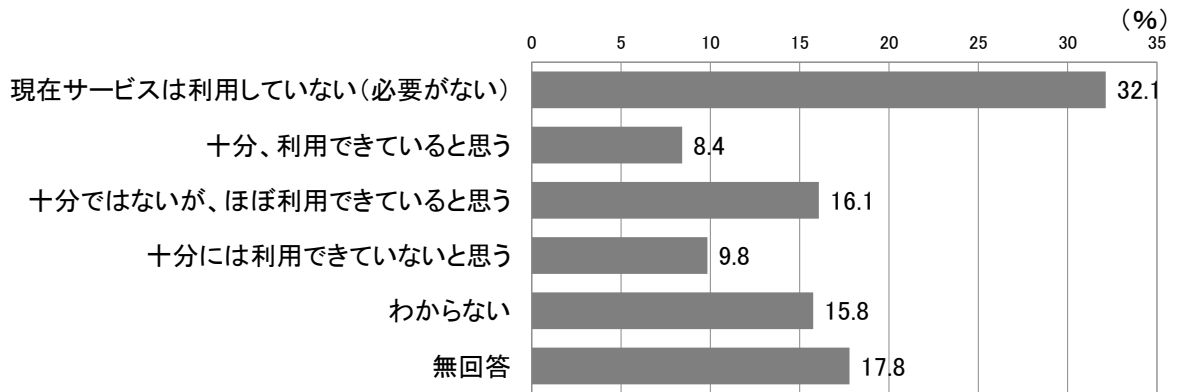


※回答数（n）はサービスによって異なる

問37 障がい福祉サービスの利用充足度（SA）

○「現在サービスは利用していない（必要がない）」が32.1%で最も高く、次いで「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」が16.1%、「わからない」が15.8%、「十分には利用できていないと思う」が9.8%の順となっています。

★年齢別にみると“10歳代～30歳代”では「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」、障がいの種類別にみると“知的障がい”では「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」が最も高くなっています。



n=641

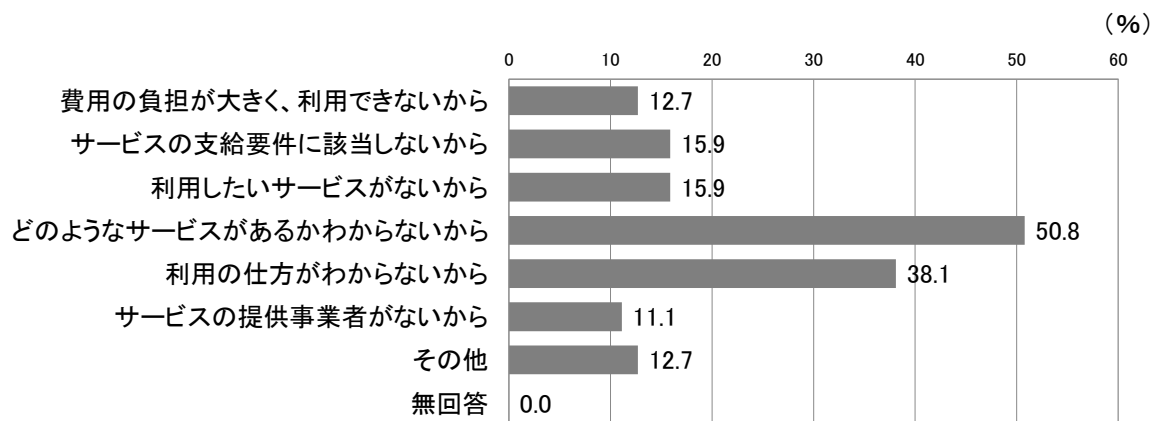
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問37 障がい福祉サービスの利用充足度						
		現在サービスは利用していない(必要がない)	十分、利用できていると思う	十分ではないが、ほぼ利用できていると思う	十分には利用できていないと思う	わからない	無回答	
全体	641 100.0	206 32.1	54 8.4	103 16.1	63 9.8	101 15.8	114 17.8	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	13 15.7	8 9.6	21 25.3	15 18.1	17 20.5	9 10.8
	40歳代～50歳代	120 100.0	33 27.5	13 10.8	19 15.8	16 13.3	24 20.0	15 12.5
	60歳代以上	425 100.0	159 37.4	33 7.8	60 14.1	31 7.3	58 13.6	84 19.8
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	174 37.1	35 7.5	67 14.3	34 7.2	71 15.1	88 18.8
	知的障がい	86 100.0	12 14.0	14 16.3	22 25.6	11 12.8	11 12.8	16 18.6
	精神障がい	95 100.0	21 22.1	7 7.4	17 17.9	16 16.8	21 22.1	13 13.7

問38 障がい福祉サービスを十分に利用できていない理由（MA）

問37で「十分には利用できていないと思う」と回答した人のみ

○「どのようなサービスがあるかわからないから」が50.8%で最も高く、次いで「利用の仕方がわからないから」が38.1%と続きます。

★年齢別にみると、“10歳代～30歳代”及び“40歳代～50歳代”で、「利用の仕方がわからないから」が最も高くなっています。また、障がいの種類別にみると、“知的障がい”及び“精神障がい”では、「どのようなサービスがあるかわからないから」及び「利用の仕方がわからないから」の割合が同率で最も高くなっています。



n=63

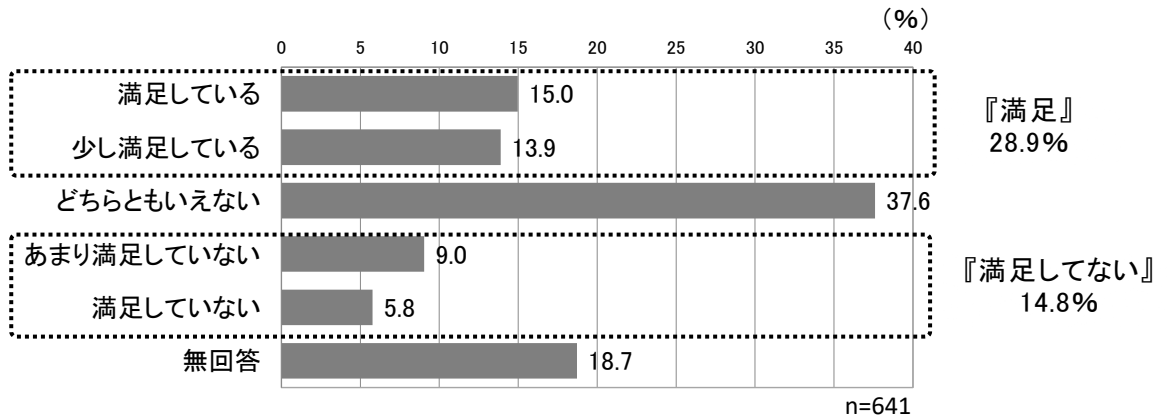
その他

- ・ 行動援護を受け入れてくれる事業者が少なく利用できる日が少ないから
- ・ 利用したいが体調がまだ整っていないから 等

上段:人 下段:%	合計	問38 障がい福祉サービスを十分に利用できていない理由								
		費用の負担が大きく、利用できないから	サービスの支給要件に該当しないから	利用したいサービスがないから	どのようなサービスがあるかわからないから	利用の仕方がわからないから	サービスの提供事業者がないから	その他	無回答	
全体	63 100.0	8 12.7	10 15.9	10 15.9	32 50.8	24 38.1	7 11.1	8 12.7	0 0.0	
年齢	10歳代～30歳代	15 100.0	2 13.3	0 0.0	2 13.3	7 46.7	8 53.3	5 33.3	1 6.7	0 0.0
	40歳代～50歳代	16 100.0	1 6.3	6 37.5	3 18.8	8 50.0	9 56.3	1 6.3	2 12.5	0 0.0
	60歳代以上	31 100.0	4 12.9	3 9.7	5 16.1	17 54.8	7 22.6	1 3.2	4 12.9	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	34 100.0	5 14.7	5 14.7	4 11.8	19 55.9	11 32.4	1 2.9	3 8.8	0 0.0
	知的障がい	11 100.0	0 0.0	0 0.0	2 18.2	5 45.5	5 45.5	4 36.4	2 18.2	0 0.0
	精神障がい	16 100.0	3 18.8	4 25.0	3 18.8	8 50.0	8 50.0	2 12.5	2 12.5	0 0.0

問39 障がい福祉サービスの満足度（SA）

- 「どちらともいえない」が37.6%で最も高くなっています。
- 「満足している」と「少し満足している」を合わせた『満足』が28.9%、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた『満足していない』が14.8%となっています。
- ★『満足している』については、年齢別にみると“40歳代～50歳代”では34.2%、障がいの種類別にみると“知的障がい”では37.2%で、それぞれ割合が高くなっています。



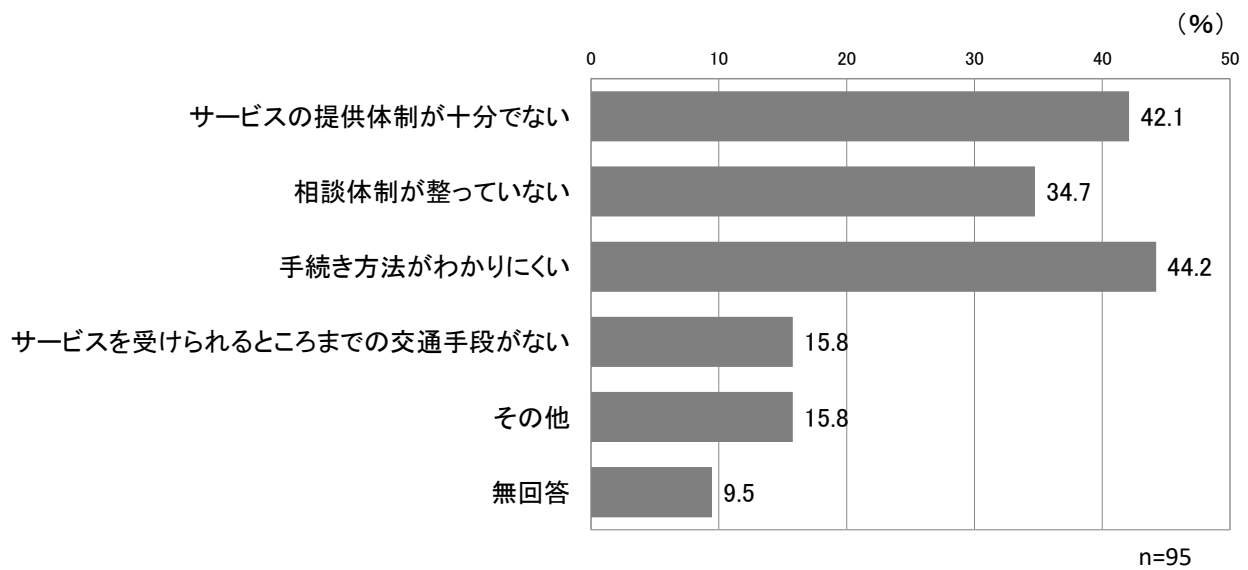
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問39 障がい福祉サービスの満足度						満足して いる	満足して いない	
		満足して いる	少し満足 している	どちらと もいえない	あまり満 足してい ない	満足して いない	無回答			
全体	641 100.0	96 15.0	89 13.9	241 37.6	58 9.0	37 5.8	120 18.7	185 28.9	95 14.8	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	7 8.4	12 14.5	38 45.8	12 14.5	9 10.8	5 6.0	19 22.9	21 25.3
	40歳代～50歳代	120 100.0	23 19.2	18 15.0	42 35.0	17 14.2	12 10.0	8 6.7	41 34.2	29 24.2
	60歳代以上	425 100.0	65 15.3	56 13.2	158 37.2	29 6.8	14 3.3	103 24.2	121 28.5	43 10.1
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	75 16.0	62 13.2	182 38.8	39 8.3	16 3.4	95 20.3	137 29.2	55 11.7
	知的障がい	86 100.0	17 19.8	15 17.4	25 29.1	8 9.3	8 9.3	13 15.1	32 37.2	16 18.6
	精神障がい	95 100.0	10 10.5	13 13.7	34 35.8	13 13.7	13 13.7	12 12.6	23 24.2	26 27.4

問40 満足していない理由（MA）

問39で「あまり満足していない」「満足していない」と回答した人のみ

○「手続き方法がわかりにくい」が44.2%で最も高く、次いで「サービスの提供体制が十分でない」が42.1%、「相談体制が整っていない」が34.7%の順となっています。

★年齢別にみると、“10歳代～30歳代”では「サービスの提供体制が十分でない」、「40歳代～50歳代”では、「相談体制が整っていない」の割合が「手続き方法がわかりにくい」と同率で最も高くなっています。障がいの種類別にみると、“知的障がい”及び“精神障がい”で、「サービスの提供体制が十分でない」が、それぞれ最も高くなっています。



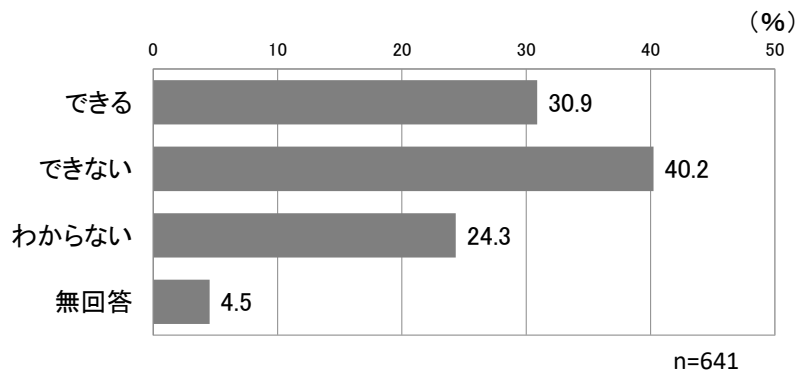
その他
 ・ 金銭的援助が少ない
 ・ 受けたいサービスがない
 ・ 自分に合っていない 等

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問40 満足していない理由					無回答	
		サービスの提供体制が十分でない	相談体制が整っていない	手続き方法がわかりにくい	サービスを受けられるところまでの交通手段がない	その他		
全体	95 100.0	40 42.1	33 34.7	42 44.2	15 15.8	15 15.8	9 9.5	
年齢	10歳代～30歳代	21 100.0	11 52.4	8 38.1	10 47.6	1 4.8	2 9.5	2 9.5
	40歳代～50歳代	29 100.0	12 41.4	13 44.8	13 44.8	6 20.7	7 24.1	3 10.3
	60歳代以上	43 100.0	16 37.2	11 25.6	17 39.5	7 16.3	5 11.6	4 9.3
障がいの種類	身体障がい	55 100.0	18 32.7	17 30.9	27 49.1	8 14.5	7 12.7	6 10.9
	知的障がい	16 100.0	10 62.5	9 56.3	8 50.0	2 12.5	2 12.5	1 6.3
	精神障がい	26 100.0	12 46.2	10 38.5	10 38.5	5 19.2	6 23.1	2 7.7

10 災害対策について

問41 災害発生時にひとりで避難ができるか（S A）

- 「できる」が30.9%、「できない」が40.2%、「わからない」が24.3%となっています。
 ★年齢別にみると“40歳代～50歳代”、障がいの種類別にみると“精神障がい”では、「できる」の割合が最も高くなっています。

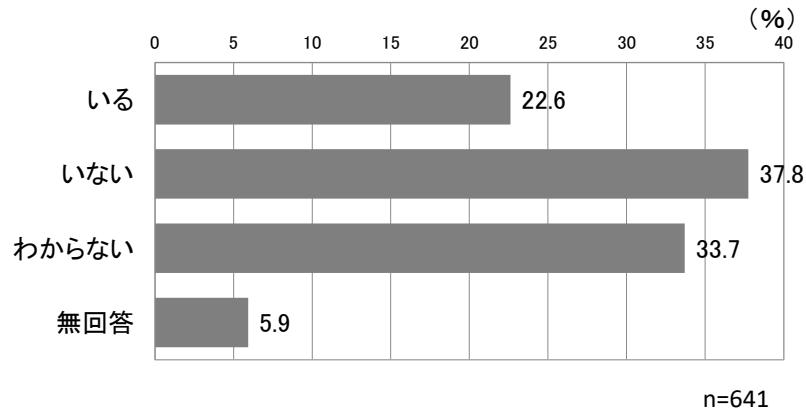


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問41 災害発生時にひとりで避難ができるか				
		できる	できない	わからない	無回答	
全体	641 100.0	198 30.9	258 40.2	156 24.3	29 4.5	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	18 21.7	43 51.8	21 25.3	1 1.2
	40歳代～50歳代	120 100.0	47 39.2	38 31.7	30 25.0	5 4.2
	60歳代以上	425 100.0	130 30.6	171 40.2	104 24.5	20 4.7
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	153 32.6	186 39.7	109 23.2	21 4.5
	知的障がい	86 100.0	7 8.1	59 68.6	15 17.4	5 5.8
	精神障がい	95 100.0	36 37.9	21 22.1	34 35.8	4 4.2

問42 近所に助けてくれる人の有無（SA）

○「いる」が22.6%、「いない」が37.8%、「わからない」が33.7%となっています。

★年齢別にみると、年齢が上がるほど「いる」の割合が高くなっています。障がいの種類別にみると“身体障がい”では、「わからない」の割合が最も高くなっています。



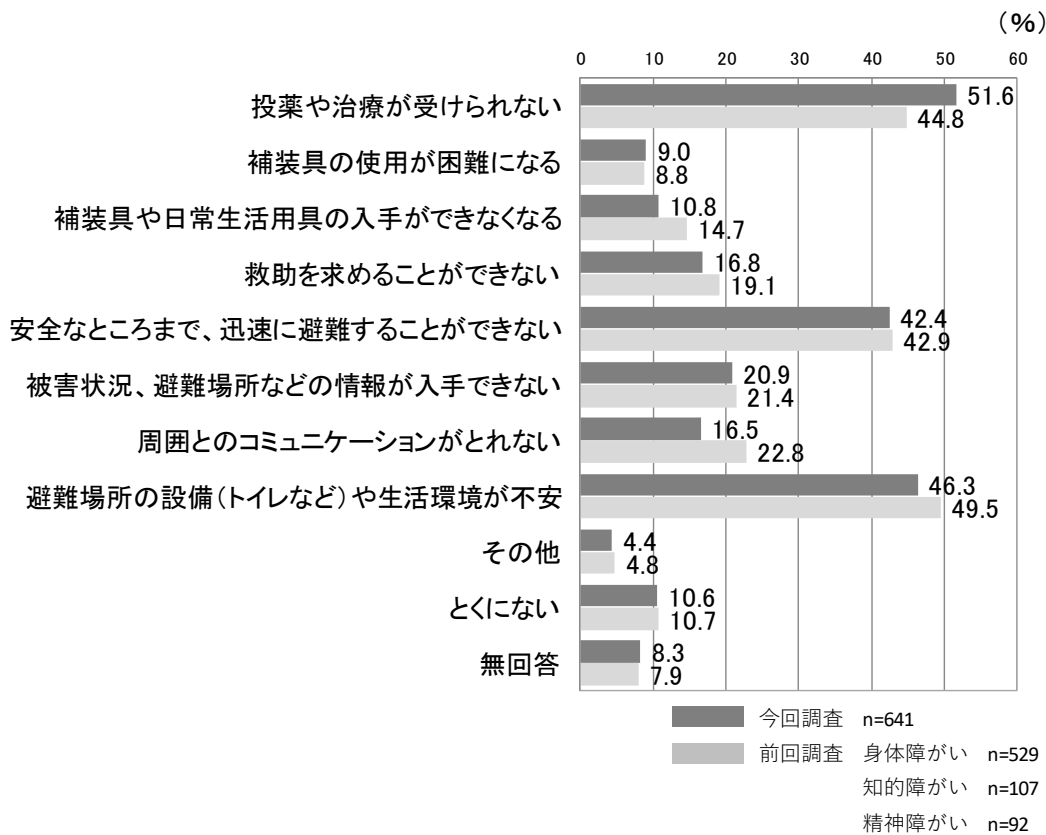
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問42 近所に助けてくれる人の有無				
		いる	いない	わから ない	無回答	
全体	641 100.0	145 22.6	242 37.8	216 33.7	38 5.9	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	11 13.3	45 54.2	26 31.3	1 1.2
	40歳代～50歳代	120 100.0	18 15.0	63 52.5	33 27.5	6 5.0
	60歳代以上	425 100.0	112 26.4	129 30.4	154 36.2	30 7.1
障が いの 種類	身体障がい	469 100.0	121 25.8	156 33.3	164 35.0	28 6.0
	知的障がい	86 100.0	8 9.3	37 43.0	31 36.0	10 11.6
	精神障がい	95 100.0	13 13.7	55 57.9	23 24.2	4 4.2

問43 災害時に困ること（MA）

○「とくにない」の10.6%及び無回答の8.3%を除くと、81.1%が『困ることがある』となっています。困ることとしては、「投薬や治療が受けられない」が51.6%で最も高く、次いで「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」が46.3%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が42.4%の順となっています。

●前回調査に比べ「投薬や治療が受けられない」が6.8ポイント上昇、「周囲とのコミュニケーションがとれない」が6.3ポイント低下しています。

★年齢別にみると“10歳代～30歳代”、障がいの種類別にみると“知的障がい”では、「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」の割合が最も高くなっています。



その他

- ・精神的ダメージや、周囲に迷惑をかけるパニック的無意識行動をしないか不安
- ・知的障がいを理解してもらえるのか不安
- ・大切なものの管理 等

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問43 災害時に困ること						
		投薬や治療が受けられない	補装具の使用が困難になる	補装具や日常生活用具の入手がなくなる	救助を求めることができない	安全なところで、迅速に避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	
全体	641 100.0	331 51.6	58 9.0	69 10.8	108 16.8	272 42.4	134 20.9	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	45 54.2	6 7.2	9 10.8	32 38.6	42 50.6	26 31.3
	40歳代～50歳代	120 100.0	75 62.5	13 10.8	15 12.5	15 12.5	37 30.8	22 18.3
	60歳代以上	425 100.0	207 48.7	38 8.9	42 9.9	58 13.6	186 43.8	82 19.3
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	233 49.7	50 10.7	58 12.4	66 14.1	206 43.9	90 19.2
	知的障がい	86 100.0	40 46.5	10 11.6	10 11.6	35 40.7	48 55.8	31 36.0
	精神障がい	95 100.0	61 64.2	4 4.2	9 9.5	14 14.7	21 22.1	15 15.8

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問43 災害時に困ること					
		周囲とのコミュニケーションがとれない	避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安	その他	とくにな い	無回答	
全体	641 100.0	106 16.5	297 46.3	28 4.4	68 10.6	53 8.3	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	40 48.2	49 59.0	11 13.3	7 8.4	3 3.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	22 18.3	46 38.3	8 6.7	11 9.2	5 4.2
	60歳代以上	425 100.0	42 9.9	194 45.6	9 2.1	49 11.5	44 10.4
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	55 11.7	223 47.5	11 2.3	52 11.1	41 8.7
	知的障がい	86 100.0	37 43.0	49 57.0	7 8.1	5 5.8	8 9.3
	精神障がい	95 100.0	23 24.2	38 40.0	9 9.5	12 12.6	4 4.2

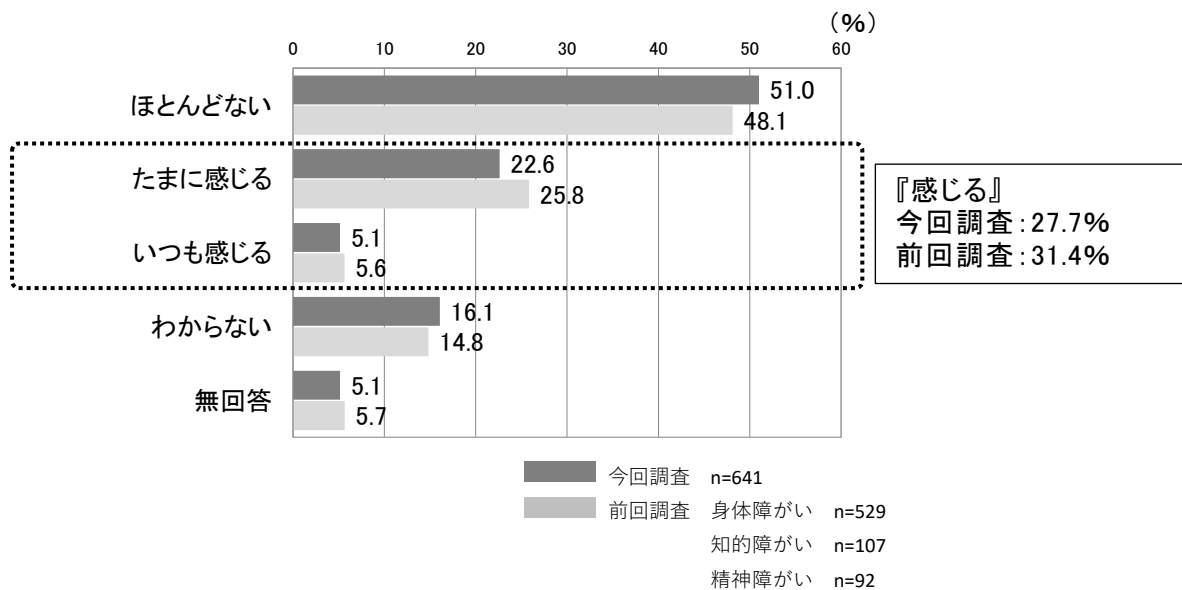
11 権利擁護等について

問44 差別や人権侵害を感じることはあるか (SA)

○「ほとんどない」が51.0%で最も高くなっています。「たまに感じる」と「いつも感じる」を合わせた『感じる』が27.7%となっています。

●前回調査に比べ、『感じる』の割合が3.7ポイント低下しました。

★年齢別にみると“10歳代～30歳代”、障がいの種類別にみると“知的障がい”及び“精神障がい”では、「たまに感じる」の割合が最も高くなっています。



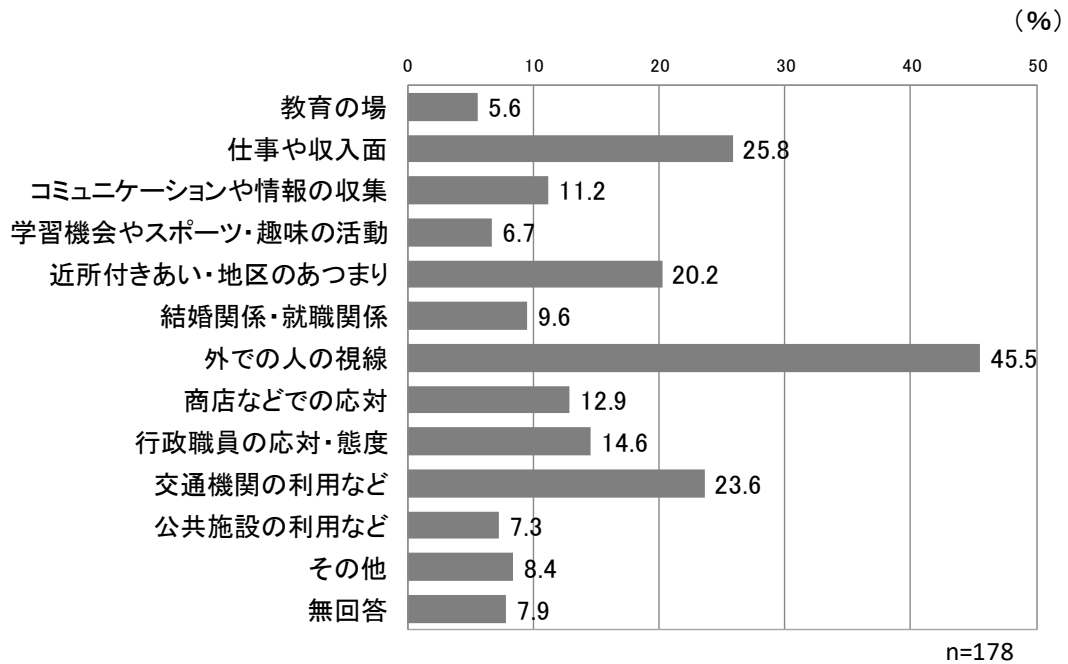
上段:人 下段:%	合計	問44 差別や人権侵害を感じることはあるか					
		ほとんど ない	たまに感 じる	いつも感 じる	わからな い	無回答	
全体	641 100.0	327 51.0	145 22.6	33 5.1	103 16.1	33 5.1	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	18 21.7	39 47.0	8 9.6	18 21.7	0 0.0
	40歳代～50歳代	120 100.0	42 35.0	39 32.5	16 13.3	20 16.7	3 2.5
	60歳代以上	425 100.0	260 61.2	67 15.8	7 1.6	63 14.8	28 6.6
障がいの 種類	身体障がい	469 100.0	288 61.4	83 17.7	11 2.3	62 13.2	25 5.3
	知的障がい	86 100.0	20 23.3	30 34.9	9 10.5	24 27.9	3 3.5
	精神障がい	95 100.0	23 24.2	44 46.3	11 11.6	14 14.7	3 3.2

問45 差別や人権侵害を受けていると感じる場面（MA）

問44で「たまに感じる」「いつも感じる」と回答した人のみ

○「外での人の視線」が45.5%で最も高く、次いで、「仕事や収入面」が25.8%、「交通機関の利用など」が23.6%の順となっています。

★年齢別にみると“40歳代～50歳代”、障がいの種類別にみると“精神障がい”については、「仕事や収入面」が最も高くなっています。



その他
・ 家族の自分に対する態度 等

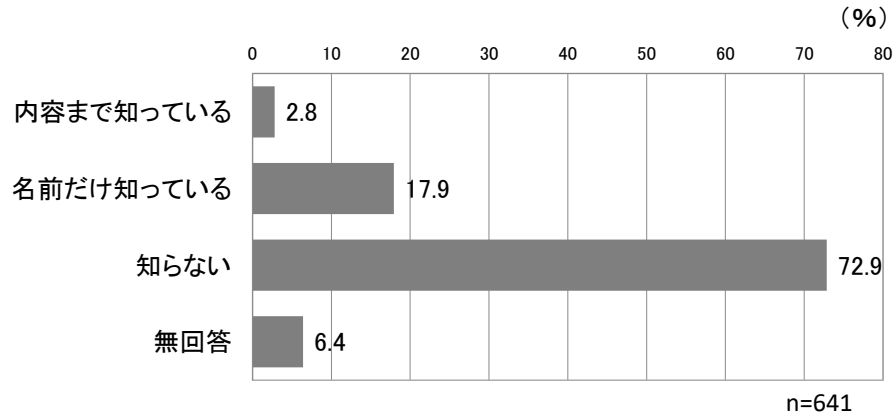
	合計	問45 差別や人権侵害を受けていると感じる場面							
		教育の場	仕事や収入面	コミュニケーションや情報の収集	学習機会やスポーツ・趣味の活動	近所付き合い・地区のあつまり	結婚関係・就職関係	外での人の視線	
全体	178 100.0	10 5.6	46 25.8	20 11.2	12 6.7	36 20.2	17 9.6	81 45.5	
年齢	10歳代～30歳代	47 100.0	6 12.8	17 36.2	5 10.6	5 10.6	10 21.3	6 12.8	31 66.0
	40歳代～50歳代	55 100.0	2 3.6	23 41.8	8 14.5	1 1.8	9 16.4	8 14.5	19 34.5
	60歳代以上	74 100.0	1 1.4	5 6.8	6 8.1	5 6.8	15 20.3	2 2.7	29 39.2
障がいの種類	身体障がい	94 100.0	2 2.1	11 11.7	8 8.5	4 4.3	16 17.0	5 5.3	37 39.4
	知的障がい	39 100.0	2 5.1	8 20.5	4 10.3	5 12.8	5 12.8	0 0.0	28 71.8
	精神障がい	55 100.0	6 10.9	27 49.1	8 14.5	2 3.6	16 29.1	13 23.6	18 32.7

	合計	問45 差別や人権侵害を受けていると感じる場面						
		商店などでの応対	行政職員への応対・態度	交通機関の利用など	公共施設の利用など	その他	無回答	
全体	178 100.0	23 12.9	26 14.6	42 23.6	13 7.3	15 8.4	14 7.9	
年齢	10歳代～30歳代	47 100.0	4 8.5	6 12.8	11 23.4	2 4.3	6 12.8	2 4.3
	40歳代～50歳代	55 100.0	9 16.4	15 27.3	12 21.8	4 7.3	7 12.7	1 1.8
	60歳代以上	74 100.0	10 13.5	4 5.4	18 24.3	7 9.5	2 2.7	11 14.9
障がいの種類	身体障がい	94 100.0	15 16.0	12 12.8	24 25.5	8 8.5	5 5.3	11 11.7
	知的障がい	39 100.0	5 12.8	4 10.3	9 23.1	4 10.3	5 12.8	1 2.6
	精神障がい	55 100.0	3 5.5	13 23.6	10 18.2	3 5.5	7 12.7	5 9.1

問46 「障害者差別解消法」の認知状況（SA）

○「内容まで知っている」が2.8%、「名前だけ知っている」が17.9%、「知らない」が72.9%となっています。

★「知らない」については、各年齢、各障がいで、それぞれ割合が最も高くなっています。

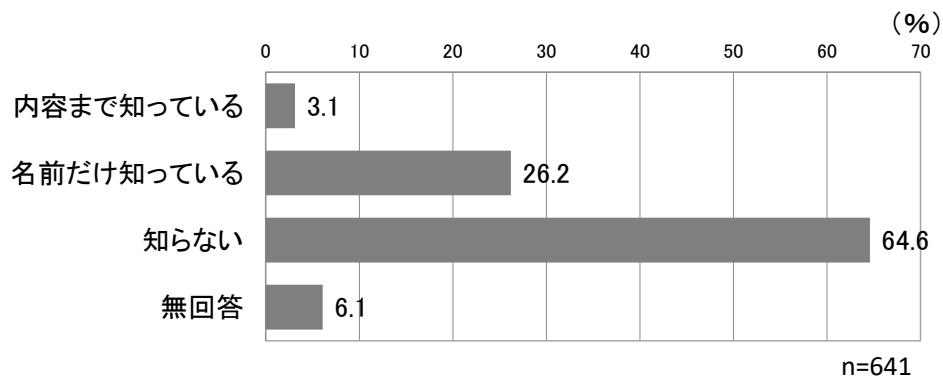


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問46 「障害者差別解消法」の認知状況				
		内容まで 知っている	名前だけ 知っている	知らない	無回答	
全体	641 100.0	18 2.8	115 17.9	467 72.9	41 6.4	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	3 3.6	23 27.7	57 68.7	0 0.0
	40歳代～50歳代	120 100.0	9 7.5	21 17.5	85 70.8	5 4.2
	60歳代以上	425 100.0	6 1.4	70 16.5	314 73.9	35 8.2
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	10 2.1	84 17.9	341 72.7	34 7.2
	知的障がい	86 100.0	2 2.3	21 24.4	59 68.6	4 4.7
	精神障がい	95 100.0	6 6.3	17 17.9	70 73.7	2 2.1

問47 「障害者虐待防止法」の認知状況（SA）

○「内容まで知っている」が3.1%、「名前だけ知っている」が26.2%、「知らない」が64.6%となっています。

★「知らない」については、各年齢、各障がいで、それぞれ割合が最も高くなっています。

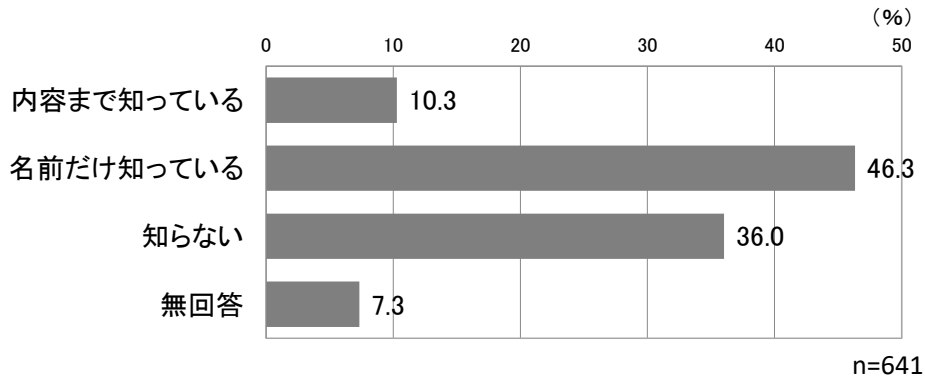


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問47 「障害者虐待防止法」の認知状況				
		内容まで 知っている	名前だけ 知っている	知らない	無回答	
全体	641 100.0	20 3.1	168 26.2	414 64.6	39 6.1	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	5 6.0	30 36.1	48 57.8	0 0.0
	40歳代～50歳代	120 100.0	5 4.2	32 26.7	79 65.8	4 3.3
	60歳代以上	425 100.0	10 2.4	104 24.5	277 65.2	34 8.0
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	10 2.1	126 26.9	299 63.8	34 7.2
	知的障がい	86 100.0	5 5.8	32 37.2	46 53.5	3 3.5
	精神障がい	95 100.0	3 3.2	23 24.2	69 72.6	0 0.0

問48 成年後見制度の認知状況（SA）

○「内容まで知っている」が10.3%、「名前だけ知っている」が46.3%、「知らない」が36.0%となっています。

★年齢別にみると“10歳代～30歳代”、障がいの種類別にみると“知的障がい”及び“精神障がい”では、「知らない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

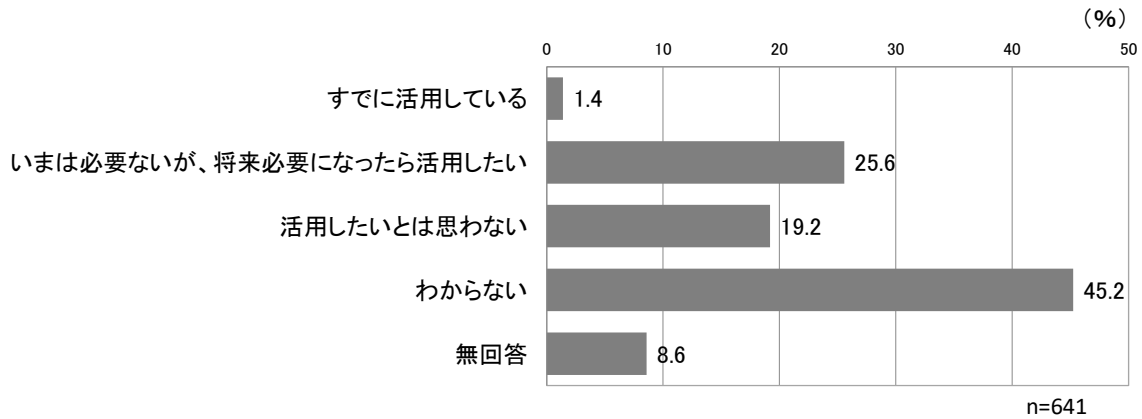


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問48 成年後見制度の認知状況				
		内容まで 知っている	名前だけ 知っている	知らない	無回答	
全体	641 100.0	66 10.3	297 46.3	231 36.0	47 7.3	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	13 15.7	33 39.8	37 44.6	0 0.0
	40歳代～50歳代	120 100.0	14 11.7	54 45.0	46 38.3	6 5.0
	60歳代以上	425 100.0	39 9.2	206 48.5	140 32.9	40 9.4
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	45 9.6	233 49.7	151 32.2	40 8.5
	知的障がい	86 100.0	12 14.0	34 39.5	36 41.9	4 4.7
	精神障がい	95 100.0	11 11.6	35 36.8	47 49.5	2 2.1

問49 成年後見制度の活用意向（SA）

○「わからない」が45.2%で最も高く、次いで「いまは必要ないが、将来必要になったら活用したい」が25.6%、「活用したいとは思わない」が19.2%の順となっています。

★「いまは必要ないが、将来必要になったら活用したい」については、年齢別では“10歳代～30歳代”で、障がいの種類別では“知的障がい”で、それぞれ割合が高くなっています。

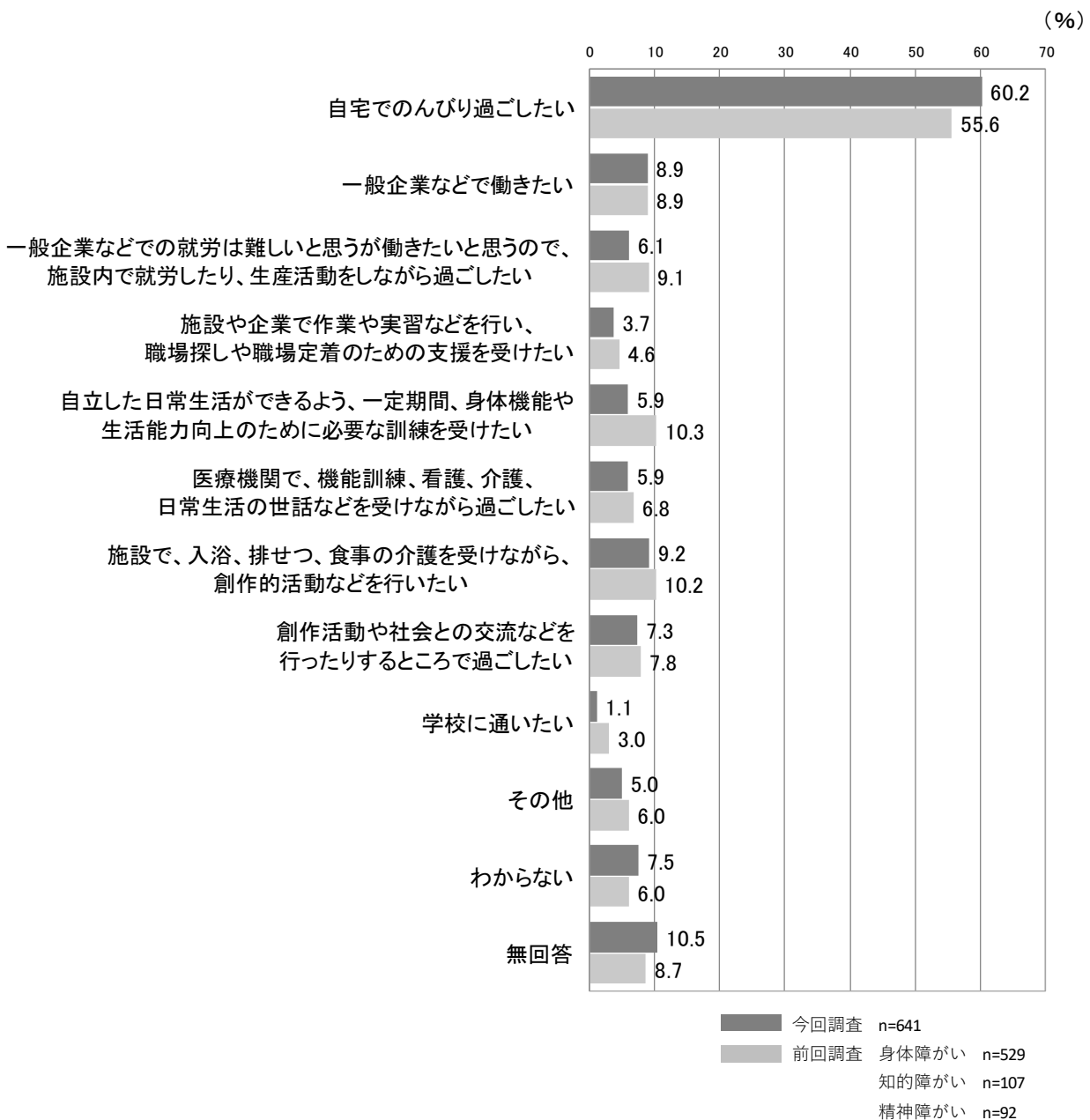


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問49 成年後見制度の活用意向					
		すでに活用している	いまは必要ないが、将来必要になったら活用したい	活用したいとは思わない	わからない	無回答	
全体	641 100.0	9 1.4	164 25.6	123 19.2	290 45.2	55 8.6	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	1 1.2	36 43.4	8 9.6	38 45.8	0 0.0
	40歳代～50歳代	120 100.0	6 5.0	27 22.5	18 15.0	64 53.3	5 4.2
	60歳代以上	425 100.0	2 0.5	99 23.3	95 22.4	180 42.4	49 11.5
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	4 0.9	111 23.7	101 21.5	209 44.6	44 9.4
	知的障がい	86 100.0	8 9.3	32 37.2	7 8.1	36 41.9	3 3.5
	精神障がい	95 100.0	1 1.1	29 30.5	16 16.8	45 47.4	4 4.2

12 将来の希望等について

問50 今後希望する日中の過ごし方（MA）

- 「自宅でのんびり過ごしたい」が60.2%で最も高くなっており、他の項目は1割未満となっています。
- 前回調査と比べると、「自宅でのんびり過ごしたい」が4.6ポイントの上昇、「自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けたい」が4.4ポイント低下しています。
- ★「一般企業で働きたい」は年齢が若いほど、高い割合となっています。



その他

- ・今まで通りの生活がしたい
- ・自宅で安定した仕事がしたい

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問50 今後希望する日中の過ごし方						
		自宅での んびり過 ごしたい	一般企業 などで働 きたい	一般企業 などでの 就労は難 しいと思 うが働き たいと思 うので、 施設内で 就労した り、生産 活動をし ながら過 ごしたい	施設や企 業で作業 や実習な どを行 い、職場 探しや職 場定着の ための支 援を受け たい	自立した 日常生活 ができる よう、一 定期間、 身体機能 や生活能 力向上の ために必 要な訓練 を受けたい	医療機関 で、機能 訓練、看 護、介護、日常 生活の世 話などを 受けなが ら過ごし たい	
全体	641 100.0	386 60.2	57 8.9	39 6.1	24 3.7	38 5.9	38 5.9	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	31 37.3	20 24.1	16 19.3	10 12.0	10 12.0	3 3.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	58 48.3	26 21.7	16 13.3	10 8.3	3 2.5	7 5.8
	60歳代以上	425 100.0	289 68.0	10 2.4	6 1.4	3 0.7	24 5.6	26 6.1
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	318 67.8	26 5.5	13 2.8	7 1.5	28 6.0	25 5.3
	知的障がい	86 100.0	31 36.0	7 8.1	15 17.4	7 8.1	7 8.1	8 9.3
	精神障がい	95 100.0	46 48.4	26 27.4	14 14.7	13 13.7	5 5.3	9 9.5

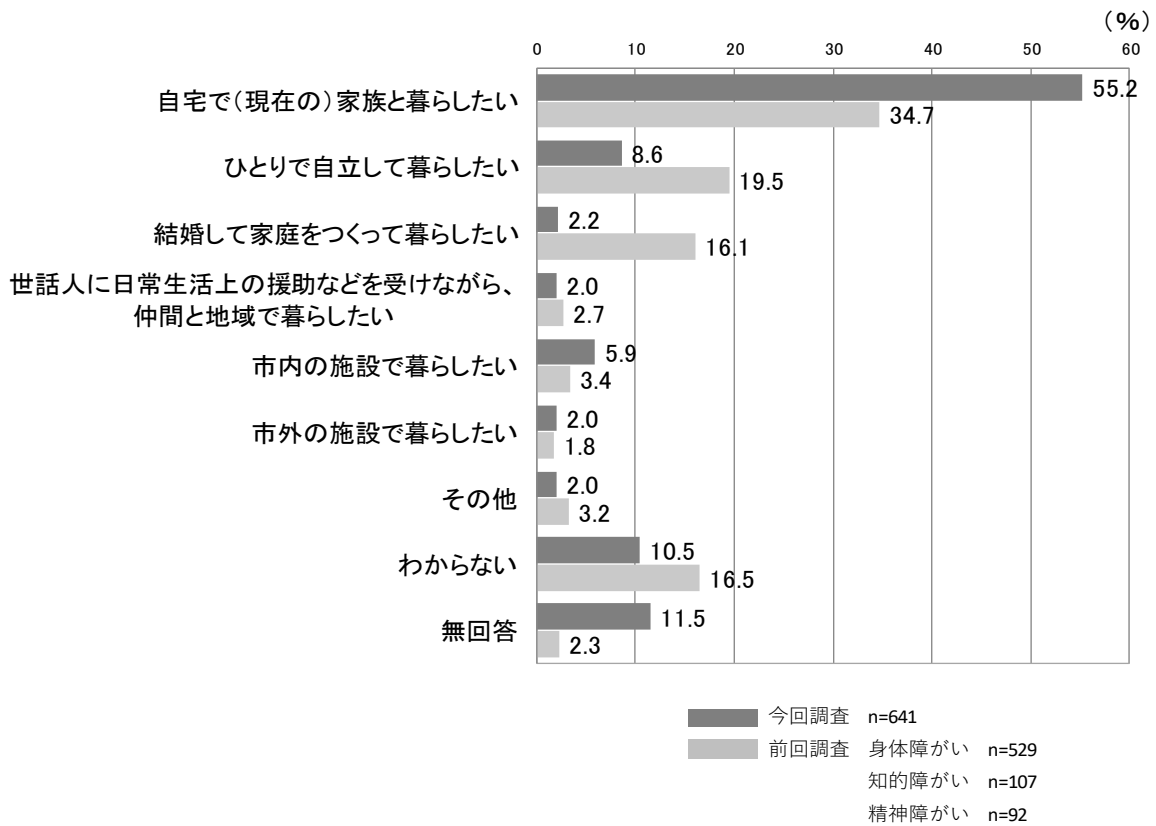
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問50 今後希望する日中の過ごし方						
		施設で、 入浴、排 せつ、食 事の介護 を受けな がら、創 作的活動 などを行 いたい	創作活動 や社会と の交流な どを行っ たりする ところで 過ごした い	学校に通 いたい	その他	わからな い	無回答	
全体	641 100.0	59 9.2	47 7.3	7 1.1	32 5.0	48 7.5	67 10.5	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	17 20.5	14 16.9	2 2.4	5 6.0	6 7.2	1 1.2
	40歳代～50歳代	120 100.0	9 7.5	7 5.8	2 1.7	11 9.2	11 9.2	10 8.3
	60歳代以上	425 100.0	32 7.5	25 5.9	2 0.5	14 3.3	30 7.1	53 12.5
障 が い の 種 類	身体障がい	469 100.0	37 7.9	24 5.1	1 0.2	15 3.2	29 6.2	53 11.3
	知的障がい	86 100.0	22 25.6	12 14.0	0 0.0	4 4.7	8 9.3	5 5.8
	精神障がい	95 100.0	4 4.2	13 13.7	5 5.3	13 13.7	6 6.3	7 7.4

問51 近い将来どのように暮らしたいか（SA）

○「自宅で（現在の）家族と暮らしたい」が55.2%で最も高く、次いで「わからない」が10.5%、「ひとりで自立して暮らしたい」が8.6%の順となっています。

●前回調査に比べ、「自宅で（現在の）家族と暮らしたい」が20.5ポイント、「市内の施設で暮らしたい」が2.5ポイント上昇しています。

★「自宅で（現在の）家族と暮らしたい」については、各年齢、各障がいで、それぞれ割合が最も高くなっています。



その他

- ・病気の症状が出ない様、病院の先生とうまくつきあい通常の生活をしていきたい
- ・介護、ケア付きの県内の施設

上段:人 下段:%	合計	問51 近い将来どのように暮らしたいか									
		自宅で （現在の） 家族と暮ら したい	ひとりで 自立して 暮らした い	結婚して 家庭をつ くって暮 らしたい	世話人に 日常生活 上の援助 を受けな がら、仲 間と地域 で暮ら したい	市内の施 設で暮ら したい	市外の施 設で暮ら したい	その他	わから ない	無回答	
全体	641 100.0	354 55.2	55 8.6	14 2.2	13 2.0	38 5.9	13 2.0	13 2.0	67 10.5	74 11.5	
年齢	10歳代～30歳代	83 100.0	42 50.6	6 7.2	6 7.2	4 4.8	3 3.6	3 3.6	2 2.4	9 10.8	8 9.6
	40歳代～50歳代	120 100.0	57 47.5	12 10.0	8 6.7	6 5.0	6 5.0	5 4.2	3 2.5	9 7.5	14 11.7
	60歳代以上	425 100.0	251 59.1	34 8.0	0 0.0	3 0.7	29 6.8	5 1.2	8 1.9	47 11.1	48 11.3
障がいの種類	身体障がい	469 100.0	282 60.1	38 8.1	1 0.2	4 0.9	31 6.6	4 0.9	7 1.5	50 10.7	52 11.1
	知的障がい	86 100.0	42 48.8	5 5.8	3 3.5	7 8.1	4 4.7	9 10.5	1 1.2	6 7.0	9 10.5
	精神障がい	95 100.0	36 37.9	13 13.7	11 11.6	2 2.1	2 2.1	1 1.1	4 4.2	11 11.6	15 15.8

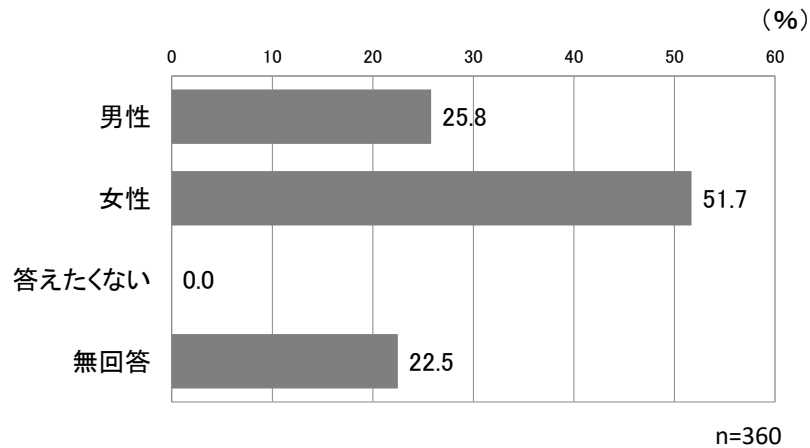
1.3 障がい者（家族）アンケート結果

【第2章の問13で「父、母」「配偶者（夫、妻）」「子ども、子どもの配偶者」「兄弟、姉妹」「その他の親せき」と回答した人のみ】

問1 介助者の性別（SA）

○ 「女性」が51.7%、「男性」が25.8%となっています。

★ 「女性」については、各年齢、各障がいで、それぞれ割合が最も高くなっています。



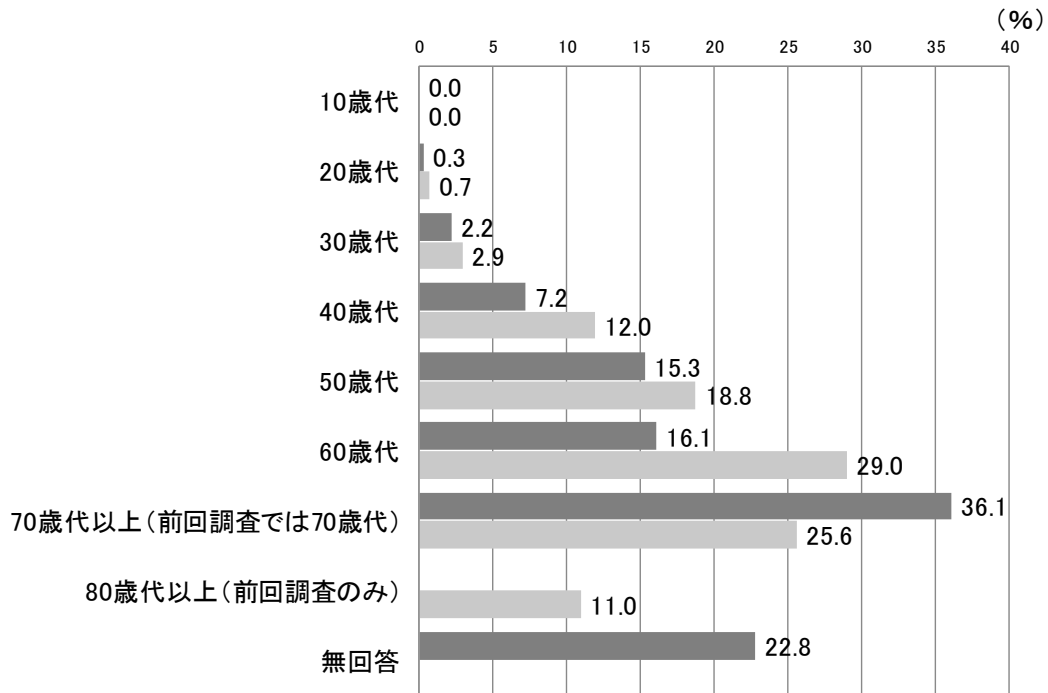
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問1 介助者の性別				
		男性	女性	答えたく ない	無回答	
全体	360 100.0	93 25.8	186 51.7	0 0.0	81 22.5	
年齢	10歳代~30歳代	57 100.0	8 14.0	45 78.9	0 0.0	4 7.0
	40歳代~50歳代	62 100.0	20 32.3	23 37.1	0 0.0	19 30.6
	60歳代以上	233 100.0	65 27.9	112 48.1	0 0.0	56 24.0
障がいの種類	身体障がい	262 100.0	73 27.9	132 50.4	0 0.0	57 21.8
	知的障がい	60 100.0	13 21.7	44 73.3	0 0.0	3 5.0
	精神障がい	45 100.0	7 15.6	19 42.2	0 0.0	19 42.2

問2 介助者の年齢（SA）

○「70歳代以上」が36.1%で最も高く、次いで「60歳代」が16.1%、「50歳代」が15.3%の順となっています。

●前回調査と比べ、「60歳代」が12.9ポイント低下しています。

★年齢別にみると、“10歳代～30歳代”では「60歳代」、「40歳代～50歳代”では「50歳代」が「70歳代以上（前回調査では70歳代）」と同率で最も高く、障がいの種類別にみると“知的障がい”では「50歳代」、「精神障がい”では「60歳代」が最も高くなっています。



今回調査 n=360

前回調査 身体障がい（家族）n=285

知的障がい（家族）n=72

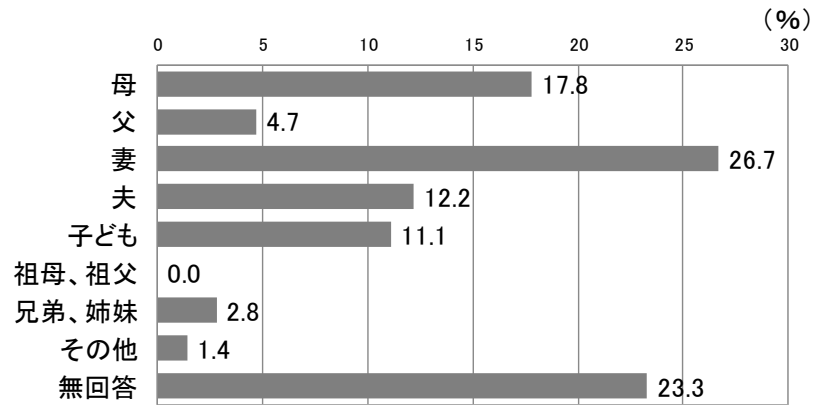
精神障がい（家族）n=53

〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問2 介助者の年齢							無回答
			10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	
全体		360	0	1	8	26	55	58	130	82
		100.0	0.0	0.3	2.2	7.2	15.3	16.1	36.1	22.8
年齢	10歳代～30歳代	57	0	0	2	3	21	23	4	4
		100.0	0.0	0.0	3.5	5.3	36.8	40.4	7.0	7.0
	40歳代～50歳代	62	0	1	3	11	13	2	13	19
	100.0	0.0	1.6	4.8	17.7	21.0	3.2	21.0	30.6	
	60歳代以上	233	0	0	3	12	20	30	112	56
	100.0	0.0	0.0	1.3	5.2	8.6	12.9	48.1	24.0	
障がいの種類	身体障がい	262	0	1	6	19	31	31	116	58
		100.0	0.0	0.4	2.3	7.3	11.8	11.8	44.3	22.1
	知的障がい	60	0	0	1	4	22	21	9	3
	100.0	0.0	0.0	1.7	6.7	36.7	35.0	15.0	5.0	
	精神障がい	45	0	0	1	4	4	10	7	19
	100.0	0.0	0.0	2.2	8.9	8.9	22.2	15.6	42.2	

問3 本人との続柄（SA）

○「妻」が26.7%で最も高く、次いで「母」が17.8%、「夫」が12.2%、「子ども」が11.1%の順となっています。

★年齢別にみると“10歳代～30歳代”及び“40歳代～50歳代”、障がいの種類別にみると“知的障がい”及び“精神障がい”で、「母」が最も高くなっています。



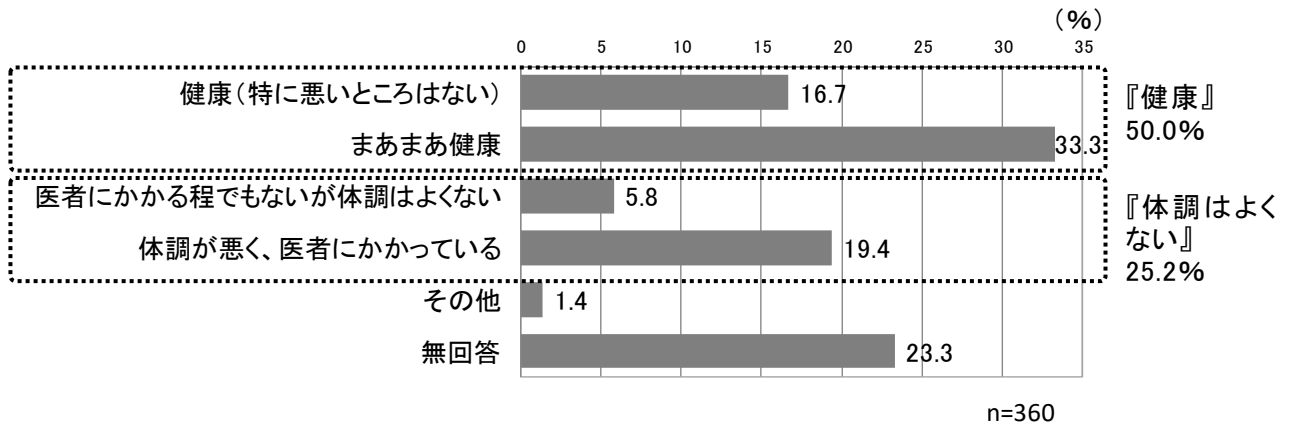
n=360

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問3 本人との続柄								
		母	父	妻	夫	子ども	祖母、祖父	兄弟、姉妹	その他	無回答
全体	360 100.0	64 17.8	17 4.7	96 26.7	44 12.2	40 11.1	0 0.0	10 2.8	5 1.4	84 23.3
年齢	10歳代～30歳代	57 100.0	44 77.2	8 14.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.8	0 0.0	4 7.0
	40歳代～50歳代	62 100.0	12 19.4	6 9.7	11 17.7	6 9.7	3 4.8	0 0.0	5 8.1	0 0.0
	60歳代以上	233 100.0	7 3.0	3 1.3	83 35.6	36 15.5	36 15.5	0 0.0	4 1.7	5 2.1
障がいの種類	身体障がい	262 100.0	18 6.9	9 3.4	91 34.7	42 16.0	34 13.0	0 0.0	5 1.9	4 1.5
	知的障がい	60 100.0	40 66.7	11 18.3	0 0.0	0 0.0	1 1.7	0 0.0	3 5.0	1 1.7
	精神障がい	45 100.0	14 31.1	2 4.4	4 8.9	2 4.4	1 2.2	0 0.0	2 4.4	0 0.0

問4 介助者の健康状態（SA）

○「まあまあ健康」が33.3%で最も高くなっており、「健康（特に悪いところはない）」と「まあまあ健康」を合わせた『健康』は50.0%、「医者にかかる程でもないが体調はよくない」及び「体調が悪く、医者にかかっている」を合わせた『体調はよくない』が25.2%となっています。

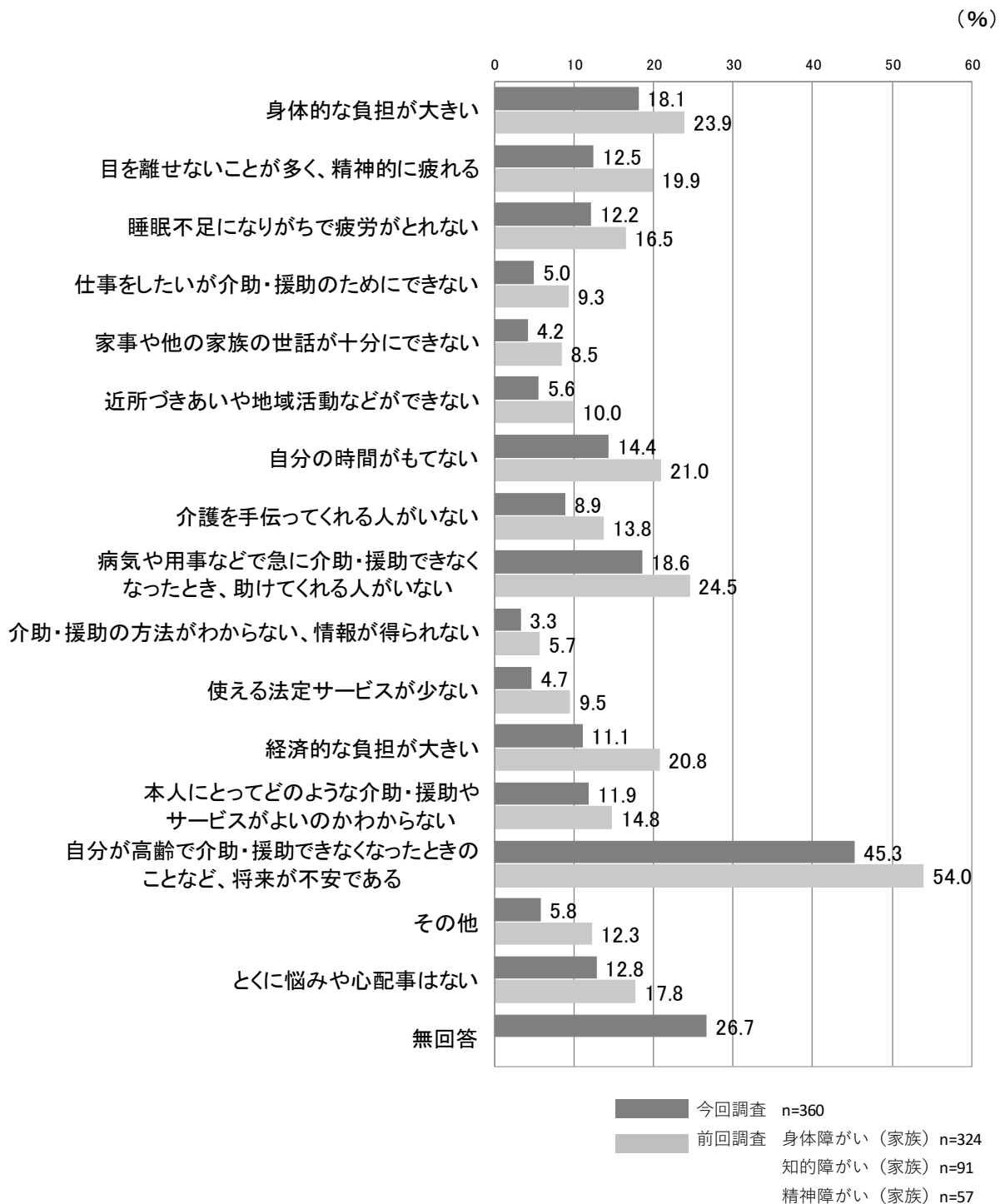
★『体調はよくない』については、年齢別にみると“10歳代～30歳代”、障がいの種類別にみると“知的障がい”で、それぞれ30%を超えて高くなっています。



〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問4 介助者の健康状態						体調はよくない	
		健康(特に悪いところはない)	まあまあ健康	医者にかかる程でもないが体調はよくない	体調が悪く、医者にかかっている	その他	無回答		
全体	360 100.0	60 16.7	120 33.3	21 5.8	70 19.4	5 1.4	84 23.3	91 25.2	
年齢	10歳代～30歳代	57 100.0	12 21.1	20 35.1	6 10.5	12 21.1	3 5.3	4 7.0	18 31.6
	40歳代～50歳代	62 100.0	9 14.5	20 32.3	2 3.2	12 19.4	0 0.0	19 30.6	14 22.6
	60歳代以上	233 100.0	38 16.3	77 33.0	12 5.2	45 19.3	2 0.9	59 25.3	57 24.5
障がいの種類	身体障がい	262 100.0	41 15.6	95 36.3	16 6.1	49 18.7	2 0.8	59 22.5	65 24.8
	知的障がい	60 100.0	13 21.7	20 33.3	6 10.0	15 25.0	2 3.3	4 6.7	21 35.0
	精神障がい	45 100.0	3 6.7	12 26.7	1 2.2	8 17.8	1 2.2	20 44.4	9 20.0

問5 介助・援助の悩みや心配事（MA）

- 「とくに悩みや心配事はない」は12.8%となっています。悩みや心配事としては、「自分が高齢で介助・援助ができなくなったときなど、将来が不安である」が45.3%で最も高く、次いで「病気や用事などで急に介助・援助できなくなったとき、助けてくれる人がいない」が18.6%、「身体的な負担が大きい」が18.1%となっています。
- 前回調査と比べるとすべての項目で低下しており、中でも「経済的な負担が大きい」が9.7ポイント、「自分が高齢で介助・援助できなくなったときのことなど、将来が不安である」が8.7ポイント低下しました。
- ★「自分が高齢で介助・援助ができなくなったときなど、将来が不安である」については、各年齢、各障がいで、それぞれ割合が最も高くなっています。



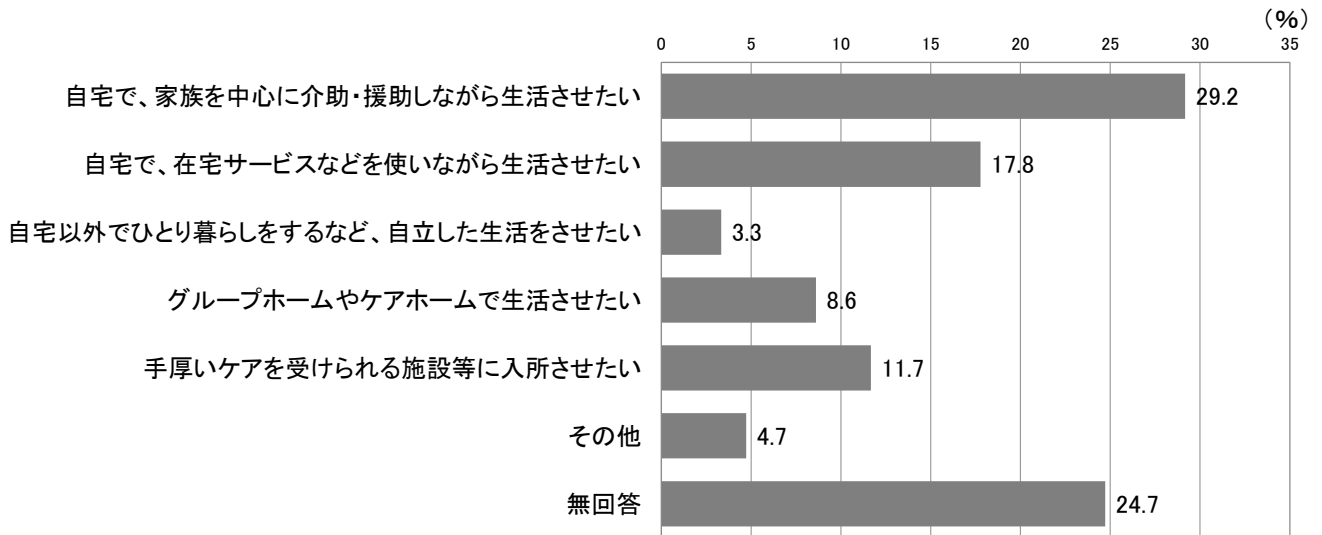
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問5 介助・援助の悩みや心配事									
		身体的な負担が大きい	目を離せないことが多く、精神的に疲れる	睡眠不足になりがちで疲労がとれない	仕事をしたいが介助・援助のためにできない	家事や他の家族の世話が十分にできない	近所づきあいや地域活動などができない	自分の時間がもてない	介護を手伝ってくれる人がいない	病気や用事などで急に介助・援助できなくなったとき、助けてくれる人がいない	
全体	360 100.0	65 18.1	45 12.5	44 12.2	18 5.0	15 4.2	20 5.6	52 14.4	32 8.9	67 18.6	
年齢	10歳代～30歳代	57 100.0	18 31.6	20 35.1	15 26.3	6 10.5	5 8.8	7 12.3	16 28.1	5 8.8	19 33.3
	40歳代～50歳代	62 100.0	8 12.9	5 8.1	3 4.8	2 3.2	2 3.2	4 6.5	4 6.5	5 8.1	11 17.7
	60歳代以上	233 100.0	38 16.3	20 8.6	26 11.2	10 4.3	8 3.4	9 3.9	32 13.7	22 9.4	37 15.9
障がいの種類	身体障がい	262 100.0	46 17.6	24 9.2	29 11.1	10 3.8	10 3.8	10 3.8	37 14.1	24 9.2	46 17.6
	知的障がい	60 100.0	18 30.0	20 33.3	15 25.0	6 10.0	6 10.0	9 15.0	14 23.3	7 11.7	17 28.3
	精神障がい	45 100.0	2 4.4	3 6.7	2 4.4	3 6.7	1 2.2	1 2.2	2 4.4	2 4.4	6 13.3

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問5 介助・援助の悩みや心配事							無回答	
		介助・援助の方法がわからない、情報が得られない	使える法定サービスが少ない	経済的な負担が大きい	本人にとってどのような介助・援助やサービスがよいかわからない	自分が高齢で介助・援助できなくなったことなど、将来が不安である	その他	とくに悩みや心配事はない		
全体	360 100.0	12 3.3	17 4.7	40 11.1	43 11.9	163 45.3	21 5.8	46 12.8	96 26.7	
年齢	10歳代～30歳代	57 100.0	1 1.8	8 14.0	6 10.5	9 15.8	41 71.9	5 8.8	2 3.5	5 8.8
	40歳代～50歳代	62 100.0	2 3.2	3 4.8	8 12.9	10 16.1	23 37.1	3 4.8	10 16.1	22 35.5
	60歳代以上	233 100.0	9 3.9	5 2.1	25 10.7	23 9.9	97 41.6	13 5.6	32 13.7	67 28.8
障がいの種類	身体障がい	262 100.0	11 4.2	6 2.3	26 9.9	28 10.7	111 42.4	12 4.6	42 16.0	71 27.1
	知的障がい	60 100.0	1 1.7	9 15.0	8 13.3	9 15.0	43 71.7	4 6.7	2 3.3	5 8.3
	精神障がい	45 100.0	0 0.0	1 2.2	5 11.1	7 15.6	15 33.3	5 11.1	3 6.7	23 51.1

問6 本人の将来の生活をどのようにさせたいか（SA）

○「自宅で、家族を中心に介助・援助しながら生活させたい」が29.2%で最も高く、次いで「自宅で、在宅サービスなどを使いながら生活させたい」が17.8%、「手厚いケアを受けられる施設等に入所させたい」が11.7%の順となっています。

★年齢別にみると“10歳代～30歳代”では、「グループホームやケアホームで生活させたい」の割合が28.1%で最も高く、障がいの種類別では“精神障がい”では、「自宅以外でひとり暮らしをするなど、自立した生活をさせたい」の割合が最も高くなっています。



n=360

上段:人 下段:%	合計	問6 本人の将来の生活をどのようにさせたいか							
		自宅で、 家族を中 心に介 助・援助 しながら 生活させ たい	自宅で、 在宅サー ビスなど を使いな がら生活 させたい	自宅以外 でひとり 暮らしを するな ど、自立 した生活 をさせたい	グループ ホームや ケアホー ムで生活 させたい	手厚いケ アを受け られる施 設等に入 所させたい	その他	無回答	
全体	360 100.0	105 29.2	64 17.8	12 3.3	31 8.6	42 11.7	17 4.7	89 24.7	
年齢	10歳代～30歳代	57 100.0	8 14.0	5 8.8	7 12.3	16 28.1	14 24.6	4 7.0	3 5.3
	40歳代～50歳代	62 100.0	17 27.4	7 11.3	4 6.5	5 8.1	6 9.7	5 8.1	18 29.0
	60歳代以上	233 100.0	76 32.6	52 22.3	1 0.4	10 4.3	20 8.6	8 3.4	66 28.3
障がいの種類	身体障がい	262 100.0	92 35.1	54 20.6	1 0.4	10 3.8	28 10.7	11 4.2	66 25.2
	知的障がい	60 100.0	10 16.7	6 10.0	2 3.3	20 33.3	16 26.7	3 5.0	3 5.0
	精神障がい	45 100.0	4 8.9	6 13.3	9 20.0	2 4.4	2 4.4	3 6.7	19 42.2

自由記述

○129人の方から171件のご意見・ご要望を頂きました。内容と件数については以下のとおりです。

主な意見の内容（件数）
障がいの状況・近況について 31件
<ul style="list-style-type: none">・現在透析中でありこれからも行動に十分注意して家族に迷惑を掛けない様にしたい。・リハビリに通所させるも金額的にも辛い生活が続いている。・今自分に出来る事を精一杯やっていきたいと考えています。・交通災害による右股関節全廃ですが他にも目とかに障がいは残りましたが現在1人で生活をしております。・身体障害者手帳で1級となっておりますが、現在介護は一切必要ではなく、働く事も出来ています。今の所は以前と変わらない毎日が過ごせています。・うつなので気分の浮き沈みが激しい。・本人は現在96才、施設に入居し聴力、脚力が弱くホームヘルパーの介助で入居しています。・今現在は介助、援助する必要性がないので自分の身体の保護に気を付けています。
不安・心配・困り事について 20件
<ul style="list-style-type: none">・私自身が寝たきりになった場合、ストーマを交換してくれる人（福祉）がいるかが心配だ。・私の収入、健康を考えると42歳の息子を援助し続けられるかと思うと不安です。・親亡き後、療育手帳Bなのに障害者年金が受けられず、将来が非常に不安です。・夫婦、70才代の我が家では（子どもがいないので）日中はデマンドバスの外出が出来ますが、夜中、早朝の動きが取れないのは困ります。・収入がなくなった時の生活が不安。・精神的障がいは、一見普通に見えるので他人からの理解が得られない。・今は両親と暮らしていますが、両親がいなくなり1人になった時はどうしていいか分かりません。
アンケートについて 20件
<ul style="list-style-type: none">・自身は精神の側ですが1級ではないのでこのアンケートはとても申し訳ないのですが計画のお役に立てると思えません。精神の方からは1級の方を選ばれるべきだったのではないのでしょうか。・私は現在90才を過ぎています。年齢の質問にも70才以上しかないし、アンケートに協力できていないかとも思います。・私は視覚障がい者です（弱視）、書く事や読む事が辛い、書類、アンケートが辛いです。・記入スペースが小さくて書きづらいです。もう少し文字を大きく書けるようにして下さい。・色々なサービスがある事が分かり今後必要な時に必要なサービスを受けたいと思います。

相談・情報提供・手続きについて 16件
<ul style="list-style-type: none"> ・手続きや申請の流れがもう少しスムーズにできるようになるとありがたいです。 ・2年に1度手帳を更新する事が負担です。手帳を更新する為だけに生涯治らないのに病院に3ヶ月に1度通院し続ける事が負担です。 ・身体障害者手帳は一度も使っていないし何時使うのか理解できない。どういう場で使用するのか役に立てるのかを知りたい、是非教えて下さい。 ・障がい福祉課より種々の書類が送られてきます。提出書類の年間スケジュール表のようなものを作成していただけないでしょうか。心づもりができます。 ・重度心身障害者医療費の請求書を作成するのが面倒である。
行政施策について 13件
<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者にはもちろん、介助援助している者にもケアが必要。 ・発達障がい者用の手帳制度がほしいです。 ・災害時に障がい者用の避難場所を用意してほしい。 ・マスク等の備蓄をお願いしたいと思います。 ・月1回でも巡回図書館が来てもらえたらどんなにか楽しいか。 ・身体障害者手帳のサイズが一般のカードとサイズが違うので合うサイズのケースが見つかりません。 ・日常生活で不自由はありませんが、子育てにおいて体の負担がかかります。障がい者の方の子育て支援も手厚くなれば良いと思います。
障がい福祉サービスについて 9件
<ul style="list-style-type: none"> ・グループホームやケアホームを早く建設して頂きたい。両親が元気なうちに子どもがケアホームやグループホームで生活しているのを見届けたい。 ・北本市内に生活介護やA、B型作業所などをすすんで作ってほしい。 ・肢体のショートステイが1時間位かかる所にしかないのだから北本に肢体の預けられる所がほしい。 ・長期で見てくれる療養病院がもっとあって欲しい。
感謝 8件
<ul style="list-style-type: none"> ・市の障がい福祉課にはいつもお世話になり非常に感謝しております。今後共よろしくお願い致します。 ・日頃から大変お世話になり本当に感謝しています。これからも支援よろしく申し上げます。 ・買い物の帰りに小学生から荷物を持つと言う声を掛けられた時、北本市の教育水準はスゴイと感じた事がありました。北本市が今後もより良いものを作り上げられますようお祈り申し上げます。
将来の生活について 7件
<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしかグループホームかこのまま同居を続けるか本人は分からないと言います。 ・一人暮らしだと日常生活に不安があり、グループホームだと人の付き合いが出来なくて今の仕事もいつまで続くかわからない。 ・グループホームにするか施設にするか悩んでいます。グループホームの方が多少自由な生活が出来そうなのですが、病気の時や年を取った時に施設に入所するのは馴

<p>染めていけるか心配です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は介助してくれる人がいない、年金がないのでお金のかからない施設に入りたいと思っています。
<p>理解・啓発について 7件</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプマークの認知度が低いと思います。 ・障がい者を排除しようとした事件があってこわくて他者に話せない。見た目が障がい者と分からない為、優先スペースを利用すると睨まれる。 ・世間では補聴器を付けていれば健常者並に聞こえていると誤解している。音としては聞こえるが言葉として聞き取れないことはあることを理解してほしい。
<p>サービス全般について 6件</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・北本市には居宅介護事業所も入所施設もありません。障がいの悪い人程利用できるサービスがありません。住み慣れた市で生活させたいと思っていますが、高齢者施設は民間でもあるので障がい者施設を市が責任を持ってつくっていただきたいと思っています。 ・他市町村に比べると北本市は福祉サービスが整っていない。
<p>バリアフリーについて 6件</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車は安全に乗れるスペースが無いです。安全に移動できるように道路の整備を早急をお願いします。 ・公的な施設のトイレが使いにくい。 ・駅東口に点字ブロック（目印）がほしい。 ・交差点で音声のない場所があると歩行が難しく不安。歩道で車進入禁止のポールがあるが鉄やコンクリートで出来ている所があり、膝等をぶつける事がある為、ポールの周りにケガ防止用の何かを巻いてほしい。
<p>移動支援について 6件</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・北本は交通が不便に感じます。デマンドバスは目的地までに迂回していく事が多くあり時間がかかり、福祉タクシー利用券は初乗り分だけなので、ほとんど意味がありません。 ・デマンドバスがとても良いのですが4件しか予約が出来ず取りにくいです。デマンドバスをもっと増やして欲しいです。
<p>経済的負担の軽減について 6件</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・医療費負担を減じるために市内医療関連費用を個人負担でしないようにしてほしい。 ・精神障がい者は定義があいまいで、完治は難しく病気との共生と思っています。そういった中で一般の方との経済的負担に大きなサービスを増やして欲しいです。 ・補装具の補助について。高度な補聴器になるほど金額は高くなりますので補助金の増加をご検討をお願いします。 ・デマンドバスが令和4年4月1日より500円になります。予算のある人は良いと思いますが、ない人は病院にも行けません。 ・精神の病気と異なり脳の病気による障がいなのに身体障がいとは見なされず、車椅子やヘッドギアの（政策）製作に補助が出ないのが負担である。
<p>雇用・就労について 4件</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・一般企業で働いていますが、障がい者との配慮が全くないです。他の人と同じノー

トパソコンで見えないし使いにくい。週に5日働いたら普通に生活できるだけの給料が欲しいと思います。

- ・60代の時いくつかの職場へ行きましたが断られ、障がいがあると働けない事を知らされました。もっと受け入れてくれる会社を取り入れてほしいです。
- ・北本市内では自分のやれる仕事無く、熊谷市へ出勤している、小さな北本市では会社等の仕事をする場所、種類が少ないと思う。

病院での対応等について 3件

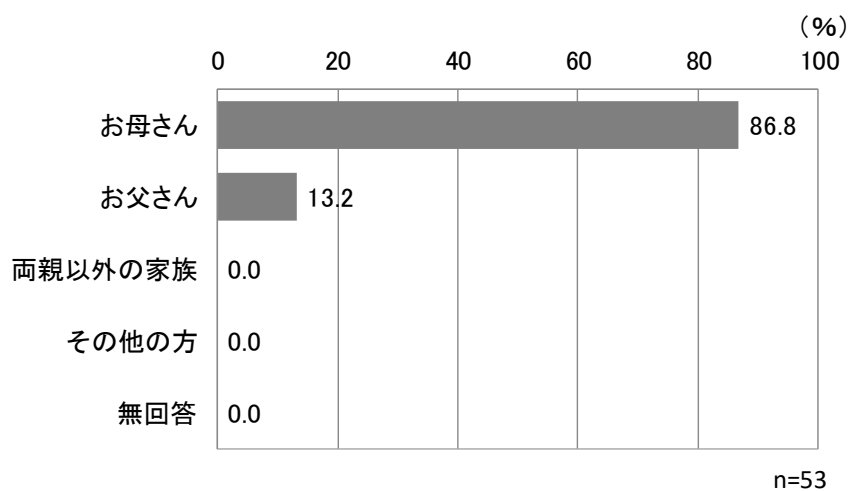
- ・障がい者は介護タクシーで入院していた病院に行けと言われ、早く帰れみたいな態度でした。
- ・医療機関（医師）で聞き返すとあからさまに不快な反応を受け、十分なコミュニケーションが取れないようになる。必要な医療説明を受けられない。

その他 9件

- ・日常会話する相手がないことが問題だと医師に言われた事がありますが、食事の種類などが問題でその様な施設に行けなかった。
- ・もっと暮らしやすい地域になることを願います。
- ・より高度な支援を受けられる病院付属の施設に入所出来なかったのが残念です。
- ・先日、自宅へ市の高齢介護課の方が見えまして家の実情など聞かれました。今後ともよろしく願いいたします。

第3章 障がい児アンケート結果

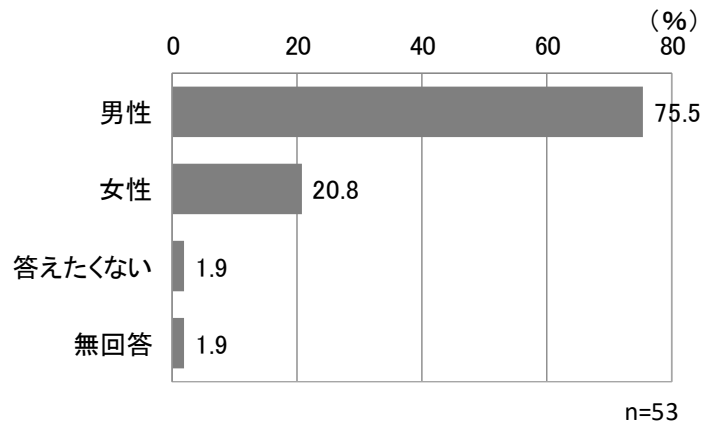
問1 調査票の記入者（SA）



〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問1 調査票の記入者					
		お母さん	お父さん	両親以外 の家族	その他 の方	無回答	
全体	53 100.0	46 86.8	7 13.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	12 85.7	2 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	15 93.8	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	7 70.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	9 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	9 90.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	29 85.3	5 14.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

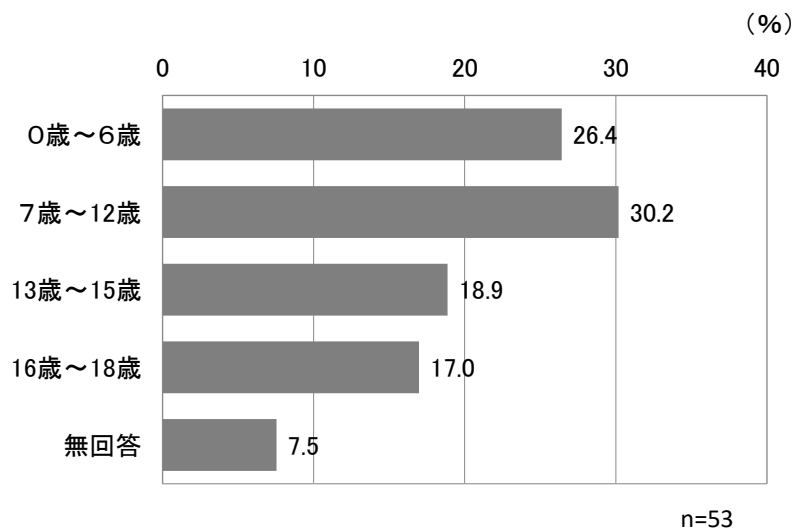
Ⅰ 調査対象者のプロフィール

問2① 性別 (SA)



〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問2①性別				
		男性	女性	答えたく ない	無回答	
全体	53 100.0	40 75.5	11 20.8	1 1.9	1 1.9	
障 が い の 種 類	身体障がい	10 100.0	7 70.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	27 79.4	6 17.6	1 2.9	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0

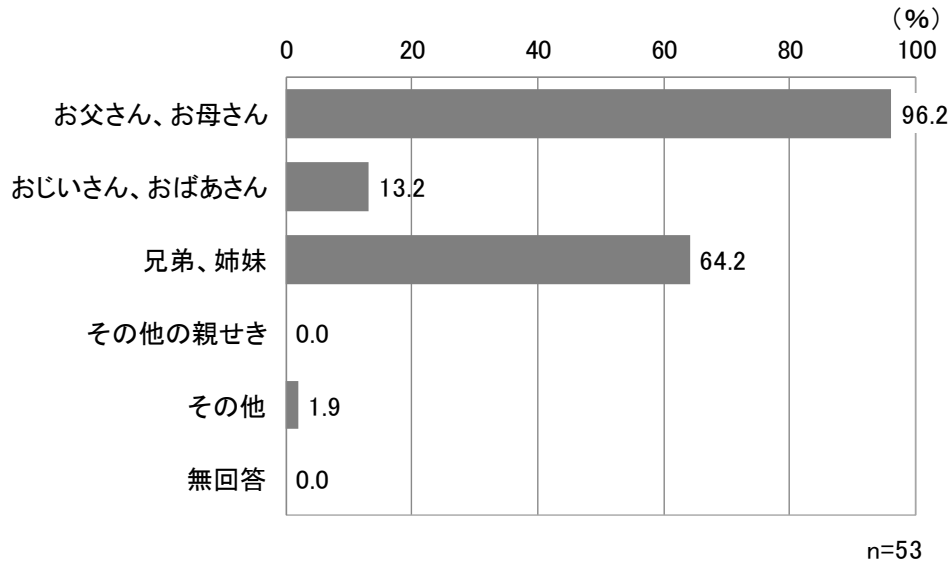
問2② 年齢 (NA)



問3 現在一緒に暮らしている人 (MA)

○「お父さん、お母さん」が96.2%で最も高く、次いで「兄弟、姉妹」が64.2%となっています。

★年齢別にみると、すべての年齢及び障がいで「お父さん、お母さん」の割合が高くなっていますが、“7歳～12歳”と“精神障がい”については、「兄弟、姉妹」の割合も高くなっています。

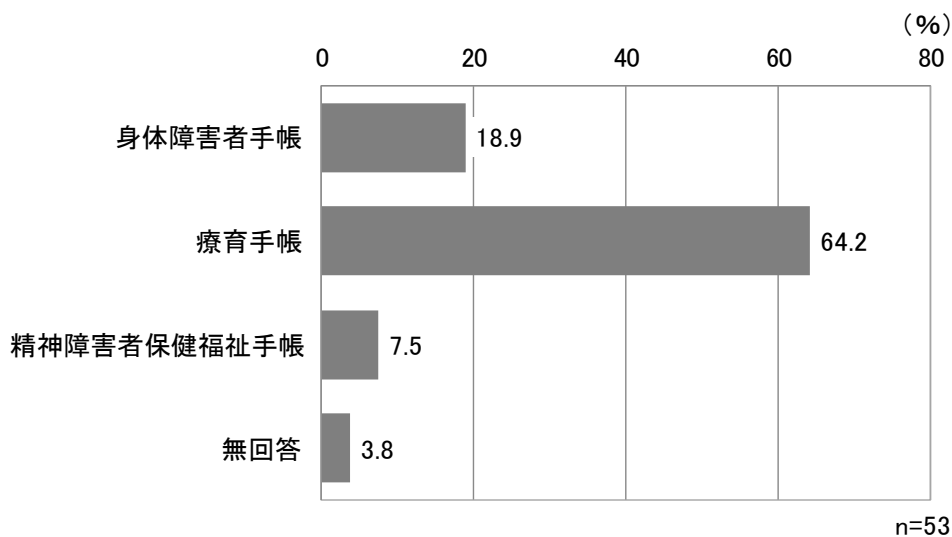


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問3 現在一緒に暮らしている人						
		お父さん、お母さん	おじいさん、おばあさん	兄弟、姉妹	その他の親せき	その他	無回答	
全体	53 100.0	51 96.2	7 13.2	34 64.2	0 0.0	1 1.9	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	14 100.0	0 0.0	8 57.1	0 0.0	1 7.1	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	16 100.0	2 12.5	14 87.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	10 100.0	2 20.0	6 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	8 88.9	2 22.2	6 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	8 80.0	2 20.0	5 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	33 97.1	4 11.8	23 67.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問4 障害者手帳の種類 (MA)

○「療育手帳」が64.2%で最も高く、次いで「身体障害者手帳」が18.9%、「精神障害者保健福祉手帳」が7.5%の順となっています。

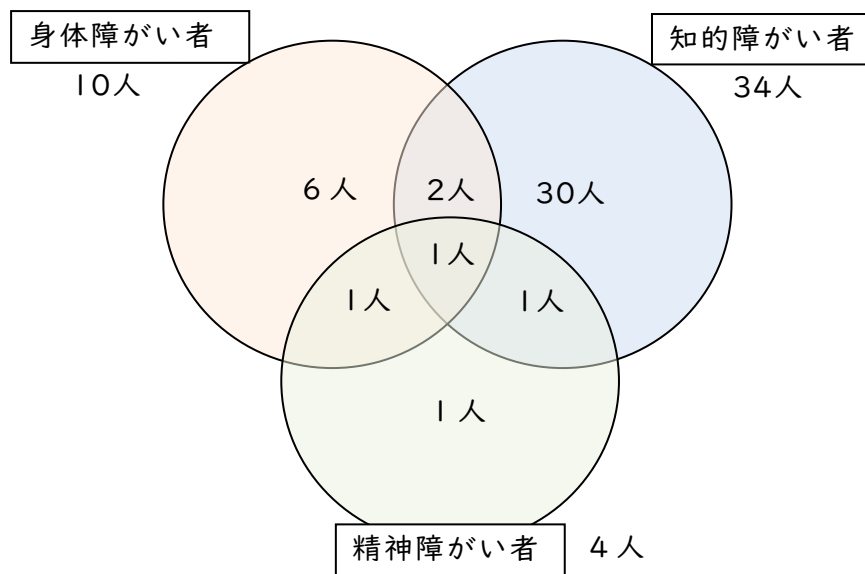
★年齢別にみると、“16歳～18歳”で、「療育手帳」が87.5%と他に比べ割合が高くなっています。



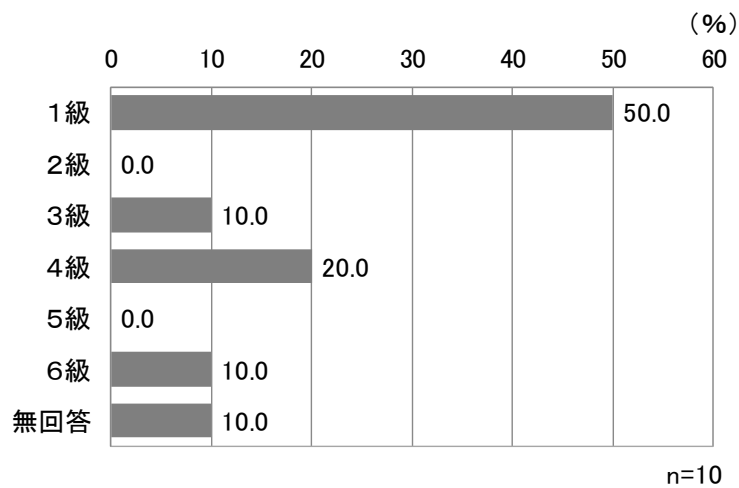
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問4 障害者手帳の種類				
		身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	無回答	
全体	53 100.0	10 18.9	34 64.2	4 7.5	2 3.8	
年齢	0歳～6歳	12 100.0	1 8.3	4 33.3	0 0.0	2 14.3
	7歳～12歳	14 100.0	1 7.1	11 78.6	1 7.1	0 0.0
	13歳～15歳	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0
	16歳～18歳	8 100.0	2 25.0	7 87.5	0 0.0	0 0.0

○こうした状況について、3障がいのみをベン図で示すと次のとおりです。

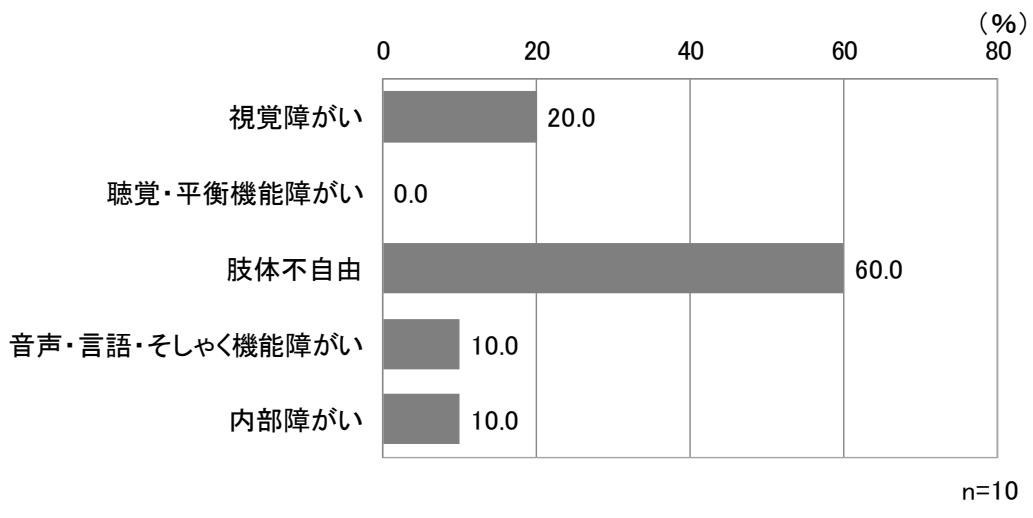
○53人中、障害者手帳を所持していると回答があった42人の内訳は、身体障がい者が10人、知的障がい者が34人、精神障がい者が4人となっています。



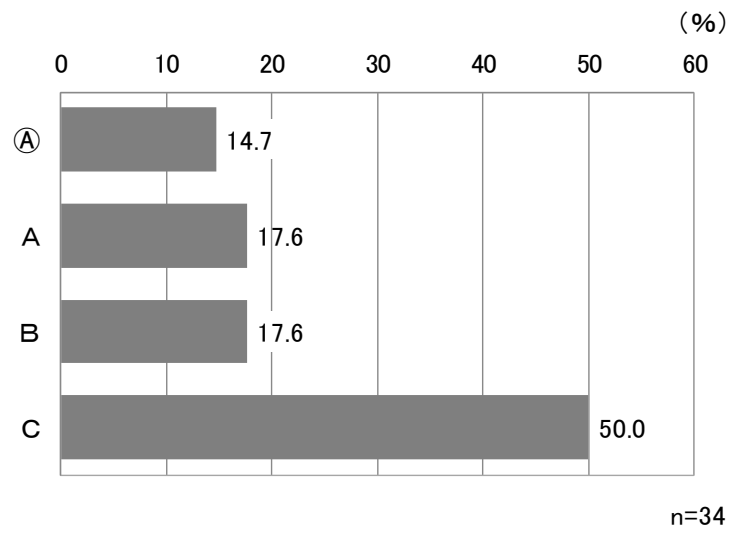
問4 ①身体障害者手帳の等級 (S A)



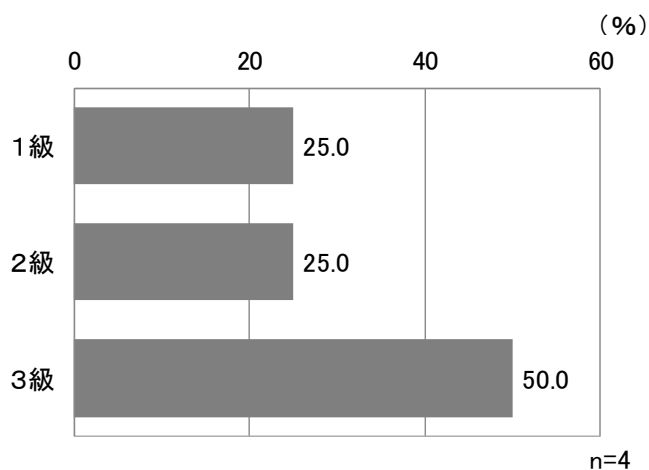
問4 ②身体障がいの種類 (MA)



問4 ③療育手帳の等級 (SA)



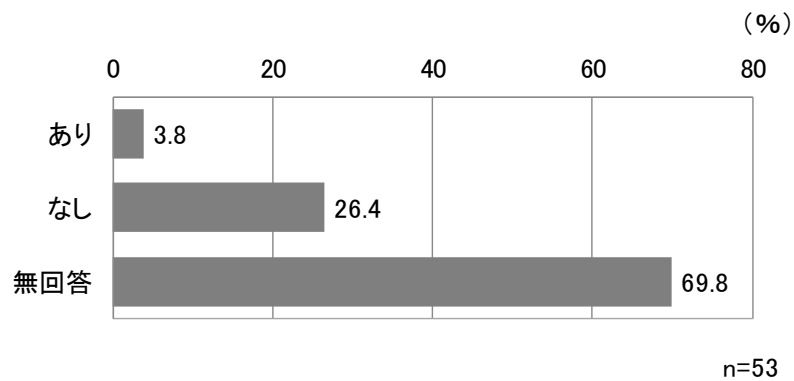
問4 ④精神障害者保健福祉手帳の等級（S A）



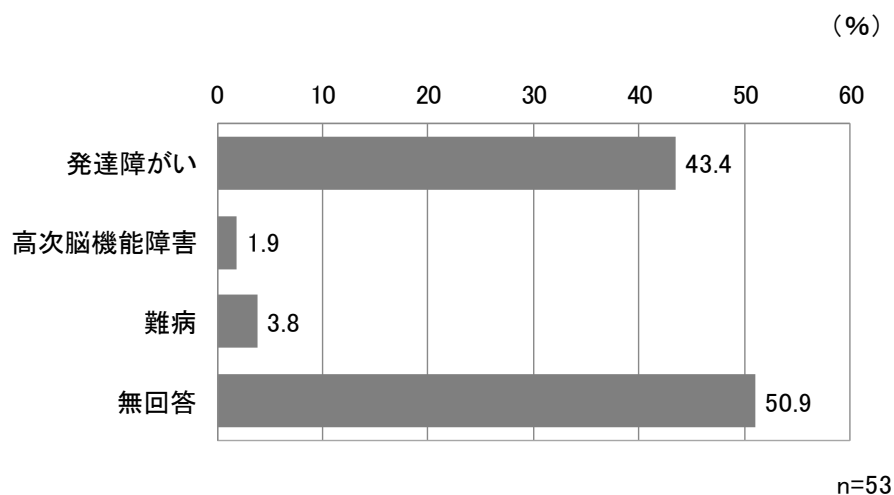
問4 ⑤自立支援医療受給者証（S A）

○53人のうち、回答があった人は14人で、「自立支援医療受給者証」を持っている人はいませんでした。

問4 ⑥小児慢性特定疾病医療受給者証（S A）



問4 ⑦医師から診断を受けているもの（MA）

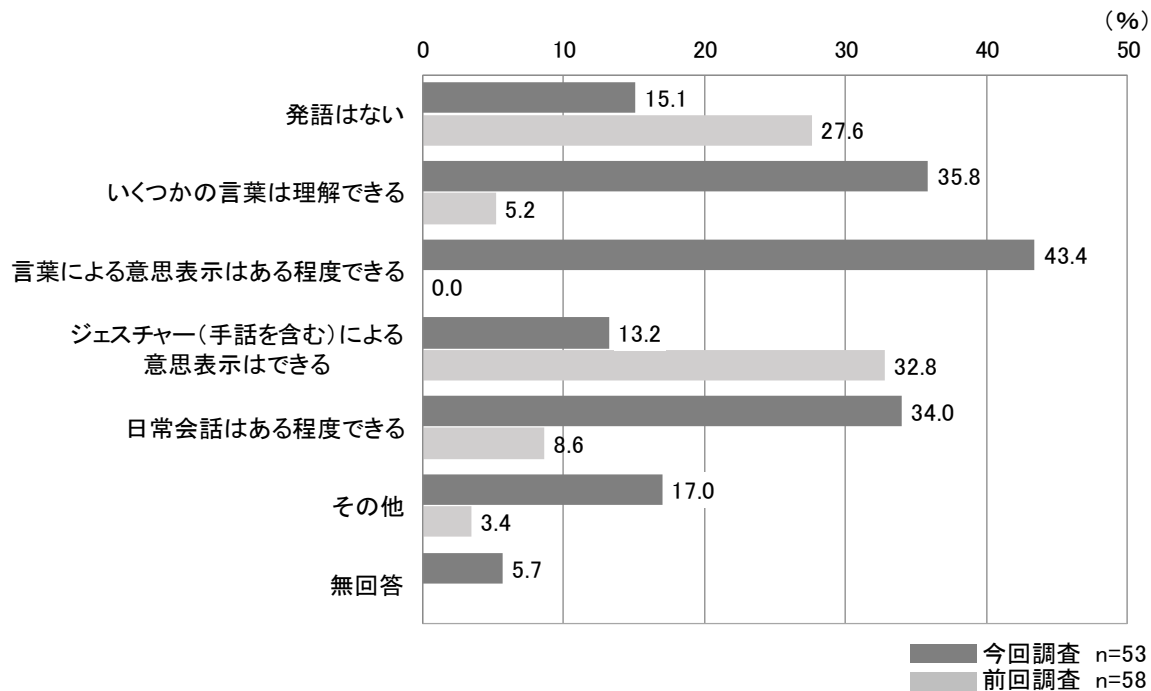


問4 ⑧障害福祉サービス等の障害児支援区分（SA）

○53人のうち、「障害福祉サービス等の障害児支援区分」については2名の回答があり、2名とも「区分1」との回答がありました。

問5 コミュニケーション能力の程度（MA）

- 「言葉による意思表示はある程度できる」が43.4%で最も高く、次いで「いくつかの言葉は理解できる」が35.8%、「日常会話はある程度できる」が34.0%の順となっています。
- 前回調査に比べ、「日常会話はある程度できる」が25.4ポイント上昇し、「発語はない」が12.5ポイント低下、「ジェスチャー（手話を含む）による意思表示はできる」が19.6ポイント低下しました。
- ★年齢別にみると、“0歳～6歳”“16歳～18歳”で「いくつかの言葉は理解できる」の割合が過半数を占めて最も高くなっています。障がいの種類別にみると、身体障がい”では「発語はない」、”精神障がい”では「日常会話はある程度できる」が最も高くなっています。



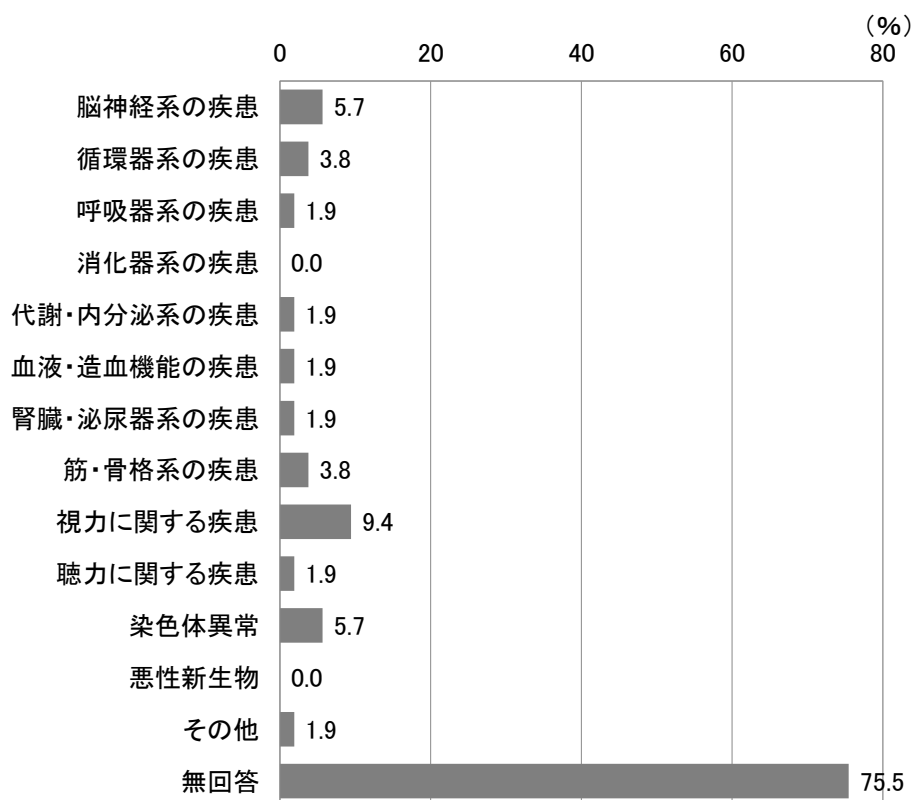
その他
・やり取りに時間はかかるが会話できる 等

上段:人 下段:%	合計	問5 コミュニケーション能力の程度						無回答
		発語はない	いくつかの言葉は理解できる	言葉による意思表示はある程度できる	ジェスチャー(手話を含む)による意思表示はできる	日常会話はある程度できる	その他	
全体	53 100.0	8 15.1	19 35.8	23 43.4	7 13.2	18 34.0	9 17.0	3 5.7
年齢	0歳～6歳	14 100.0	3 21.4	8 57.1	6 42.9	2 14.3	3 21.4	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	1 6.3	3 18.8	6 37.5	1 6.3	7 43.8	1 6.3
	13歳～15歳	10 100.0	1 10.0	1 10.0	5 50.0	0 0.0	5 50.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	3 33.3	6 66.7	4 44.4	3 33.3	1 11.1	1 11.1
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	4 40.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	3 30.0
	知的障がい	34 100.0	5 14.7	14 41.2	18 52.9	6 17.6	14 41.2	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	3 75.0	1 25.0

問6 お子さんの疾患の状況 (MA)

○「視力に関する疾患」が9.4%で最も高く、次いで「脳神経系の疾患」と「染色体異常」がともに5.7%の順となっています。

★「視力に関する疾患」について、年齢別では“7歳～12歳”が18.8%で高く、障がいの種類別にみると“知的障がい”が11.8%で高くなっています。



n=53

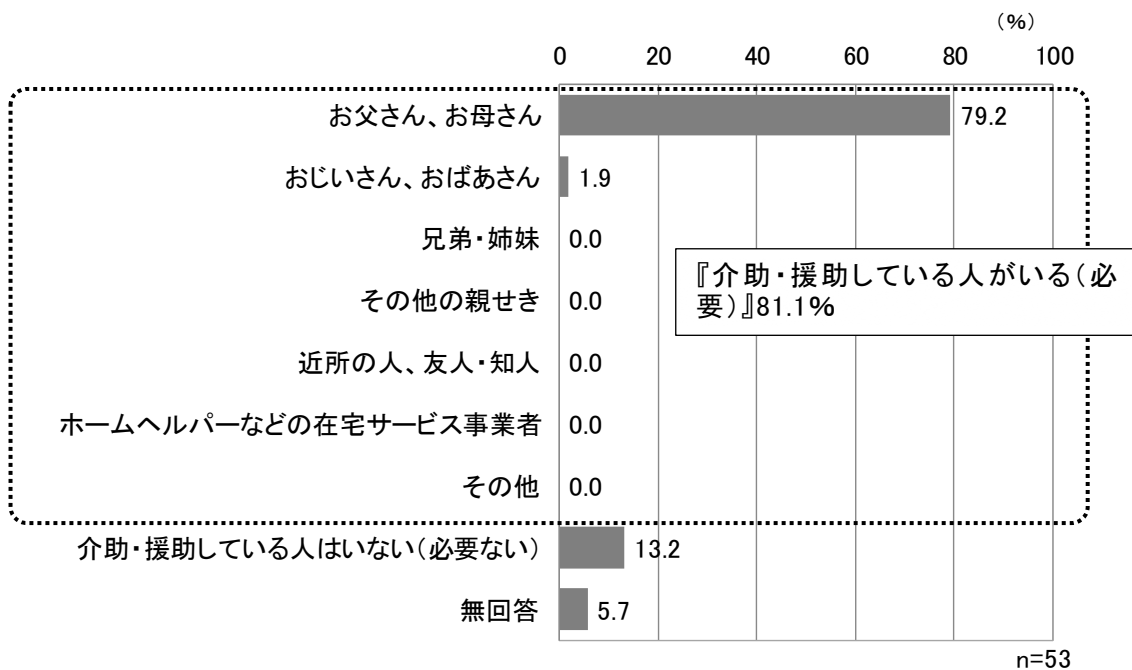
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問6 お子さんの疾患の状況							
		脳神経系 の疾患	循環器系 の疾患	呼吸器系 の疾患	消化器系 の疾患	代謝・内 分泌系 の疾患	血液・造 血機能 の疾患	腎臓・泌 尿器系 の疾患	
全体	53 100.0	3 5.7	2 3.8	1 1.9	0 0.0	1 1.9	1 1.9	1 1.9	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	1 6.3	1 6.3	0 0.0	0 0.0	1 6.3	0 0.0	1 6.3
	13歳～15歳	10 100.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障 が い の 種 類	身体障がい	10 100.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	2 5.9	1 2.9	0 0.0	0 0.0	1 2.9	1 2.9	1 2.9
	精神障がい	4 100.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問6 お子さんの疾患の状況							
		筋・骨格 系の疾患	視力に関 する疾患	聴力に関 する疾患	染色体異 常	悪性新生 物	その他	無回答	
全体	53 100.0	2 3.8	5 9.4	1 1.9	3 5.7	0 0.0	1 1.9	40 75.5	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	12 85.7
	7歳～12歳	16 100.0	1 6.3	3 18.8	0 0.0	2 12.5	0 0.0	1 6.3	9 56.3
	13歳～15歳	10 100.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 80.0
	16歳～18歳	9 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 88.9
障 が い の 種 類	身体障がい	10 100.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 50.0
	知的障がい	34 100.0	1 2.9	4 11.8	1 2.9	3 8.8	0 0.0	1 2.9	25 73.5
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0

2 介助について

問7 主な介助・援助者（SA）

- 「介助・援助している人はいない（必要ない）」は13.2%、『介助・援助している人がいる（必要）』は81.1%となっています。
- 主な介助・援助者としては、「お父さん・お母さん」が79.2%で最も高くなっています。
- ★「介助・援助している人はいない（必要ない）」は、年齢別では“7歳～12歳”、障がいの種類別にみると“精神障がい”では、1人もみられません。



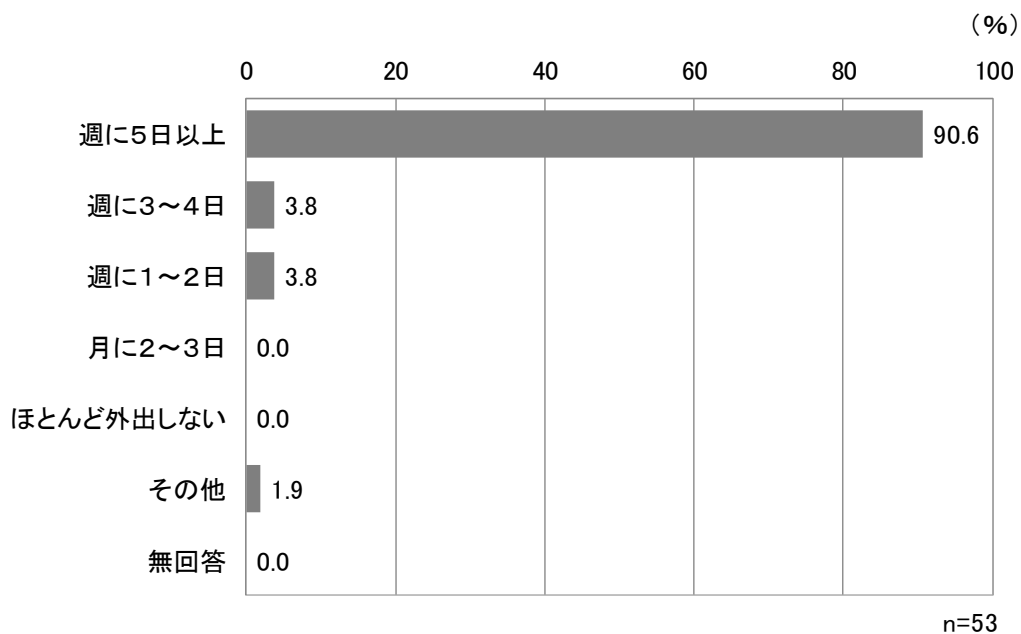
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問7 主な介助・援助者								介助・援助している人はいない(必要ない)	無回答
		お父さん、お母さん	おじいさん、おばあさん	兄弟・姉妹	その他の親せき	近所の人、友人・知人	ホームヘルパーなどの在宅サービス事業者	その他			
全体	53 100.0	42 79.2	1 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 13.2	3 5.7
年齢	0歳～6歳	14 100.0	11 78.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 14.3	1 7.1
	7歳～12歳	16 100.0	14 87.5	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3
	13歳～15歳	10 100.0	8 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	6 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 33.3	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	5 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 30.0	2 20.0
	知的障がい	34 100.0	30 88.2	1 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.9	1 2.9
	精神障がい	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

3 外出について

問8 お子さんの外出の頻度 (SA)

○「週に5日以上」が90.6%で最も高く、次いで「週に3～4日」と「週に1～2日」がともに3.8%となっています。

★「週に5日以上」は、年齢別では“7歳～12歳”、障がいの種類別にみると“身体障がい”で高い割合となっています。

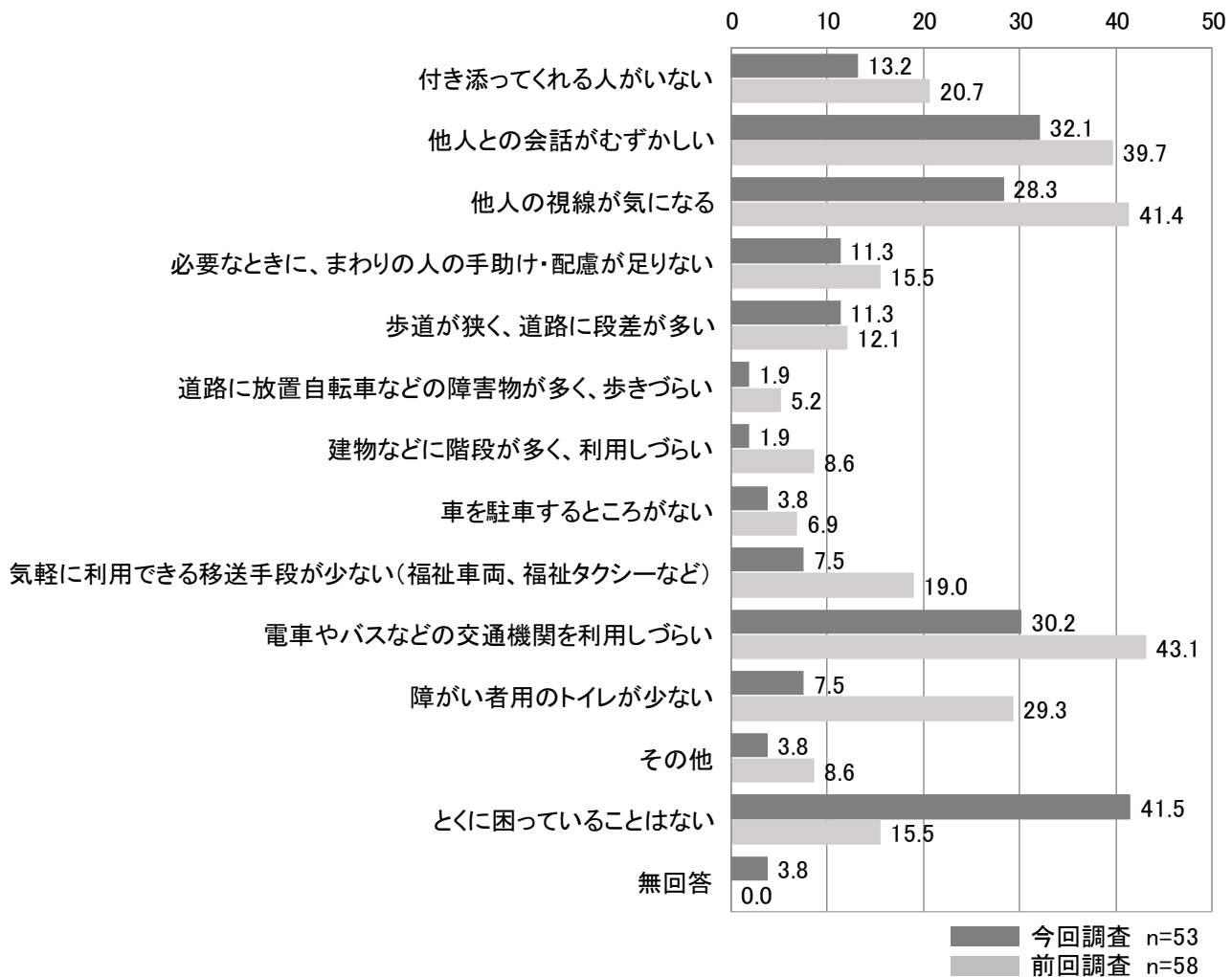


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問8 お子さんの外出の頻度							
		週に5日 以上	週に3～ 4日	週に1～ 2日	月に2～ 3日	ほとんど 外出しない	その他	無回答	
全体	53 100.0	48 90.6	2 3.8	2 3.8	0 0.0	0 0.0	1 1.9	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	13 92.9	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	13歳～15歳	10 100.0	8 80.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	7 77.8	0 0.0	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	31 91.2	0 0.0	2 5.9	0 0.0	0 0.0	1 2.9	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問9 お子さんが外出の際に困っていること（MA）

- 「とくに困っていることはない」が41.5%で最も高くなっています。
- 何らかの困っていることをあげている人は、54.7%となっており、「他人との会話がむずかしい」が32.1%、「電車やバスなどの交通機関を利用しづらい」が30.2%、「他人の視線が気になる」が28.3%の順となっています。
- 「とくに困っていることはない」は、前回調査に比べ、26.0ポイント上昇しました。
- ★「他人との会話がむずかしい」について年齢別にみると“0歳～6歳”と“7歳～12歳”、障がいの種類別にみると“知的障がい”でそれぞれ割合が高くなっています。

(%)



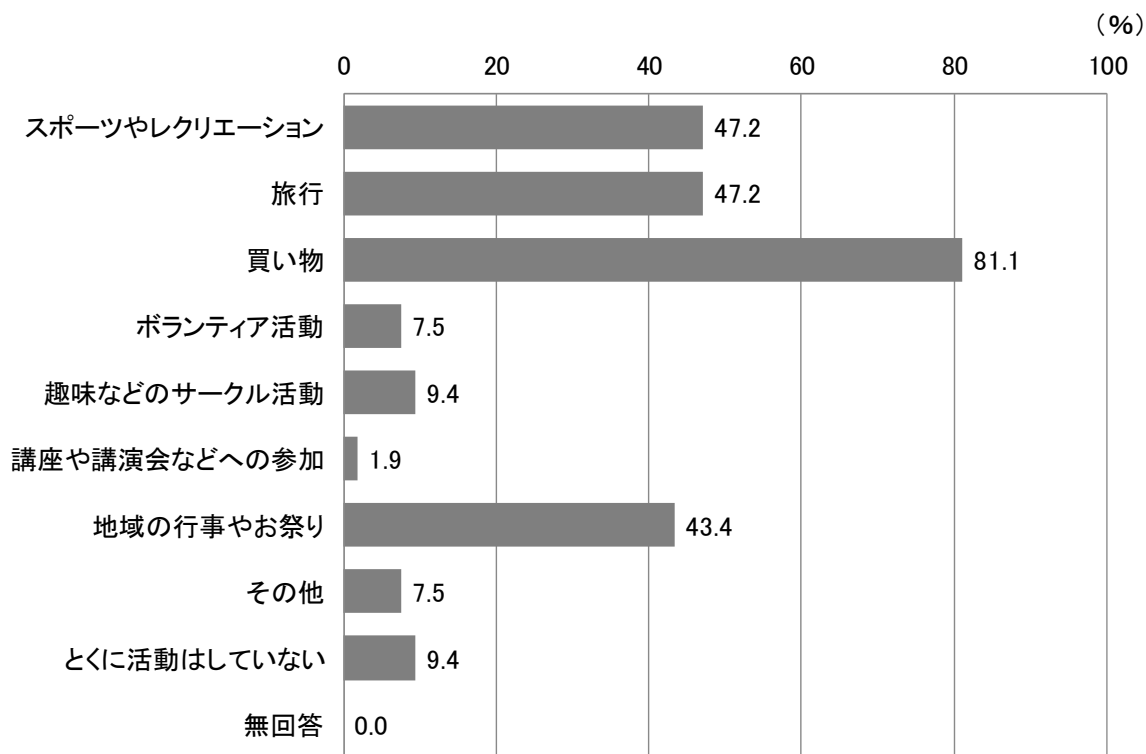
その他
 ・ガードレールがない
 ・不安感から一人で外に出られない

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問9 お子さんが外出の際に困っていること							
		付き添ってくれる人がいない	他人との会話がむずかしい	他人の視線が気になる	必要ときに、まわりの人の手助け・配慮が足りない	歩道が狭く、道路に段差が多い	道路に放置自転車などの障害物が多く、歩きづらい	建物などに階段が多く、利用しづらい	
全体	53 100.0	7 13.2	17 32.1	15 28.3	6 11.3	6 11.3	1 1.9	1 1.9	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	0 0.0	5 35.7	3 21.4	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	0 0.0	6 37.5	4 25.0	0 0.0	2 12.5	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	2 20.0	1 10.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0
	16歳～18歳	9 100.0	4 44.4	4 44.4	4 44.4	3 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	1 10.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0
	知的障がい	34 100.0	6 17.6	15 44.1	13 38.2	6 17.6	3 8.8	0 0.0	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問9 お子さんが外出の際に困っていること							
		車を駐車するところがない	気軽に利用できる移送手段が少ない(福祉車両、福祉タクシーなど)	電車やバスなどの交通機関を利用しづらい	障がい者の用のトイレが少ない	その他	とくに困っていることはない	無回答	
全体	53 100.0	2 3.8	4 7.5	16 30.2	4 7.5	2 3.8	22 41.5	2 3.8	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	2 14.3	1 7.1	2 14.3	1 7.1	0 0.0	5 35.7	1 7.1
	7歳～12歳	16 100.0	0 0.0	0 0.0	6 37.5	1 6.3	2 12.5	6 37.5	1 6.3
	13歳～15歳	10 100.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	6 60.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	0 0.0	1 11.1	5 55.6	1 11.1	0 0.0	4 44.4	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0	4 40.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	1 2.9	2 5.9	15 44.1	3 8.8	1 2.9	13 38.2	1 2.9
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0

問10 お子さんが1年間に行った活動（MA）

- 「とくに活動はしていない」は9.4%となっています。
- 行った活動としては、「買い物」が81.1%で最も高く、次いで「スポーツやレクリエーション」と「旅行」がともに47.2%の順となっています。
- ★「とくに活動はしていない」は年齢別にみると“0歳～6歳”“7歳～12歳”、障がいの種類別にみると“身体障がい”“精神障がい”では1人もみられません。



n=53

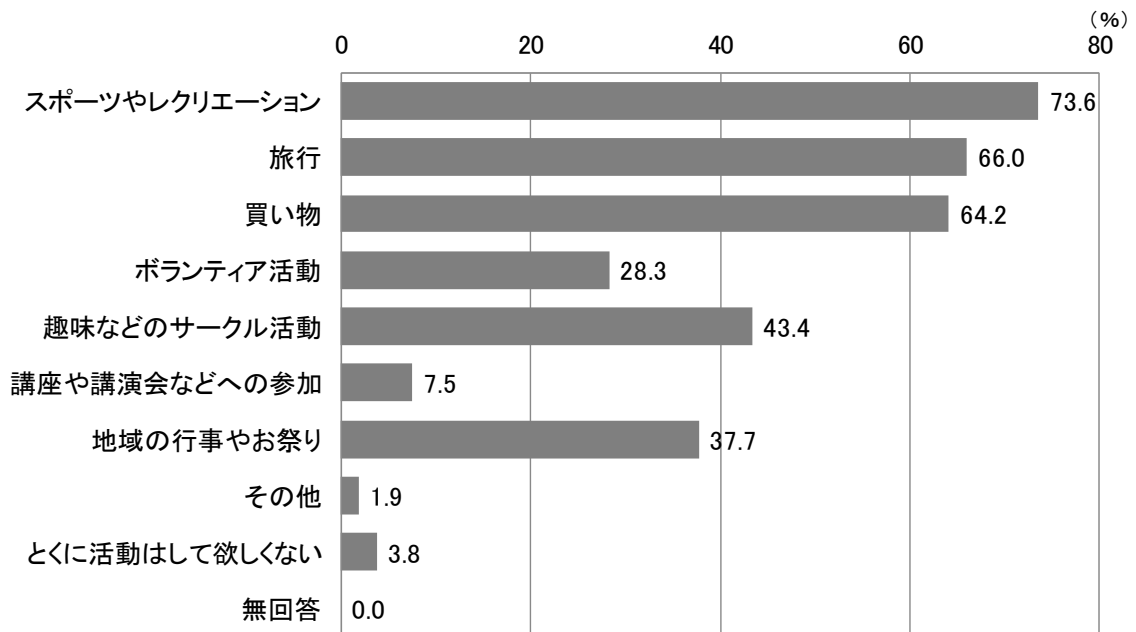
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問10 お子さんが1年間に行った活動										
		スポーツやレクリエーション	旅行	買い物	ボランティア活動	趣味などのサークル活動	講座や講演会などへの参加	地域の行事やお祭り	その他	とくに活動はしていない	無回答	
全体	53 100.0	25 47.2	25 47.2	43 81.1	4 7.5	5 9.4	1 1.9	23 43.4	4 7.5	5 9.4	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	6 42.9	7 50.0	11 78.6	0 0.0	1 7.1	0 0.0	9 64.3	3 21.4	0 0.0	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	8 50.0	10 62.5	16 100.0	0 0.0	1 6.3	1 6.3	8 50.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	5 50.0	5 50.0	7 70.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0	4 40.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	4 44.4	3 33.3	7 77.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0	2 22.2	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	5 50.0	4 40.0	10 100.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	16 47.1	13 38.2	25 73.5	3 8.8	2 5.9	2 5.9	14 41.2	2 5.9	5 14.7	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	2 50.0	3 75.0	4 100.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問11 これからお子さんにしたい活動（MA）

○「とくに活動はして欲しくない」は3.8%となっています。

○して欲しい活動としては、「スポーツやレクリエーション」が73.6%で最も高く、次いで「旅行」が66.0%、「買い物」が64.2%の順となっています。

★年齢別にみると“0歳～6歳”は「旅行」と「スポーツやレクリエーション」が同率で最も高く“16歳～18歳”では「旅行」と「買い物」が最も高くなっています。障がいの種類別にみると“身体障がい”“精神障がい”では「買い物」がそれぞれ最も高くなっています。



n=53

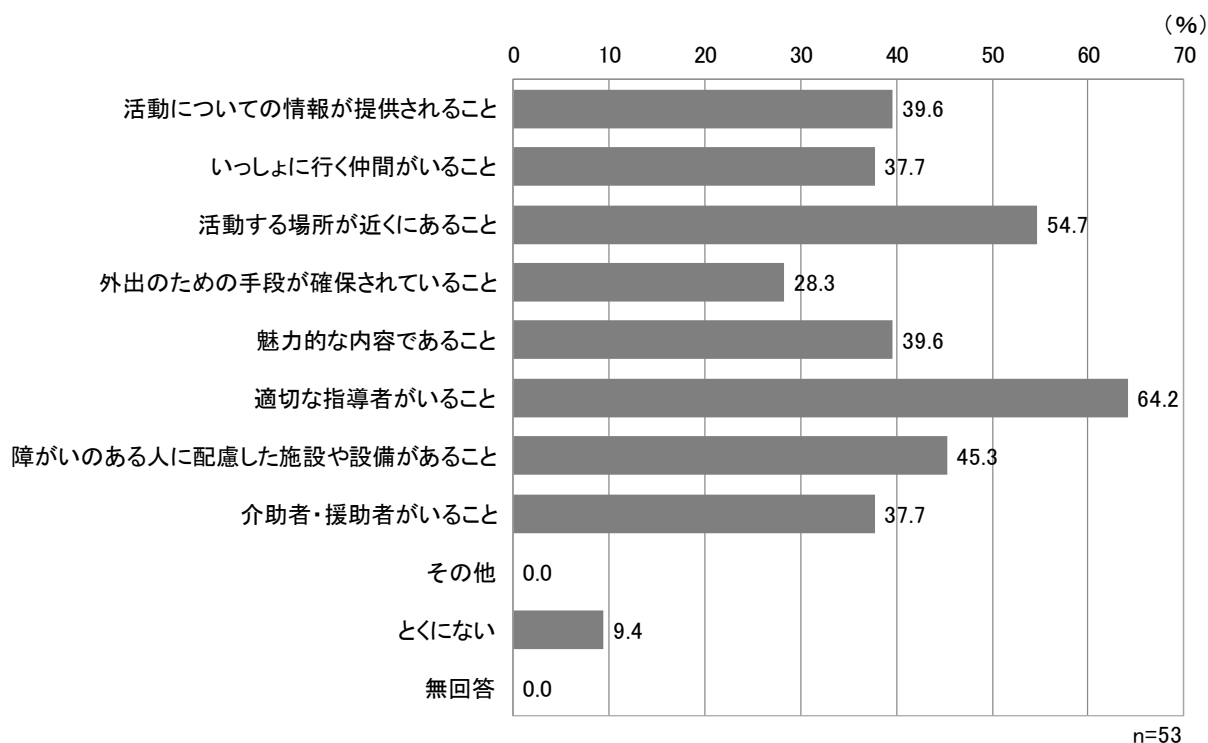
その他
・ 習い事

上段:人 下段:%	合計	問11 これからお子さんにしたい活動									
		スポーツやレクリエーション	旅行	買い物	ボランティア活動	趣味などのサークル活動	講座や講演会などへの参加	地域の行事やお祭り	その他	とくに活動はして欲しくない	無回答
全体	53 100.0	39 73.6	35 66.0	34 64.2	15 28.3	23 43.4	4 7.5	20 37.7	1 1.9	2 3.8	0 0.0
年齢	0歳～6歳	14 100.0	10 71.4	10 71.4	8 57.1	0 0.0	4 28.6	1 7.1	7 50.0	0 0.0	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	14 87.5	13 81.3	11 68.8	5 31.3	7 43.8	1 6.3	6 37.5	1 6.3	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	8 80.0	6 60.0	6 60.0	5 50.0	5 50.0	1 10.0	3 30.0	0 0.0	1 10.0
	16歳～18歳	9 100.0	5 55.6	6 66.7	6 66.7	4 44.4	4 44.4	1 11.1	4 44.4	0 0.0	1 11.1
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	6 60.0	6 60.0	7 70.0	3 30.0	4 40.0	3 30.0	3 30.0	0 0.0	1 10.0
	知的障がい	34 100.0	25 73.5	22 64.7	21 61.8	10 29.4	14 41.2	2 5.9	15 44.1	1 2.9	2 5.9
	精神障がい	4 100.0	3 75.0	3 75.0	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0

問12 活動に必要な条件（MA）

○「適切な指導者がいること」が64.2%で最も高く、次いで「活動する場所が近くにあること」が54.7%、「障がいのある人に配慮した施設や設備があること」が45.3%の順となっています。

★「適切な指導者がいること」は、年齢別にみるとすべての年齢で高く、障がいの種類別にみると、“知的障がい”“精神障がい”で高くなっています。また、“身体障がい”では「障がいのある人に配慮した施設や設備があること」が最も高くなっています。



〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問12 活動に必要な条件						
		活動につ いての情 報が提供 されるこ と	いっしょ に行く仲 間がある こと	活動する 場所が近 くにある こと	外出のた めの手段 が確保さ れている こと	魅力的な 内容であ ること	適切な指 導者がい ること	
全体	53 100.0	21 39.6	20 37.7	29 54.7	15 28.3	21 39.6	34 64.2	
年 齢	0歳～6歳	14 100.0	7 50.0	2 14.3	7 50.0	2 14.3	5 35.7	10 71.4
	7歳～12歳	16 100.0	8 50.0	7 43.8	11 68.8	5 31.3	11 68.8	11 68.8
	13歳～15歳	10 100.0	2 20.0	4 40.0	4 40.0	2 20.0	2 20.0	4 40.0
	16歳～18歳	9 100.0	3 33.3	5 55.6	5 55.6	5 55.6	3 33.3	5 55.6
障 が い の 種 類	身体障がい	10 100.0	5 50.0	5 50.0	5 50.0	5 50.0	2 20.0	5 50.0
	知的障がい	34 100.0	14 41.2	13 38.2	17 50.0	11 32.4	15 44.1	21 61.8
	精神障がい	4 100.0	2 50.0	3 75.0	4 100.0	1 25.0	1 25.0	4 100.0

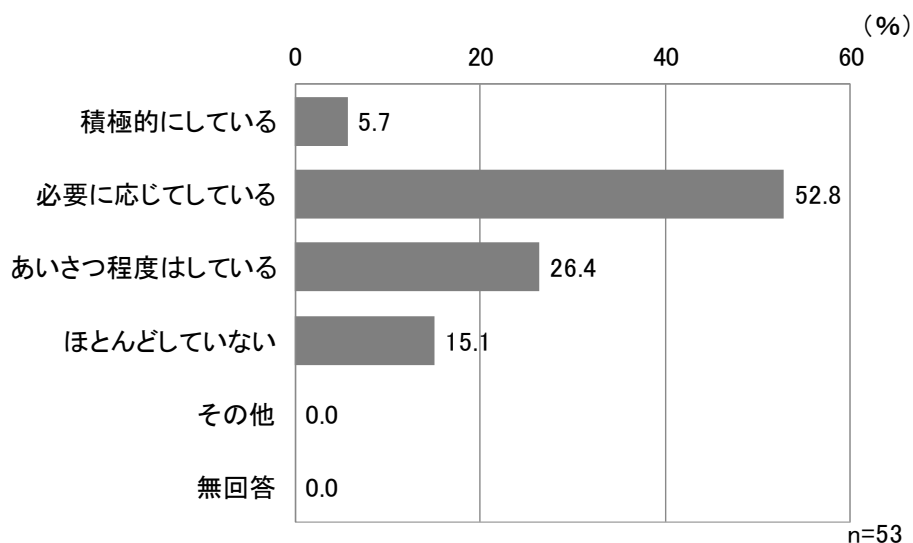
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問12 活動に必要な条件					
		障がいの ある人に 配慮した 施設や設 備がある こと	介助者・ 援助者が いること	その他	とくにな い	無回答	
全体	53 100.0	24 45.3	20 37.7	0 0.0	5 9.4	0 0.0	
年 齢	0歳～6歳	14 100.0	7 50.0	3 21.4	0 0.0	1 7.1	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	6 37.5	7 43.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	4 40.0	3 30.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	5 55.6	5 55.6	0 0.0	2 22.2	0 0.0
障 が い の 種 類	身体障がい	10 100.0	6 60.0	3 30.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	15 44.1	17 50.0	0 0.0	3 8.8	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

4 地域での生活について

問13 近所づきあいの状況（SA）

○「必要に応じてしている」が52.8%で最も高く、次いで「あいさつ程度はしている」が26.4%、「ほとんどしていない」が15.1%の順となっています。

★「ほとんどしていない」は、年齢別にみると“16歳～18歳”で割合が高く、障がいの種類別にみると“知的障がい”で高くなっています。

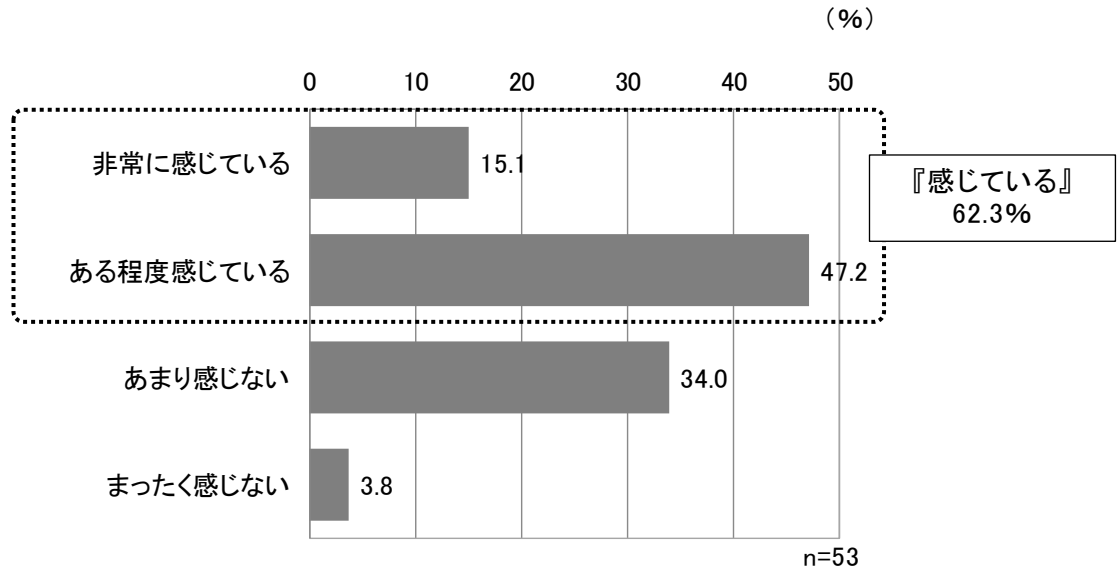


上段:人 下段:%	合計	問13 近所づきあいの状況						
		積極的に している	必要に 応じて している	あいさつ 程度は してい る	ほとん どし てい ない	その他	無回答	
全体	53 100.0	3 5.7	28 52.8	14 26.4	8 15.1	0 0.0	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	0 0.0	7 50.0	5 35.7	2 14.3	0 0.0	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	2 12.5	7 43.8	4 25.0	3 18.8	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	1 10.0	7 70.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	0 0.0	5 55.6	2 22.2	2 22.2	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	0 0.0	9 90.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	3 8.8	15 44.1	10 29.4	6 17.6	0 0.0	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問14 地域の人や社会に支えられていると感じるか（SA）

○「ある程度感じている」が47.2%で最も高く、「非常に感じている」の15.1%と合わせた『感じている』は62.3%となっています。

★『感じている』については、年齢別では“0歳～6歳”及び“13歳～15歳”、“身体障がい”及び“精神障がい”で70%を超えています。

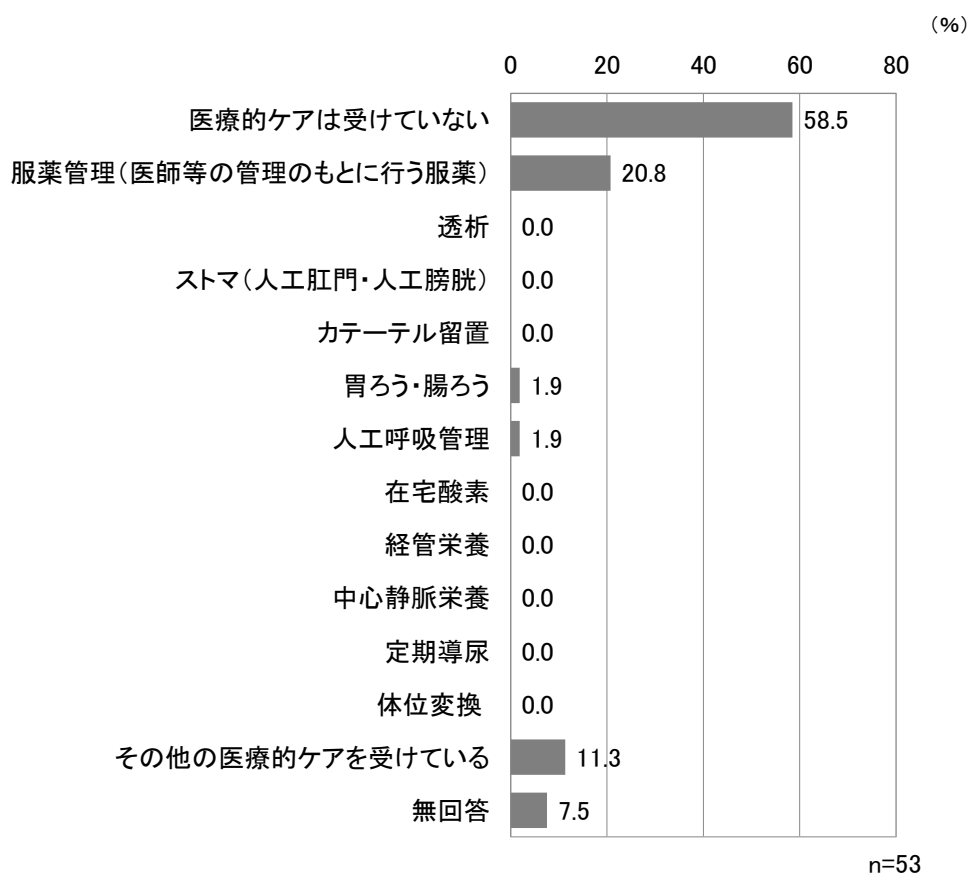


上段:人 下段:%	合計	問14 地域の人や社会に支えられていると感じるか				無回答	
		非常に感じている	ある程度感じている	あまり感じない	まったく感じない		
全体	53 100.0	8 15.1	25 47.2	18 34.0	2 3.8	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	2 14.3	9 64.3	3 21.4	0 0.0	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	4 25.0	5 31.3	7 43.8	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	2 20.0	5 50.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	0 0.0	4 44.4	4 44.4	1 11.1	0 0.0
	障がいの種類	身体障がい	10 100.0	3 30.0	5 50.0	1 10.0	1 10.0
	知的障がい	34 100.0	5 14.7	15 44.1	13 38.2	1 2.9	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0

5 医療や健康管理について

問15 お子さんが受けている医療的ケアの状況（MA）

- 「医療的ケアは受けていない」が58.5%となっています。
- 受けている医療ケアは、「服薬管理（医師等の管理のもとに行う服薬）」が20.8%、「胃ろう・腸ろう」と「人工呼吸管理」が1.9%となっています。
- ★年齢別にみると、“16歳～18歳”では「服薬管理（医師等の管理のもとに行う服薬）」が66.7%で最も高くなっています。



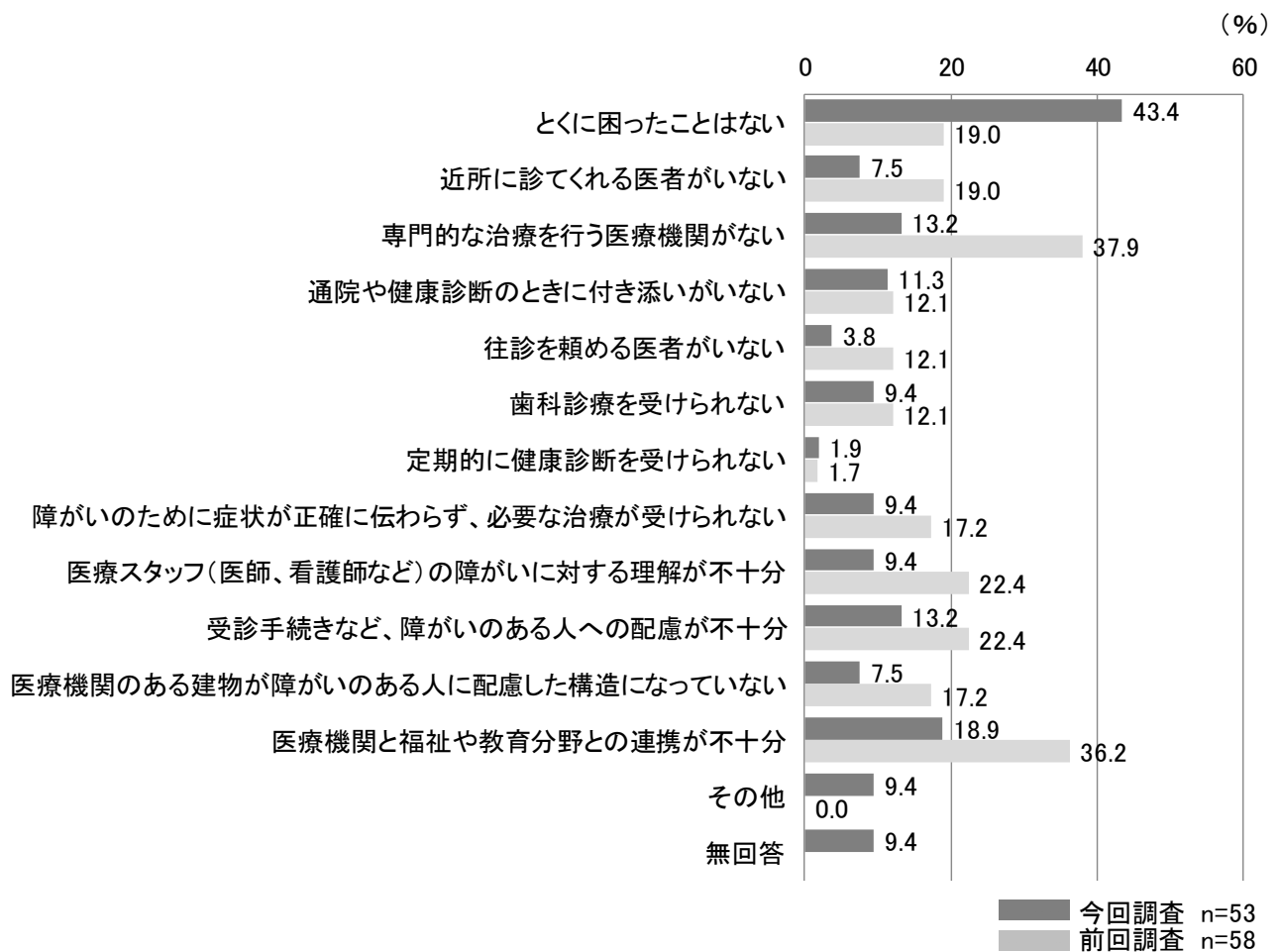
その他
 ・OT（作業療法）
 ・ST（言語聴覚療法）等

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問15 お子さんが受けている医療的ケアの状況							
		医療的ケアは受けていない	服薬管理 (医師等の管理のもとに行う服薬)	透析	ストマ (人工肛門・人工膀胱)	カテーテル留置	胃ろう・腸ろう	人工呼吸管理	
全体	53 100.0	31 58.5	11 20.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9	1 1.9	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	8 57.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	12 75.0	2 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	7 70.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0
	16歳～18歳	9 100.0	2 22.2	6 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	5 50.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0
	知的障がい	34 100.0	19 55.9	9 26.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問15 お子さんが受けている医療的ケアの状況							
		在宅酸素	経管栄養	中心静脈 栄養	定期導尿	体位変換	その他の医療的ケアを受けている	無回答	
全体	53 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 11.3	4 7.5	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 28.6	1 7.1
	7歳～12歳	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	1 6.3
	13歳～15歳	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0
	16歳～18歳	9 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0
	知的障がい	34 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 8.8	3 8.8
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0

問16 健康管理や医療で困ったり不便なこと（MA）

- 「とくに困ったことはない」が43.4%で最も高くなっています。
- 困ったり不便なこととしては、「医療機関と福祉や教育分野との連携が不十分」が18.9%、「専門的な治療を行う医療機関がない」と「受診手続きなど、障がいのある人への配慮が不十分」が13.2%となっています。
- 「とくに困ったことはない」は、前回調査に比べ24.4ポイント、「定期的に健康診断を受けられない」が0.2ポイント上昇し、その他の項目はすべて低下しています。
- ★年齢別にみると、“16歳～18歳”では「近所に診てくれる医者がない」と「通院や健康診断のときに付き添いがいない」が最も高くなっています。



その他

- ・暴れて嫌がるので歯科に連れて行き治療するのが大変、市内には発達障がいに詳しい医師がほとんどいない、遠方まで通わなくてはならない
- ・専門医療機関が少なく患者が集中する為、予約が取れない、東京まで通うのが遠くて困難を感じている
- ・院内の待ち時間が長いとじっとしてられないし、おおきな声を出して白い目で見られる事も多いので落ち着かせたり静かにさせたりするのはとても大変
- ・待合室等の周りの目 等

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問16 健康管理や医療で困ったり不便なこと							
		とくに困ったことはない	近所に診てくれる医者がない	専門的な治療を行う医療機関がない	通院や健康診断のときに付き添いがない	往診を頼める医者がいない	歯科診療を受けられない	定期的に健康診断を受けられない	
全体	53 100.0	23 43.4	4 7.5	7 13.2	6 11.3	2 3.8	5 9.4	1 1.9	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	5 35.7	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	8 50.0	0 0.0	3 18.8	1 6.3	0 0.0	2 12.5	1 6.3
	13歳～15歳	10 100.0	6 60.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	2 22.2	3 33.3	1 11.1	3 33.3	1 11.1	1 11.1	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	15 44.1	3 8.8	6 17.6	6 17.6	2 5.9	4 11.8	1 2.9
	精神障がい	4 100.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0

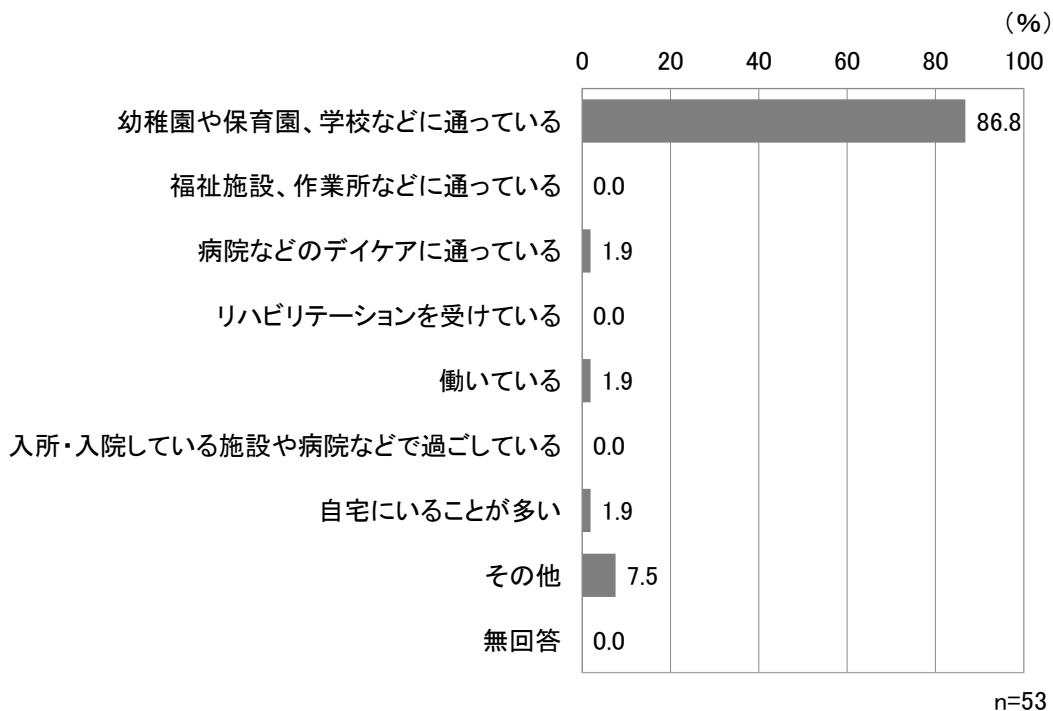
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問16 健康管理や医療で困ったり不便なこと							
		障がいのために症状が正確に伝わらず、必要な治療を受けられない	医療スタッフ（医師、看護師など）の障がいに対する理解が不十分	受診手続きなど、障がいのある人への配慮が不十分	医療機関のある建物が障がいのある人に配慮した構造になっていない	医療機関と福祉や教育分野との連携が不十分	その他	無回答	
全体	53 100.0	5 9.4	5 9.4	7 13.2	4 7.5	10 18.9	5 9.4	5 9.4	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	2 14.3	1 7.1	1 7.1	1 7.1	4 28.6	4 28.6	1 7.1
	7歳～12歳	16 100.0	1 6.3	3 18.8	2 12.5	1 6.3	2 12.5	0 0.0	1 6.3
	13歳～15歳	10 100.0	1 10.0	0 0.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0
	16歳～18歳	9 100.0	1 11.1	1 11.1	2 22.2	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	3 30.0
	知的障がい	34 100.0	5 14.7	5 14.7	6 17.6	4 11.8	7 20.6	3 8.8	1 2.9
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0

6 日中の過ごし方について

問17 お子さんについて平日の日中の主な過ごし方（SA）

○「幼稚園や保育園、学校などに通っている」が86.8%と最も高く、「病院などのデイケアに通っている」、「働いている」、「自宅にることが多い」が1.9%となっています。

★年齢別にみると“16歳～18歳”で「自宅にることが多い」が11.1%で他の年齢と比べ割合が高くなり、障がいの種類別にみると、“知的障がい”では「幼稚園や保育園、学校などに通っている」の割合が94.1%で高くなっています。



その他
 ・児童発達支援センター
 ・週に3日フリースクールに通う 等

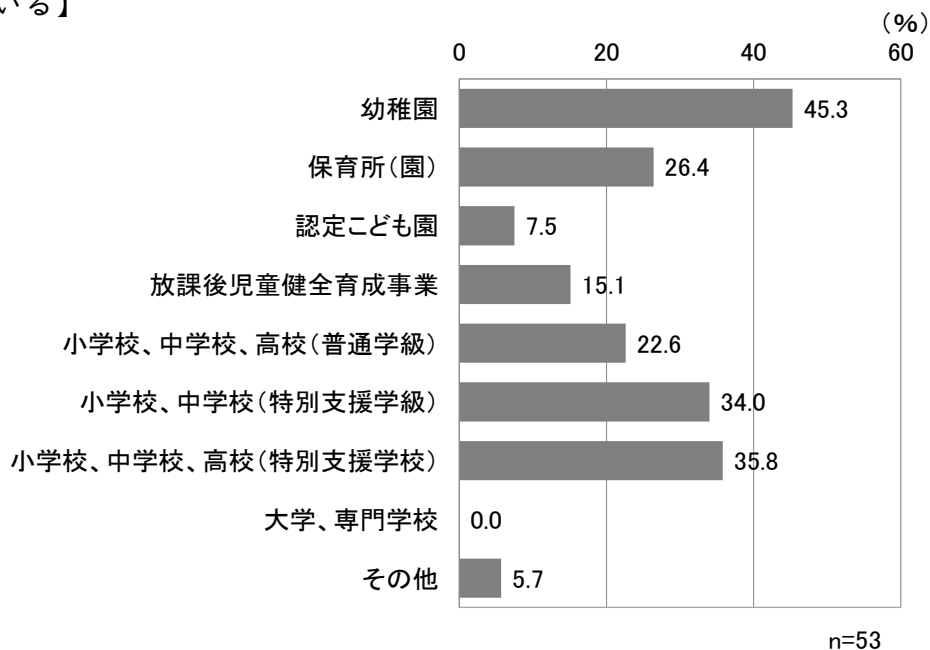
上段:人 下段:%	合計	問17 お子さんについて平日の日中の主な過ごし方								
		幼稚園や 保育園、 学校など に通って いる	福祉施 設、作業 所などに 通って いる	病院など のデイケ アに通っ ている	リハビリ テーショ ンを受け ている	働いて いる	入所・入 院してい る施設や 病院など で過ごし ている	自宅にい ることが 多い	その他	無回答
全体	53 100.0	46 86.8	0 0.0	1 1.9	0 0.0	1 1.9	0 0.0	1 1.9	4 7.5	0 0.0
年齢	0歳～6歳	14 100.0	10 71.4	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 21.4
	7歳～12歳	16 100.0	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	9 90.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0
	16歳～18歳	9 100.0	7 77.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	1 11.1	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	7 70.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0
	知的障がい	34 100.0	32 94.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.9	0 0.0	1 2.9	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0

7 保育施設や教育機関等について

問18 保育施設や教育機関等の利用状況と利用意向

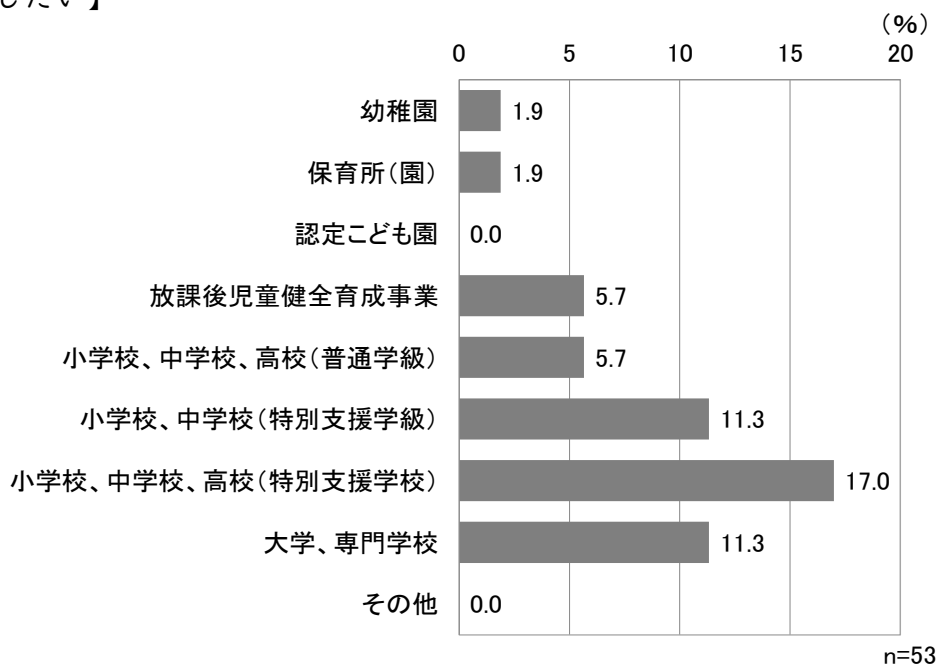
- 「利用したことがある（している）」は、【幼稚園】が最も高く45.3%、次いで【小学校、中学校、高校（特別支援学校）】が35.8%となっています。
- 「今後、利用したい」は、【小学校、中学校、高校（特別支援学校）】が最も高く17.0%、次いで【小学校、中学校（特別支援学級）】と【大学、専門学校】が同率の11.3%で続きます。

【利用している】



その他
・放課後児童デイサービス

【今後利用したい】



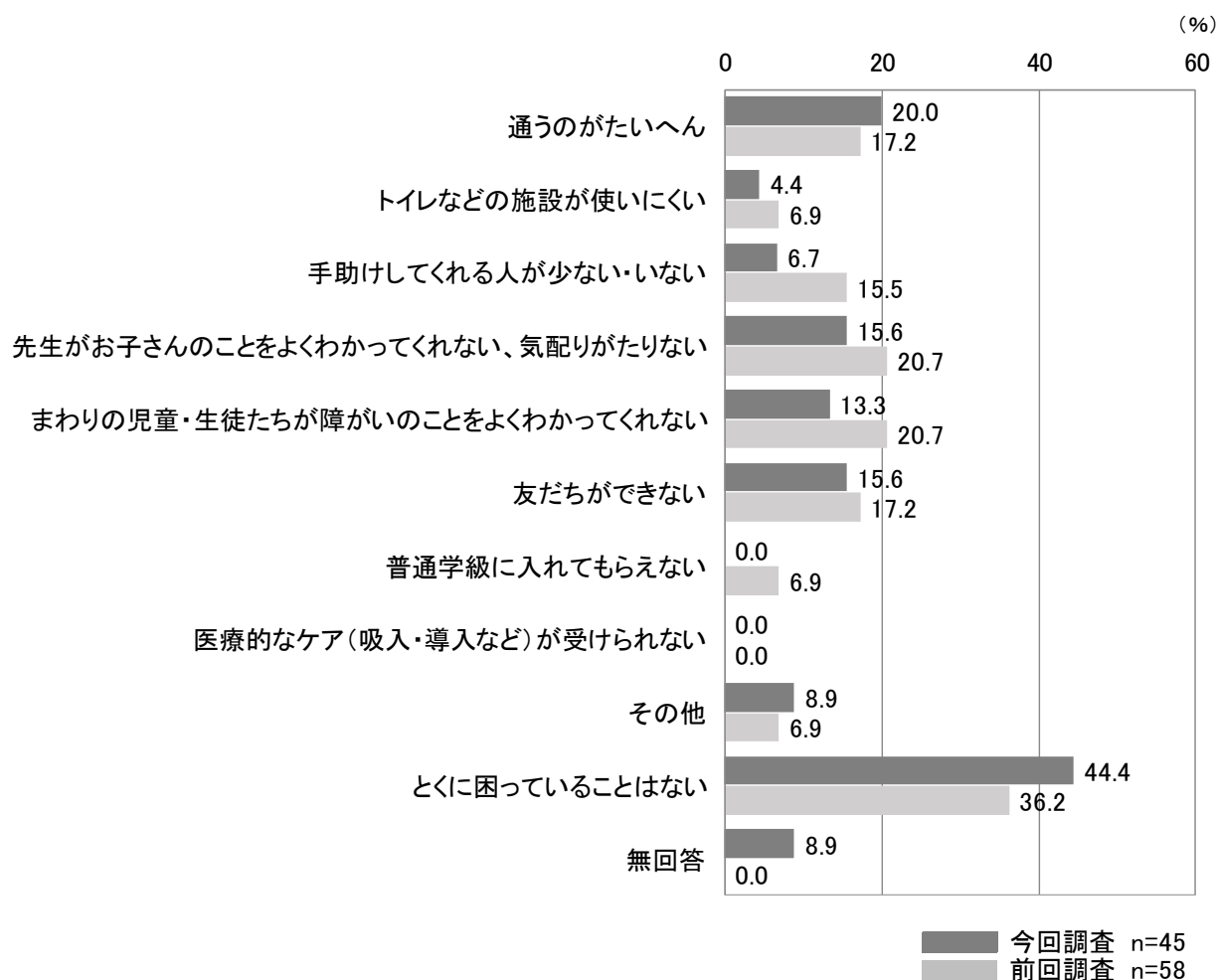
○月当たりの平均利用回数と利用したい回数は、以下のとおりです。

	平均利用 回数／月	利用したい 回数／月
幼稚園	16.0	20.0
保育所（園）	20.0	20.0
認定こども園	25.0	-
放課後児童健全育成事業	18.0	20.0
その他	17.0	-

問19 幼稚園、保育園などに通っていて困ったり不便なこと（MA）

問18で「幼稚園や保育園、学校などに通っている」と回答した人のみ

- 「とくに困っていることはない」が44.4%で最も高くなっています。
- 『困っていることがある』は46.7%で、困ったり不便なことの内容は、「通うのがたいへん」が20.0%、「先生がお子さんのことをよくわかってくれない、気配りがたりない」と「友だちができない」が15.6%となっています。
- 前回調査に比べ「とくに困っていることはない」は8.2ポイント、「通うのがたいへん」が2.8ポイント、「その他」が2.0ポイント上昇し、その他の項目は低下しました。
- ★年齢別にみると、“16歳～18歳”では「先生がお子さんのことをよくわかってくれない、気配りがたりない」が「とくに困っていることはない」と同率の37.5%で最も高く、障がいの種類別にみると“精神障がい”では「通うのがたいへん」が最も高くなっています。



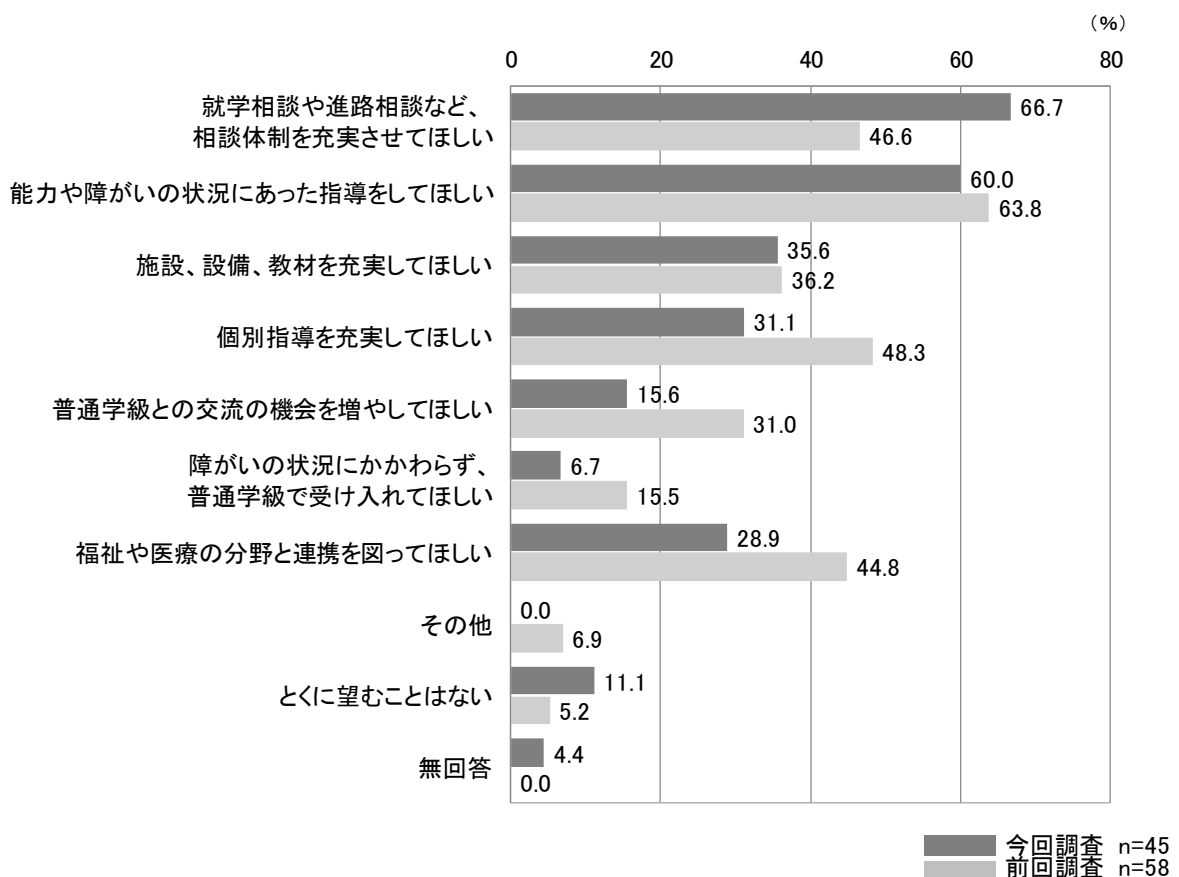
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問19 幼稚園、保育園などに通っていて困ったり不便なこと						
		通うのが たいへん	トイレな どの施設 が使いに くい	手助けし てくれる 人が少な い・いな い	先生がお 子さんの ことをよ くわかっ てくれな い、気配 りがた りない	まわりの 児童・生 徒たちが 障がいの ことをよ くわかっ てくれな い	友だちが できない	
全体	45 100.0	9 20.0	2 4.4	3 6.7	7 15.6	6 13.3	7 15.6	
年齢	0歳～6歳	9 100.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1
	7歳～12歳	16 100.0	5 31.3	0 0.0	1 6.3	0 0.0	1 6.3	1 6.3
	13歳～15歳	8 100.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	2 25.0	2 25.0	2 25.0
	16歳～18歳	8 100.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	2 25.0	1 12.5
障がいの種類	身体障がい	8 100.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
	知的障がい	31 100.0	9 29.0	2 6.5	3 9.7	6 19.4	5 16.1	3 9.7
	精神障がい	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問19 幼稚園、保育園などに通っていて困ったり不便なこと					
		普通学級 に入れて もらえな い	医療的な ケア（吸 入・導入 など）が 受けられ ない	その他	とくに 困ってい ることは ない	無回答	
全体	45 100.0	0 0.0	0 0.0	4 8.9	20 44.4	4 8.9	
年齢	0歳～6歳	9 100.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	5 55.6	2 22.2
	7歳～12歳	16 100.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	8 50.0	1 6.3
	13歳～15歳	8 100.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	3 37.5	1 12.5
	16歳～18歳	8 100.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	3 37.5	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	8 100.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	4 50.0	1 12.5
	知的障がい	31 100.0	0 0.0	0 0.0	1 3.2	13 41.9	2 6.5
	精神障がい	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0

問20 学校教育に望むこと（MA）

問18で「幼稚園や保育園、学校などに通っている」と回答した人のみ

- 「就学相談や進路相談など、相談体制を充実させてほしい」が66.7%で最も高く、次いで「能力や障がいの状況にあった指導をしてほしい」が60.0%、「施設、設備、教材を充実してほしい」が35.6%の順となっています。
- 前回調査に比べ、「就学相談や進路相談など、相談体制を充実させてほしい」については20.1ポイント上昇、「とくに望むことはない」については5.9ポイント上昇しましたが、それ以外の項目は低下しており、「個別指導を充実してほしい」が17.2ポイント低下、「福祉や医療の分野と連携を図ってほしい」が15.9ポイント低下となっています。
- ★ 年齢別にみると“13歳～15歳”“16歳～18歳”では「能力や障がいの状況にあった指導をしてほしい」が最も高く、障がいの種類別にみると“知的障がい”で「能力や障がいの状況にあった指導をしてほしい」が最も高くなっています。



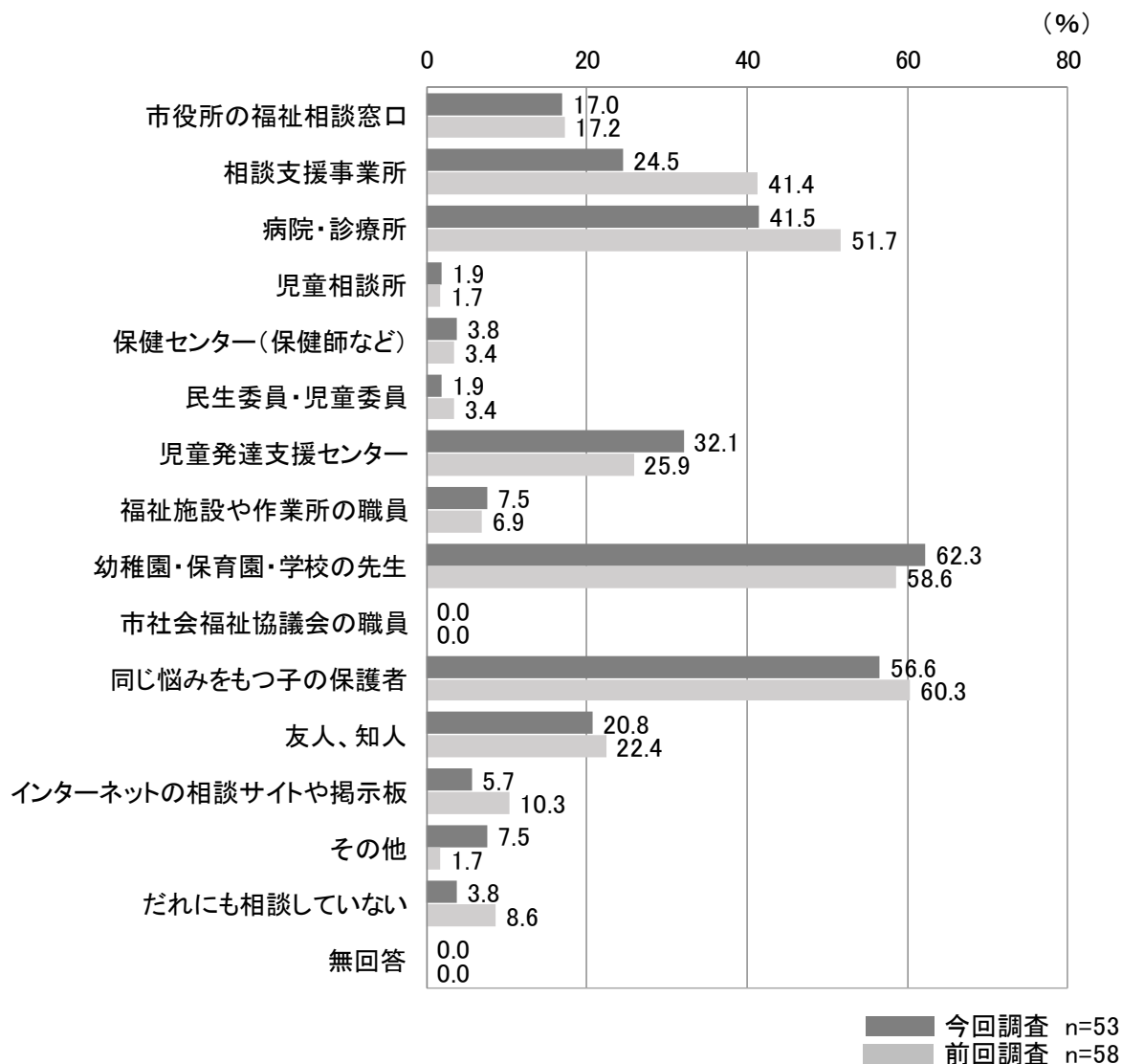
その他
・ 学習障害によるPCの使用を可能にしていきたい

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問20 学校教育に望むこと										
		就学相談 や進路相 談など、 相談体制 を充実さ せてほし い	能力や障 がいの状 況にあっ た指導を してほし い	施設、設 備、教材 を充実し てほしい	個別指導 を充実し てほしい	普通学級 との交流 の機会を 増やして ほしい	障がいの 状況にか かわらず、普通 学級で受 け入れて ほしい	福祉や医 療の分野 と連携を 図ってほ しい	その他	とくに望 むことは ない	無回答	
全体	45 100.0	30 66.7	27 60.0	16 35.6	14 31.1	7 15.6	3 6.7	13 28.9	0 0.0	5 11.1	2 4.4	
年齢	0歳～6歳	9 100.0	7 77.8	5 55.6	2 22.2	3 33.3	2 22.2	1 11.1	2 22.2	0 0.0	0 0.0	2 22.2
	7歳～12歳	16 100.0	14 87.5	10 62.5	8 50.0	5 31.3	2 12.5	1 6.3	4 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	8 100.0	3 37.5	4 50.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	2 25.0	0 0.0	3 37.5	0 0.0
	16歳～18歳	8 100.0	3 37.5	5 62.5	4 50.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	3 37.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	8 100.0	4 50.0	2 25.0	3 37.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	2 25.0	1 12.5
	知的障がい	31 100.0	21 67.7	22 71.0	12 38.7	9 29.0	7 22.6	2 6.5	10 32.3	0 0.0	4 12.9	0 0.0
	精神障がい	3 100.0	3 100.0	2 66.7	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

8 相談や情報の入手について

問21 悩みや心配ごとの相談先（家族・親せき以外）（MA）

- 「幼稚園・保育園・学校の先生」が62.3%で最も高く、次いで「同じ悩みをもつ子の保護者」が56.6%、「病院・診療所」が41.5%の順となっています。
- 前回調査に比べ『相談先がある』は4.8ポイント上昇しました。
- 前回調査に比べ、大きく上昇したものは「児童発達センター」が6.2ポイント、「その他」が5.8ポイント、「幼稚園・保育園・学校の先生」が3.7ポイントの上昇、大きく低下したものは、「相談支援事業所」が16.9ポイント、「病院・診療所」が10.2ポイントの低下となっています。
- ★年齢別にみると、“0歳～6歳”では「児童発達支援センター」が最も高く、障がいの種類別にみると“身体障がい”では「同じ悩みをもつ子の保護者」の割合が最も高くなっています。



その他
 ・療育の先生方
 ・児童発達支援スクール、市の就学相談窓口

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問21 悩みや心配ごとの相談先 (家族・親せき以外)								
		市役所の 福祉相談 窓口	相談支援 事業所	病院・診 療所	児童相談 所	保健セン ター (保 健師な ど)	民生委 員・児童 委員	児童発達 支援セン ター	福祉施設 や作業所 の職員	
全体	53 100.0	9 17.0	13 24.5	22 41.5	1 1.9	2 3.8	1 1.9	17 32.1	4 7.5	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	0 0.0	2 14.3	6 42.9	0 0.0	1 7.1	1 7.1	13 92.9	1 7.1
	7歳～12歳	16 100.0	3 18.8	4 25.0	5 31.3	1 6.3	0 0.0	0 0.0	3 18.8	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	3 30.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0
	16歳～18歳	9 100.0	3 33.3	4 44.4	6 66.7	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	2 22.2
障 が い の 種 類	身体障がい	10 100.0	1 10.0	1 10.0	5 50.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	9 26.5	10 29.4	14 41.2	1 2.9	2 5.9	1 2.9	7 20.6	3 8.8
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	1 25.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

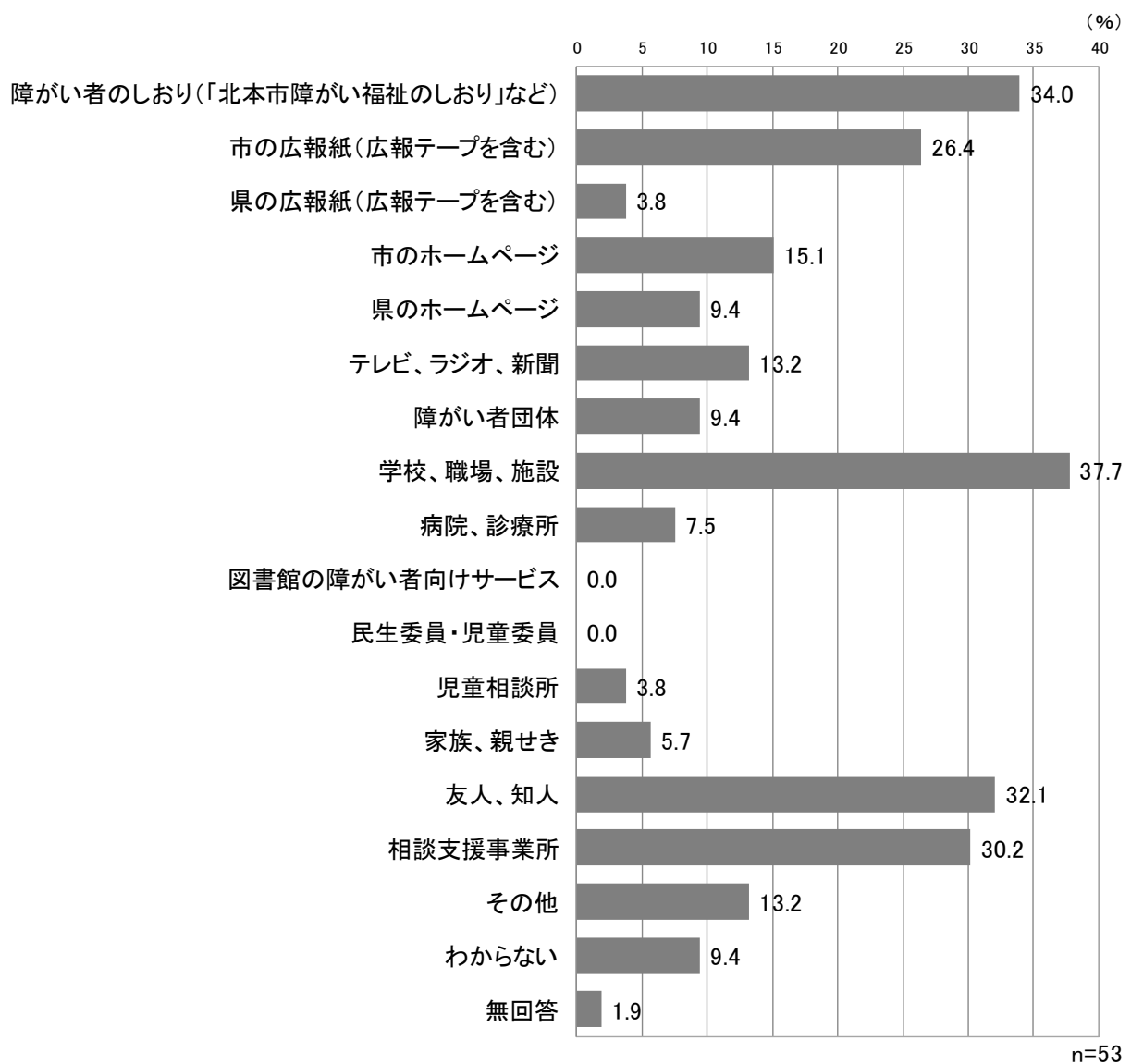
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問21 悩みや心配ごとの相談先 (家族・親せき以外)							
		幼稚園・ 保育園・ 学校の先 生	市社会福 祉協議会 の職員	同じ悩み をもつ子 の保護者	友人、知 人	インター ネットの 相談サイ トや掲示 板	その他	だれにも 相談して いない	無回答
全体	53 100.0	33 62.3	0 0.0	30 56.6	11 20.8	3 5.7	4 7.5	2 3.8	0 0.0
年齢	0歳～6歳	14 100.0	8 57.1	0 0.0	7 50.0	5 35.7	2 14.3	2 14.3	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	13 81.3	0 0.0	11 68.8	2 12.5	0 0.0	1 6.3	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	4 40.0	0 0.0	7 70.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	5 55.6	0 0.0	4 44.4	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0
障 が い の 種 類	身体障がい	10 100.0	4 40.0	0 0.0	7 70.0	4 40.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	23 67.6	0 0.0	20 58.8	4 11.8	1 2.9	2 5.9	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	3 75.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問22 障がい福祉サービスの情報入手先（MA）

○「学校、職場、施設」が37.7%で最も高く、次いで「障がい者のしおり（「北本市障がい福祉のしおり」など）」が34.0%、「友人、知人」が32.1%の順となっています。

★年齢別にみると、「相談支援事業所」については“0歳～6歳”が最も高くなっています。それ以外の年齢では「学校、職場、施設」が最も高くなっていますが、“13歳～15歳”では「障がい者のしおり（「北本市障がい福祉のしおり」など）」「市の広報紙（広報テープを含む）」も割合が高くなっています。

★障がいの種類別にみると、“身体障がい”と“精神障がい”では「障がい者のしおり（「北本市障がい福祉のしおり」など）」、「知的障がい”では「学校、職場、施設」が最も高くなっています。



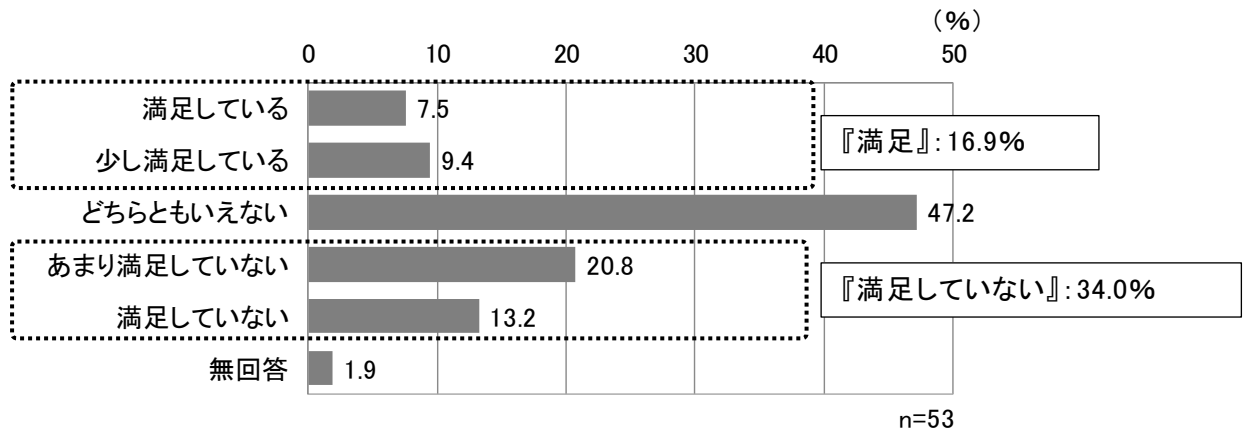
その他
・放課後等デイサービス

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問22 障がい福祉サービスの情報入手先								
		障がい者のしおり （「北本市障がい福祉のしおり」など）	市の広報紙（広報テープを含む）	県の広報紙（広報テープを含む）	市のホームページ	県のホームページ	テレビ、ラジオ、新聞	障がい者団体	学校、職場、施設	病院、診療所
全体	53 100.0	18 34.0	14 26.4	2 3.8	8 15.1	5 9.4	7 13.2	5 9.4	20 37.7	4 7.5
年齢	0歳～6歳	14 100.0	3 21.4	2 14.3	0 0.0	2 14.3	0 0.0	1 7.1	1 7.1	1 7.1
	7歳～12歳	16 100.0	7 43.8	5 31.3	1 6.3	2 12.5	1 6.3	3 18.8	1 6.3	8 50.0
	13歳～15歳	10 100.0	4 40.0	4 40.0	0 0.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	4 40.0
	16歳～18歳	9 100.0	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0	2 22.2	1 11.1	2 22.2	5 55.6
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	4 40.0	2 20.0	1 10.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	3 30.0
	知的障がい	34 100.0	12 35.3	10 29.4	1 2.9	5 14.7	4 11.8	5 14.7	5 14.7	16 47.1
	精神障がい	4 100.0	3 75.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問22 障がい福祉サービスの情報入手先								
		図書館の障がい者向けサービス	民生委員・児童委員	児童相談所	家族、親せき	友人、知人	相談支援事業所	その他	わからない	無回答
全体	53 100.0	0 0.0	0 0.0	2 3.8	3 5.7	17 32.1	16 30.2	7 13.2	5 9.4	1 1.9
年齢	0歳～6歳	14 100.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1	5 35.7	7 50.0	1 7.1	3 21.4
	7歳～12歳	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	6 37.5	3 18.8	1 6.3	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 20.0	2 0.0	0 20.0	2 10.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1	4 44.4	3 33.3	2 22.2	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	0 0.0	0 0.0	2 5.9	0 0.0	12 35.3	10 29.4	4 11.8	2 5.9
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0

問23 障がい福祉サービスなどの情報満足度（SA）

- 「どちらともいえない」が47.2%で最も高くなっています。
- 「満足している」と「少し満足している」を合わせた『満足』が16.9%、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた『満足していない』が34.0%となっています。
- ★『満足』については、年齢別では“7歳～12歳”が25.0%で割合が高くなっています。



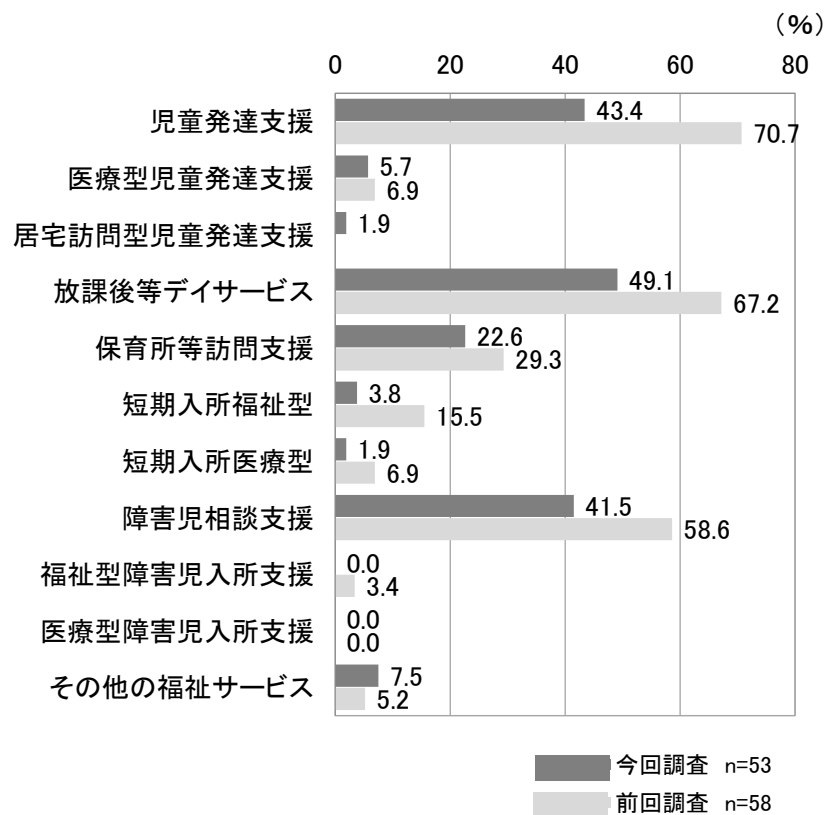
上段:人 下段:%	合計	問23 障がい福祉サービスなどの情報満足度						
		満足している	少し満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答	
全体	53 100.0	4 7.5	5 9.4	25 47.2	11 20.8	7 13.2	1 1.9	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	1 7.1	1 7.1	7 50.0	2 14.3	2 14.3	1 7.1
	7歳～12歳	16 100.0	2 12.5	2 12.5	5 31.3	4 25.0	3 18.8	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	1 10.0	1 10.0	5 50.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	0 0.0	0 0.0	6 66.7	2 22.2	1 11.1	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	0 0.0	2 20.0	6 60.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	3 8.8	1 2.9	18 52.9	9 26.5	3 8.8	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0

9 障がい福祉サービスについて

問24 障がい福祉サービスの利用状況と利用意向

■利用状況

- 「利用したことがある（している）」は、「放課後等デイサービス」が49.1%で最も高く、次いで「児童発達支援」が43.4%、「障害児相談支援」が41.5%と続きます。
- 前回調査に比べ、「その他」を除くすべての障がい福祉サービスで低下しています。（前回調査には、「居宅訪問型児童発達支援」の選択肢なし）



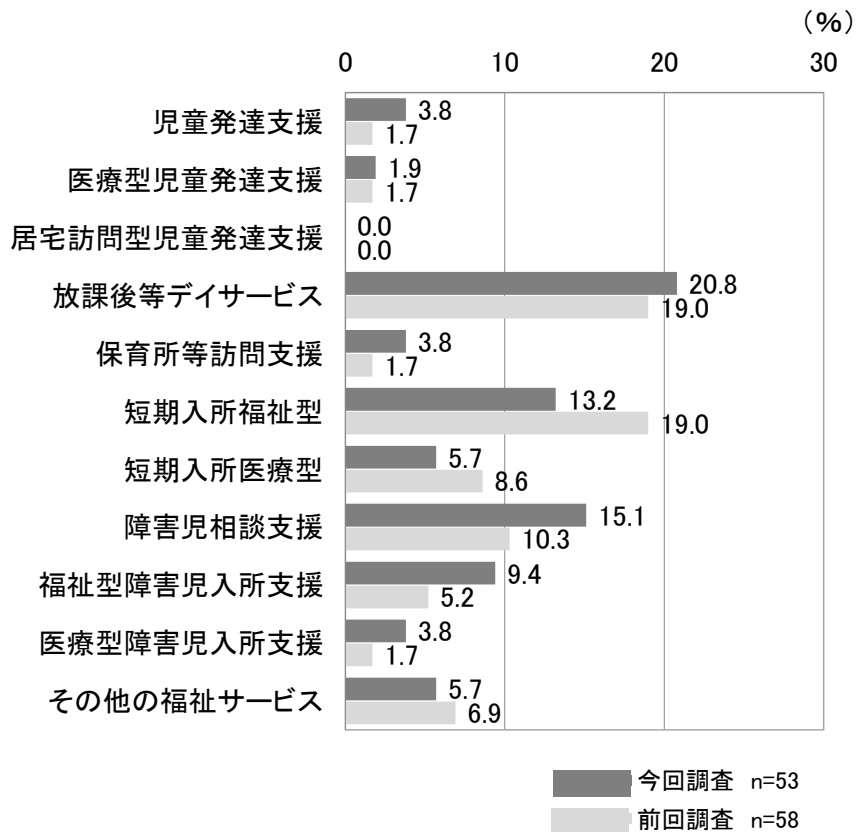
その他
 ・移動支援サービス

■今後の利用意向

「サービスを利用していない（したことがない）人のみ

○「放課後等デイサービス」が20.8%で最も高く、次いで「障害児相談支援」が15.1%、「短期入所福祉型」が13.2%と続きます。

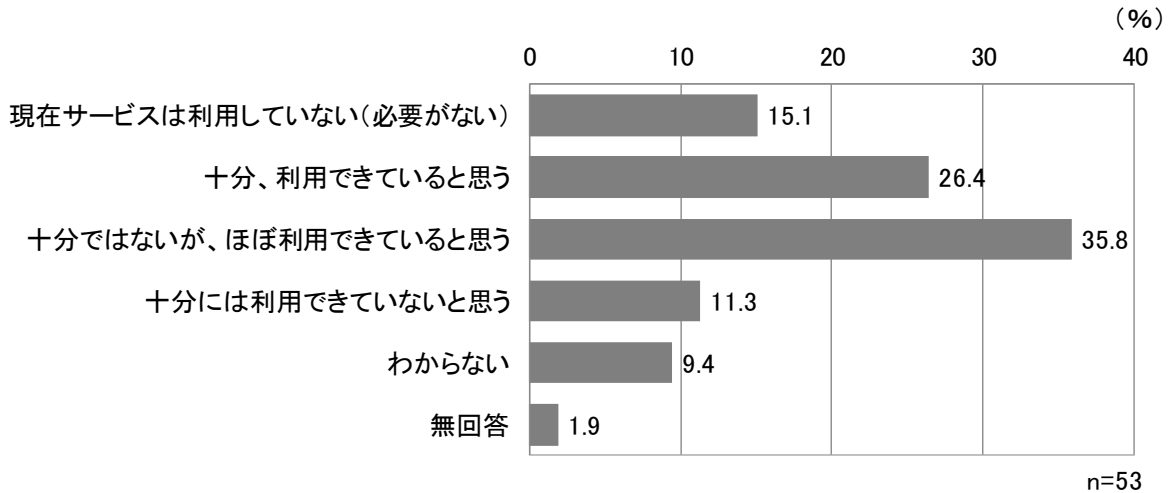
●前回調査に比べ、「短期入所福祉型」「短期入所医療型」「その他の福祉サービス」を除くすべての障がい福祉サービスで割合が高くなっており、中でも「障害児相談支援」は4.8ポイント、「福祉型障害児入所支援」は4.2ポイント上昇しています。



問25 障がい福祉サービスの利用充足度（SA）

○「十分ではないが、ほぼ利用できていると思う」が35.8%で最も高く、次いで、「十分、利用できていると思う」が26.4%、「現在サービスは利用していない（必要がない）」が15.1%の順となっています。

★年齢別にみると“13歳～15歳”では「十分、利用できていると思う」、「16～18歳”では「現在サービスは利用していない（必要がない）」が最も高く、障がい種類別にみると“身体障がい”では「現在サービスは利用していない（必要がない）」と「十分、利用できていると思う」が最も高くなっています。



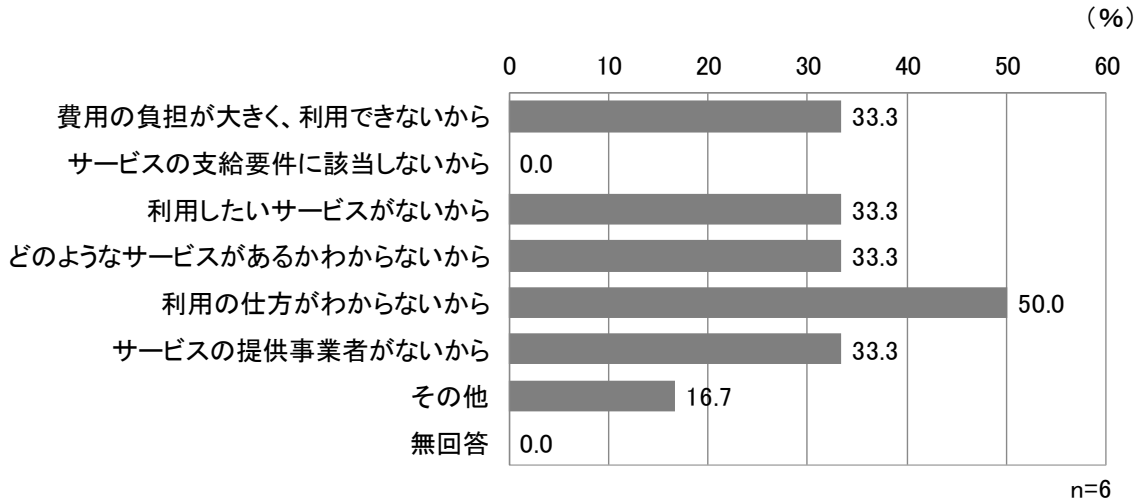
上段:人 下段:%	合計	問25 障がい福祉サービスの利用充足度						
		現在サービスは利用していない(必要がない)	十分、利用できていると思う	十分ではないが、ほぼ利用できていると思う	十分には利用できていないと思う	わからない	無回答	
全体	53 100.0	8 15.1	14 26.4	19 35.8	6 11.3	5 9.4	1 1.9	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	0 0.0	5 35.7	5 35.7	2 14.3	2 14.3	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	2 12.5	4 25.0	8 50.0	1 6.3	1 6.3	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	2 20.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	4 44.4	1 11.1	3 33.3	1 11.1	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	3 30.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	6 17.6	7 20.6	13 38.2	3 8.8	4 11.8	1 2.9
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0

問26 障がい福祉サービスを十分に利用できていない理由（MA）

問25で、「十分には利用できていないと思う」と回答した人のみ

○全体としての回答数は少ないものの、「利用の仕方がわからないから」が割合として最も高くなっています。

★年齢、障がいの種類別の回答数が少ないため、下記に参考表として掲載しています。



その他
・施設が少なくいっぱいの為、予約がとれない

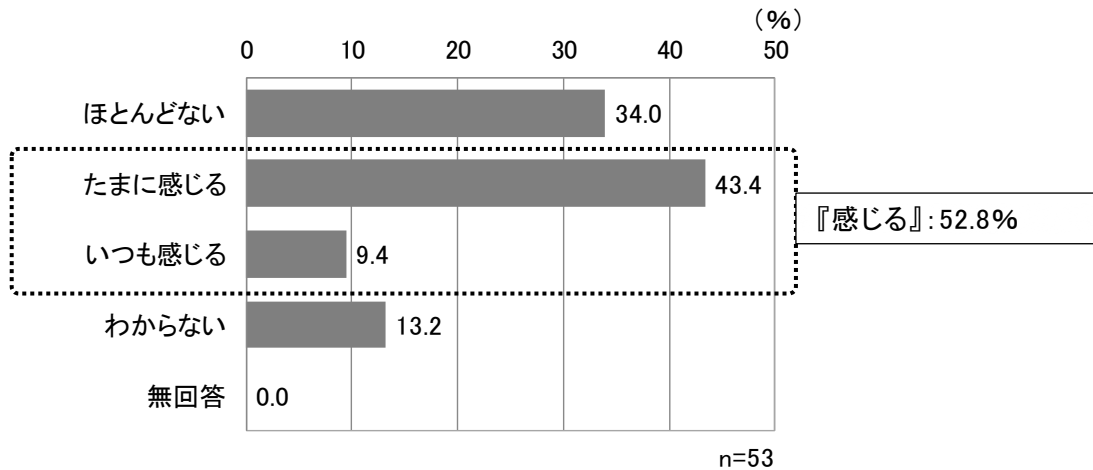
上段:人 下段:%	合計	問26 障がい福祉サービスを十分に利用できていない理由							
		費用の負担が大きく、利用できないから	サービスの支給要件に該当しないから	利用したいサービスがないから	どのようなサービスがあるかわからないから	利用の仕方がわからないから	サービスの提供事業者がないから	その他	無回答
全体	6 100.0	2 33.3	0 0.0	2 33.3	2 33.3	3 50.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0
年齢	0歳～6歳	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0
	7歳～12歳	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	2 100.0	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	16歳～18歳	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0
	知的障がい	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0
	精神障がい	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

10 権利擁護等について

問27 差別や人権侵害を感じることはあるか (SA)

○「たまに感じる」が43.4%で最も高くなっています。「たまに感じる」と「いつも感じる」を合わせた『感じる』が52.8%となっています。

★年齢別にみると“7歳～12歳”では「ほとんどない」が最も高くなっています。



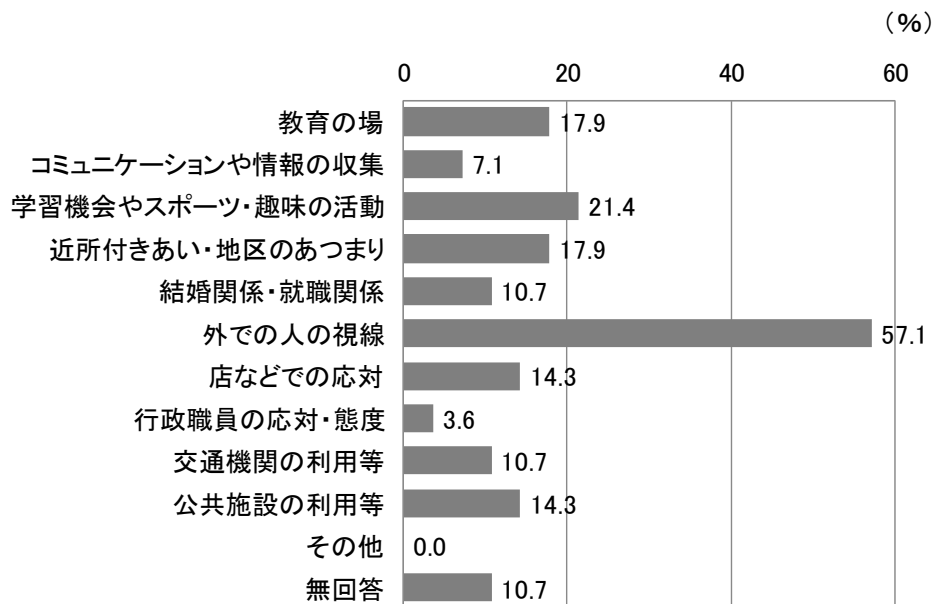
上段:人 下段:%	合計	問27 差別や人権侵害を感じることはあるか					
		ほとんど ない	たまに感 じる	いつも感 じる	わからな い	無回答	
全体	53 100.0	18 34.0	23 43.4	5 9.4	7 13.2	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	6 42.9	6 42.9	1 7.1	1 7.1	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	7 43.8	5 31.3	1 6.3	3 18.8	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	2 20.0	6 60.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	2 22.2	3 33.3	3 33.3	1 11.1	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	4 40.0	5 50.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	7 20.6	17 50.0	4 11.8	6 17.6	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問28 差別や人権侵害を受けていると感じる場面（MA）

問27で、「いつも感じる」、「たまに感じる」と回答した人のみ

○「外での人の視線」が57.1%で最も高く、次いで、「学習機会やスポーツ・趣味の活動」が21.4%、「教育の場」と「近所付きあい・地区のあつまり」がともに17.9%となっています。

★年齢別にみると“13歳～15歳”では「学習機会やスポーツ・趣味の活動」が最も高くなっています。



n=28

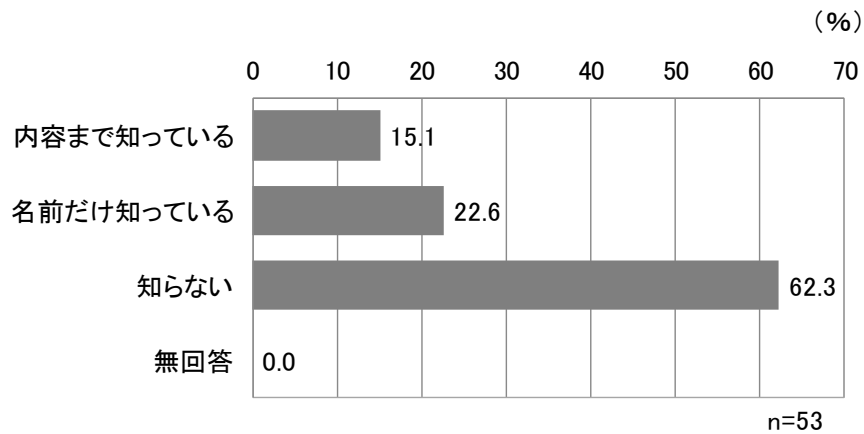
〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問28 差別や人権侵害を受けていると感じる場面						
		教育の場	コミュニケーショ ンや情報の 収集	学習機会 やスポー ツ・趣味 の活動	近所付き あい・地 区のおつ まり	結婚関 係・就職 関係	外での人 の視線	
全体	28 100.0	5 17.9	2 7.1	6 21.4	5 17.9	3 10.7	16 57.1	
年 齢	0歳～6歳	7 100.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	4 57.1
	7歳～12歳	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	5 83.3
	13歳～15歳	6 100.0	2 33.3	0 0.0	4 66.7	2 33.3	1 16.7	2 33.3
	16歳～18歳	6 100.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3	0 0.0	4 66.7
障 が い の 種 類	身体障がい	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0
	知的障がい	21 100.0	4 19.0	2 9.5	5 23.8	5 23.8	2 9.5	13 61.9
	精神障がい	3 100.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問28 差別や人権侵害を受けていると感じる場面					無回答	
		店などで の応対	行政職員 の応対・ 態度	交通機関 の利用等	公共施設 の利用等	その他		
全体	28 100.0	4 14.3	1 3.6	3 10.7	4 14.3	0 0.0	3 10.7	
年 齢	0歳～6歳	7 100.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3
	7歳～12歳	6 100.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7
	13歳～15歳	6 100.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0
	16歳～18歳	6 100.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7
障 が い の 種 類	身体障がい	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0
	知的障がい	21 100.0	3 14.3	0 0.0	2 9.5	3 14.3	0 0.0	2 9.5
	精神障がい	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問29 「障害者差別解消法」の認知状況（SA）

○「知らない」が62.3%、「名前だけ知っている」が22.6%、「内容まで知っている」が15.1%となっています。

★「内容まで知っている」について年齢別にみると“16歳～18歳”が33.3%、障がいの種類別にみると“身体障がい”が20.0%で割合が最も高くなっています。

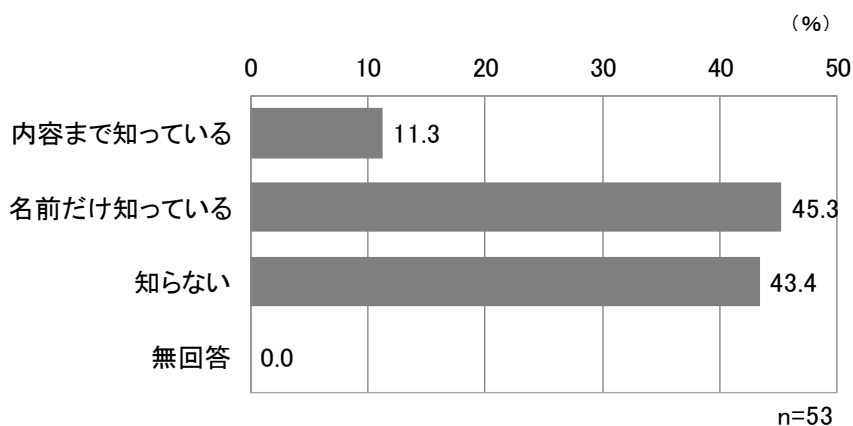


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問29 「障害者差別解消法」の認知状況				
		内容まで知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答	
全体	53 100.0	8 15.1	12 22.6	33 62.3	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	2 14.3	3 21.4	9 64.3	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	1 6.3	3 18.8	12 75.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	1 10.0	2 20.0	7 70.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	3 33.3	3 33.3	3 33.3	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	2 20.0	2 20.0	6 60.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	6 17.6	8 23.5	20 58.8	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0

問30 「障害者虐待防止法」の認知状況（SA）

○「名前だけ知っている」が45.3%、「知らない」が43.4%、「内容まで知っている」が11.3%、
 となっています。

★「内容まで知っている」について年齢別にみると“16歳～18歳”が22.2%、障がいの種類別にみると“身体障がい”が20.0%で割合が最も高くなっています。

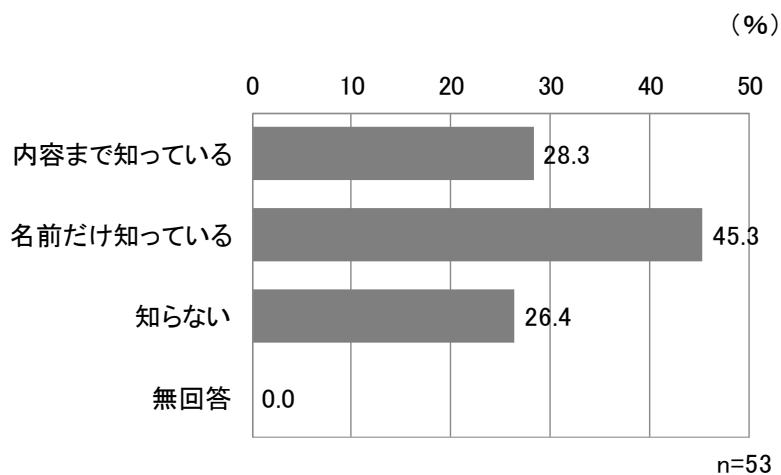


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問30 「障害者虐待防止法」の認知状況				
		内容まで 知っている	名前だけ 知っている	知らない	無回答	
全体	53 100.0	6 11.3	24 45.3	23 43.4	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	1 7.1	7 50.0	6 42.9	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	0 0.0	8 50.0	8 50.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	2 20.0	2 20.0	6 60.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	2 22.2	5 55.6	2 22.2	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	2 20.0	3 30.0	5 50.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	4 11.8	17 50.0	13 38.2	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0

問31 成年後見制度の認知状況（SA）

○「名前だけ知っている」が45.3%、「内容まで知っている」が28.3%、「知らない」が26.4%、
 となっています。

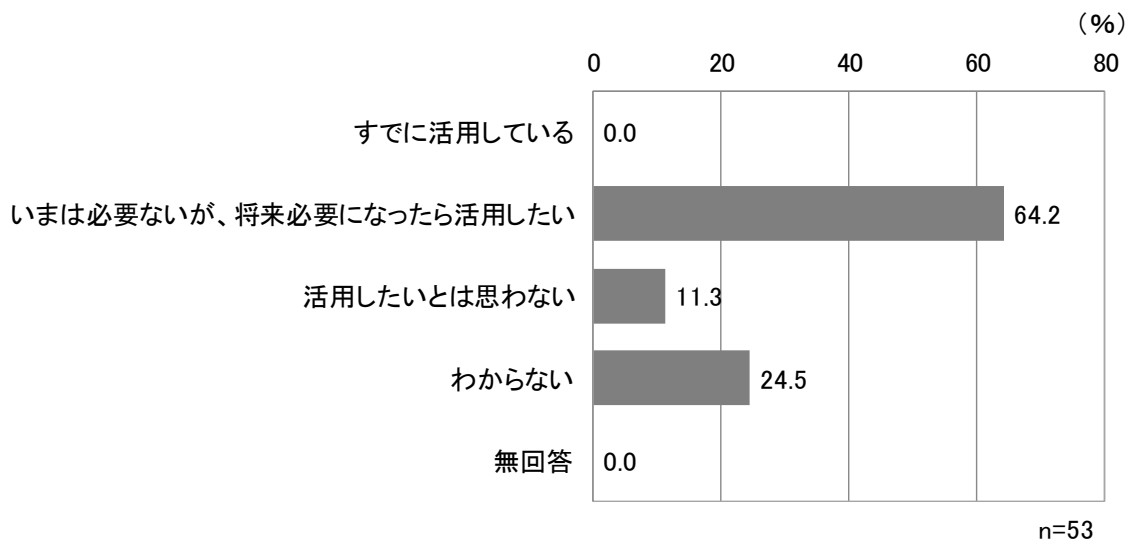
★「内容まで知っている」について年齢別にみると“16歳～18歳”が55.6%、障がいの種
 類別にみると“知的障がい”が29.4%で割合が最も高くなっています。



〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問31 成年後見制度の認知状況				
		内容まで 知っている	名前だけ 知っている	知らない	無回答	
全体	53 100.0	15 28.3	24 45.3	14 26.4	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	3 21.4	7 50.0	4 28.6	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	4 25.0	7 43.8	5 31.3	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	3 30.0	4 40.0	3 30.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	5 55.6	3 33.3	1 11.1	0 0.0
	障がいの種類	身体障がい	10 100.0	2 20.0	5 50.0	3 30.0
知的障がい		34 100.0	10 29.4	15 44.1	9 26.5	0 0.0
精神障がい		4 100.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0

問32 お子さんに対して、成年後見制度の活用意向（SA）

- 「いまは必要ないが、将来必要になったら活用したい」が64.2%で最も高く、次いで「わからない」が24.5%、「活用したいとは思わない」が11.3%の順となっています。
- ★「いまは必要ないが、将来必要になったら活用したい」については、年齢別では“7歳～12歳”で、障がいの種類別では“精神障がい”で、それぞれ割合が高くなっています。

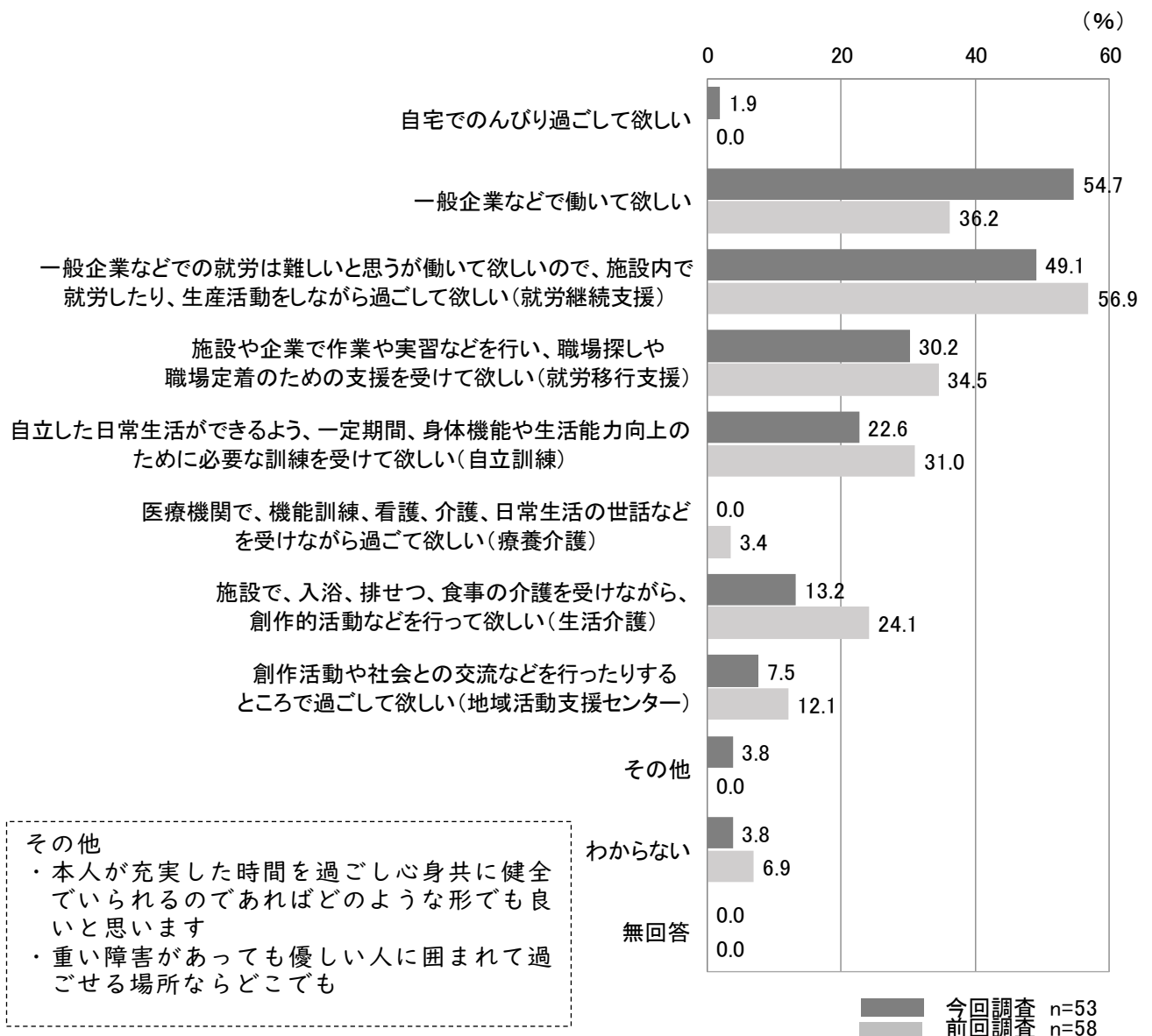


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問32 お子さんに対して、成年後見制度の活用意向					
		すでに活用している	いまは必要ないが、将来必要になったら活用したい	活用したいとは思わない	わからない	無回答	
全体	53 100.0	0 0.0	34 64.2	6 11.3	13 24.5	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	0 0.0	9 64.3	2 14.3	3 21.4	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	0 0.0	12 75.0	1 6.3	3 18.8	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	0 0.0	4 40.0	0 0.0	6 60.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	0 0.0	6 66.7	3 33.3	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	0 0.0	5 50.0	2 20.0	3 30.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	0 0.0	23 67.6	2 5.9	9 26.5	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0

11 お子様の今後について

問33 将来的に希望するお子さんの日中の過ごし方 (MA)

- 「一般企業などで働いて欲しい」が54.7%と最も高く、次いで「一般企業などでの就労は難しいと思うが働いて欲しいので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごして欲しい(就労継続支援)」が49.1%、「施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けて欲しい(就労移行支援)」が30.2%となっています。
- 前回調査に比べ「一般企業などで働いて欲しい」は18.5ポイント上昇し、「自宅でのんびり過ごしてほしい」と「その他」も上昇しましたが、それ以外の項目では低下しました。
- ★年齢別にみると“0歳～6歳”では「一般企業などでの就労は難しいと思うが働いて欲しいので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごして欲しい(就労継続支援)」は、57.1%と最も高くなっています。
- ★障がいの種類別にみると、“知的障がい”では「一般企業などでの就労は難しいと思うが働いて欲しいので、施設内で就労したり、生産活動をしながら過ごして欲しい(就労継続支援)」の割合が最も高くなっています。

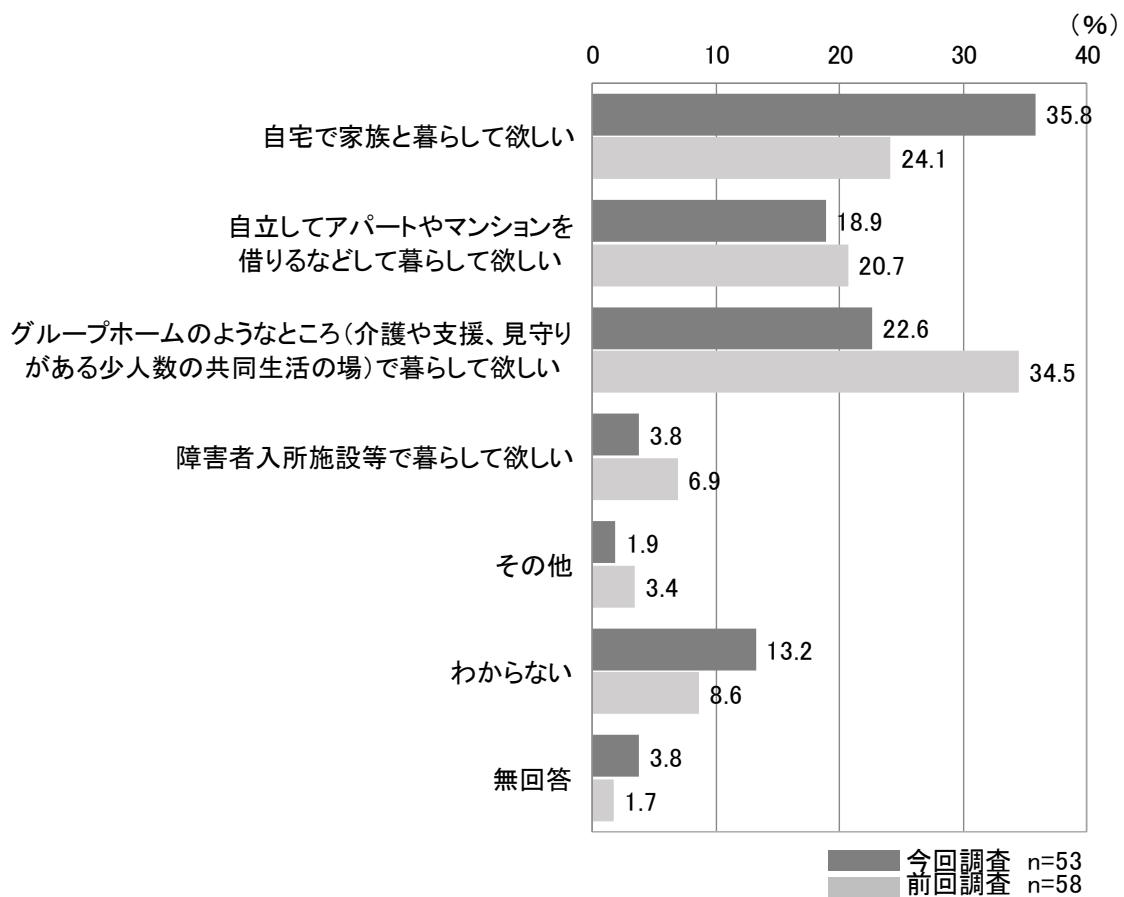


〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問33 将来的に希望するお子さんの日中の過ごし方						
		自宅でのんびり過ごして欲しい	一般企業などで働いて欲しい	一般企業などでの就労は難しいと思うが働いて欲しい	施設や企業で作業や実習などを行い、職場探しや職場定着のための支援を受けたい(就労移行支援)	自立した日常生活ができるよう、一定期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を受けて欲しい(自立訓練)	医療機関で、機能訓練、看護、介護、日常生活の世話などを受けてもらって欲しい(療養介護)	
全体	53 100.0	1 1.9	29 54.7	26 49.1	16 30.2	12 22.6	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	1 7.1	6 42.9	8 57.1	5 35.7	5 35.7	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	0 0.0	9 56.3	8 50.0	6 37.5	2 12.5	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	0 0.0	6 60.0	5 50.0	4 40.0	2 20.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	0 0.0	5 55.6	3 33.3	0 0.0	2 22.2	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	1 10.0	6 60.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	0 0.0	18 52.9	20 58.8	13 38.2	8 23.5	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	2 50.0	3 75.0	0 0.0

〔 上段:人 下段:% 〕	合計	問33 将来的に希望するお子さんの日中の過ごし方					
		施設で、入浴、排せつ、食事の介護を受けながら、創作的活動などを行って欲しい(生活介護)	創作活動や社会との交流などを行ったりするところで活動して欲しい(地域活動支援センター)	その他	わからない	無回答	
全体	53 100.0	7 13.2	4 7.5	2 3.8	2 3.8	0 0.0	
年齢	0歳～6歳	14 100.0	2 14.3	0 0.0	1 7.1	1 7.1	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	1 6.3	1 6.3	1 6.3	0 0.0	0 0.0
	13歳～15歳	10 100.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	16歳～18歳	9 100.0	3 33.3	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	3 30.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	5 14.7	4 11.8	1 2.9	1 2.9	0 0.0
	精神障がい	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問34 将来的にお子さんに望む暮らし方（SA）

- 「自宅で家族と暮らして欲しい」が35.8%で最も高く、次いで「グループホームのようなところ（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）で暮らして欲しい」が22.6%、「自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らして欲しい」が18.9%となっています。
- 前回調査に比べ、「自宅で家族と暮らして欲しい」は11.7ポイント上昇しましたが、「グループホームのようなところ（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）で暮らして欲しい」は11.9ポイント低下しました。
- ★年齢別にみると“7歳～12歳”は「自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らして欲しい」と「グループホームのようなところ（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）で暮らして欲しい」が最も高く、障がいの種類別にみると“知的障がい”では「グループホームのようなところ（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）で暮らして欲しい」が32.4%と最も高くなっています。



その他
・自立が出来ていれば自宅でもアパートでも自分の生活場所を自覚した場所

〔 上段:人 下段:% 〕		合計	問34 将来的にお子さんに望む暮らし方						無回答
			自宅で家族と暮らして欲しい	自立してアパートやマンションを借りるなどして欲しい	グループホームのようなところ（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）で暮らして欲しい	障害者入所施設等で暮らして欲しい	その他	わからない	
全体		53 100.0	19 35.8	10 18.9	12 22.6	2 3.8	1 1.9	7 13.2	2 3.8
年齢	0歳～6歳	14 100.0	7 50.0	1 7.1	2 14.3	0 0.0	0 0.0	4 28.6	0 0.0
	7歳～12歳	16 100.0	4 25.0	5 31.3	5 31.3	0 0.0	0 0.0	1 6.3	1 6.3
	13歳～15歳	10 100.0	4 40.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0
	16歳～18歳	9 100.0	2 22.2	3 33.3	2 22.2	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障がいの種類	身体障がい	10 100.0	5 50.0	3 30.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	知的障がい	34 100.0	10 29.4	4 11.8	11 32.4	2 5.9	1 2.9	4 11.8	2 5.9
	精神障がい	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

自由記述

○21人の方から23件のご意見・ご要望を頂きました。内容と件数については以下のとおりです。

主な意見の内容（件数）
支援サービスについて 9件 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後デイサービスと学童保育の併用ができるようにしてほしい。 ・療育は就学後も必要だと思う為、負担が少なくてすむ、療育施設が近くにあったらと思います。 ・北本市は隣接自治体に比べ福祉サービスが低い。 ・医療ケアが受けられる施設を作ってほしい。
保育・教育について 4件 <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある子→児発、療育というイメージが定着すると、保育か教育を選択しづらいです。北本市にはすべての子どもに地域での保育、教育をさらに推進してほしい。 ・息子は集団が苦手な為、中学は公立に通わずフリースクール（少人数制の）に通った。フリースクールは自費となり経済的負担が大きかった。 ・未就学児だが超早期療育がほとんどない。ただし、療育に携わる方は本当に熱心に思っ て対応して下さっている。 ・就学前後も学校に相談していたにも関わらず不登校になり、その後も支援学級に入れて もらうまでに大変な苦労を重ねて来ました。
保健・医療について 4件 <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の受入れ体制のある歯科があるのか分からない。 ・出生時、低体重で産まれたということもあり発達に心配がありました。保健師さんに相談にのってもらっていましたが、ベテラン保健師さんはなくてはならない存在なので若手育成に努めていただきたいです。 ・病院の受付、職員の対応、配慮が足りない。 ・リハビリセンターのような障がい者に特化した病院で歯科だけでなく内科や眼科等、他の科もあるところを作ってほしい。
相談・情報提供について 2件 <ul style="list-style-type: none"> ・障がいを持つ家族との生活は思った以上に時間がかかることが多く、なかなか相談に伺うことが出来ません。希望者に対し、福祉サービスの情報提供（DMなど）を行っていただけると相談に伺う時間が短縮されるのでは。
経済的負担の軽減について 1件 <ul style="list-style-type: none"> ・収入に応じて補助などがあれば良い。生活面で苦しい世帯の金銭面の負担の軽減を願う。
バリアフリーについて 1件 <ul style="list-style-type: none"> ・車イスで公共交通機関を利用すると2倍以上の時間がかかる。

その他 2件

- ・地域での交流の場がほしい。
- ・子育てに正解は無いとよく言いますが、障がいがあるとなると尚難しいと感じています。どうしていくのが正しいのか全く分かりません。よく気晴らしに外へ出かけてみては？という人がいますがそれが大変。それが気軽にできる世の中ではないと感じます。あと働きたくても時間が確保できない。両親が揃っている、実家の手助けがある等の方は働けるでしょうが。

第4章 事業者アンケート調査の概要と結果

1 事業者アンケート調査の目的

障がい者（児）にかかわる事業者等に対し、現在抱えている問題点や今後の障害福祉施策に対する要望等を把握するため、事業者アンケート調査を行いました。

2 調査対象事業者

調査の対象者は、次のとおりです。

アンケートの種類	アンケートの対象
事業者アンケート	市内の障がい者（児）にかかわる事業者等

3 調査の方法と回収状況

調査の方法と回収状況は、次のとおりです。

【調査方法】

◇郵送による配布、回収

【調査期間】

◇令和2年6月

【回収状況】

アンケート種類	配布数	回収数	回収率
事業者アンケート	22	15	68.2%

4 事業者アンケートの調査結果

○障がいの状況・近況

- ・最近身体に異常はないのに精神が乱れている若年層が増えている。
- ・片付けが出来ない、潔癖症で完全なものを求める性格の人も増えている。

○不安・心配・困り事

- ・財政面、社会資源の少なさ。
- ・施設の老朽化。計画的に修繕を進めていきたい。
- ・職員の人材の確保・育成。
- ・親なき後の対応。
- ・周辺住民の理解。
- ・保護者が運転しない場合の、交通手段の確保。

○相談・情報提供・手続き

- ・指定管理者と比較したときに、行政との情報共有が少ない。指定管理者のみ補助金を給付し、民間事業者は資金や設備の違いから不当な競争になっている。

○行政施策

- ・行政ともっと連携できないものかと考える。高齢者の仕事の需要を市で掴んで福祉施設に仕事を提供して欲しい。
- ・発達障がいを持つ児童の母親がケガをし、市に学校への送迎を相談したがサポートシステムがないと返答があり困り果てた。臨機応変力のある職員を集めた「なんでもやります課」のような課を設置してほしい。
- ・行政、保健所、相談支援事業所等関係機関でケース会議が開けないか検討してほしい。
- ・障がいに対する知識と理解と協力を広めるためにも、学生は学校で、成人された方にも勉強する機会を提供してほしい。

○障がい福祉サービス

- ・高齢者や障がい者等を買物に車で連れて行ってくれるサービスがあれば良いと思う。
- ・障がい児の一時預かりができる施設の増設が必要。
- ・障がい児から成人まで一貫してサポートしていける体制の整備。
- ・ショートステイ、入所施設、グループホームが不足している。
- ・居住支援、行動援護が不足している。
- ・自立生活援助のような一人暮らしを支える支援が不足している。

○地域での支援活動

- ・心のない言動や障がいに対する理解がなく悲しい気持ちになる。
- ・人間の間壁を作らず弱い者を皆で守る体制作りを進めてほしい。
- ・地域との交流の機会を増やすことで相互理解を深めることが必要。
- ・障がいを持った方が外出しやすい環境にできるよう、地域のお店が安心して受け入れられるサポートがあると良い。
- ・支援者同士の情報の共有と本当の意味での連携が必要。
- ・世代、障がいの有無を越えた地域ネットワークの構築が必要。

○将来の生活

- ・介護者の高齢化及び対象者の重度化が進んでいる。
- ・学校卒業後の受入施設が不足している。

○サービス全般

- ・災害時や緊急時の支援（短期受入れ先等）の具体化が必要。
- ・利用者、保護者の緊急時に対応できる資源の確保が必要。

○雇用・就労

- ・就職後に長く就労できるような取り組みが難しい。

○病院での対応等

- ・障がい児から成人まで診てくれる病院が必要。
- ・障がい児から成人まで一時預かりしてくれる施設や病院が必要。

○新型コロナウイルス関連

- ・障がいを抱えている方たちも今回のコロナに関して孤独感や不安感を感じている。
- ・保護者が感染した場合の対応を検討する必要がある。
- ・コロナの影響で企業の採用意欲が低下し、実習等の機会が失われている。

○その他

- ・ハード面の整備は市、ソフト面の充実は事業所が行うなど地域福祉力を高めることが大切。
- ・事業所自身が社会の資源として存在をPRしていく必要がある。
- ・自立支援協議会の各部会の連携が必要。

**北本市 第六期障害福祉計画・第二期障害児福祉計画
策定に係るアンケート調査報告書**

令和3年2月発行

発行 北本市福祉部障がい福祉課
〒364-8633 埼玉県北本市本町1-111
TEL:048-591-1111（代表）
FAX:048-592-5997